

本年十一月警視廳告示第八十五號中「兵庫縣」ノ下ニ「及大阪府」ノ四字ヲ加ヘ「同縣下」ノ三字ヲ「同地方」ト改ム

和歌山縣ハ有田郡湯淺港、日高郡御坊港、東牟婁郡勝浦港、西牟婁郡串本港ニ於テ客月二十四日ヨリ船舶検査施行ス

巖手縣ハ大阪市及同地方ヲ經テ來ル者ニ對シ一ノ關、盛岡ノ二驛ニテ汽車検査、大舟渡灣、釜石港、山田港、宮古港ニ於テ船舶検査ヲ客月二十二日ヨリ施行ス

石川縣ハ助橋、津幡ノ二驛ニ於テ客月二十七日ヨリ汽車検査ヲ施行ス

岡山縣ハ吉永驛、和氣驛、萬宮驛、瀬戶驛、長岡驛、庭瀬驛、倉敷驛、玉島驛、鴨方驛、笠岡驛ニテ汽車検査日生港、九崎港、日比港、田ノ口港、下津井港、玉島港、笠岡港ニテ船舶検査ヲ客月二十六日ヨリ施行ス

青森縣ハ尻内停車場及青森港ニ汽車船舶検査ヲ客月二十五日ヨリ施行ス

○告示第三百九十八號 十一月一日

ペスト病豫防ノ爲メ左記ノ通縣令發布ノ旨和歌山縣及岡山縣ヨリ通知有タリ

和歌山縣令第七十四號 (十一月二十一日)

ペスト病豫防上必要ニ付明治三十年法律第三十六號傳染病豫防法第十九條第四項ニ依リ大阪府下大阪市ヲ發シ又ハ同市ヲ經タル左記ノ物件ハ當縣下ニ輸入スルコトヲ停止ス

本令ニ違背シタル者ハ其物件ヲ廢棄シ罰金以上拾圓以下ノ罰金ニ處ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

一 襪類、二 古着類、三 古綿類、四 古革類、五 古羽毛類、六 落米落雜穀類、七 糞尿類

岡山縣令第九十號 (十一月二十三日)

左記地方ハ「ペスト」病發生セシニ付明治三十年三月法律第三十六號傳染病豫防法第十九條ニ據リ

同地方ヨリ發送シ又ハ其地ヲ經テ來ル左ノ物件ハ本縣ニ輸入スルコトヲ停止ス

一 襪類、古綿、古着類、古革類、古羽毛類 二 船舶汽車ニ積載セル塵芥

本令ニ違フ者ハ罰金以上拾圓以下ノ罰金ニ處ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

一 兵庫縣神戸市及其附近 二 大阪府大阪市及其附近

岡山縣令第九十二號 (十一月二十三日)

明治三十二年十一月縣令第八十九號ハ廢止ス

○告示第三百九十九號 十一月一日

ペスト病豫防ノ爲メ本日ヨリ大阪市ヨリ來ル船舶ニ對シ管下綴喜郡八幡町ニ於テ船舶検査ヲ施行ス

○告示第四百號 十二月五日



明治三十二年十二月 告示

三百十二

客月十四日兵庫縣兵庫郡神戶村ノ内島田村ニ於テ牝牛壹頭氣腫ニ罹リ斃死セリ  
 ○告示第四百一號 八十二日

南桑田郡龜岡町 度量衡器販賣人 村上彌平  
 同 郡同 町同 青山彦三郎  
 同 郡馬路村 同 畑 定次郎

右販賣所ニ於テ舊器(明治二十六年前製作ニ係ルモノ)ニシテ改字印アル度量器ヲ發見シタル處舊器ニ附シタル改字印ハ無効ノモノニ付萬一右様ノモノヲ右販賣所ヨリ購入シタルモノハ其販賣所ニ就テ本年中ニ有効ノ器物ト引換テ求ムヘシ

○告示第四百二號 八十二日  
 左記ノ者當府産婆名簿ニ登録セリ

登録番號	登録年月日	族籍	開業	地	姓名	年齢
第一六號	明治三十二年十一月十日	京都府平民	京都府上京區間之町通丸太町下ル大津町第三番戶寄留		小池タカ	元治元年二月生
第一七號	同上	石川縣士族	京都市下京區八阪鳥居前東入圓山町八番戶寄留		佐藤三枝	安政二年十一月生
第一八號	同上	京都府士族	京都市下京區新橋通大和大路東入橋本町第八番戶		杉山フサ	明治十一年一月生
第一九號	同上	上宮崎縣士族	京都市上京區島丸通上長者町下ル龍前町六百二番地同志社病院內寄留		古藤リセ	嘉永五年十二月生

第二〇號	同上	京都府平民	京都府山城國紀伊郡伏見町字上油掛三十四番地ノ一		高田フサ	明治六年三月生
第二一號	同上	千葉縣士族	京都府山城國紀伊郡伏見町字兩替町十四丁目第九番戶寄留		月本ソノ	明治四年二月生
第二二號	同上	京都府平民	京都市上京區出町今出川上ル青龍町三十三番戶內二號寄留		岡本ハル	嘉永五年十二月生
第二三號	同上	同上	京都府山城國紀伊郡伏見町字上油掛第四番戶		高田ナヲ	天保十一年三月生
第二四號	同上	同上	京都府山城國紀伊郡伏見町字南尼ヶ崎第十七番戶		小林シヲ	文政七年三月生
第二五號	明治三十二年十一月十三日	鳥取縣士族	京都市上京區新町通上長者町上ル仕丁町十一番戶寄留		桑原幸	明治四年十一月生
第二六號	明治三十二年十一月十五日	京都府平民	京都府山城國綴喜郡田邊村字田邊四十一番戶		吉川アサ	明治五年正月生
第二七號	明治三十二年十一月十七日	岡山縣士族	京都市上京區今出川通寺町西入草堂內町一番戶寄留		藤田翁美	文久三年三月生
第二八號	同上	同上	京都市上京區今出川通寺町西入草堂內町一番戶寄留		藤田八重	元治元年一月生
第二九號	同上	京都府士族	京都市上京區界町通二條上ル龜屋町二十番戶寄留		安井玄ツ	明治五年正月生
第三〇號	明治三十二年十一月廿四日	京都府平民	京都市上京區東洞院通押小路下ル船屋町一番戶		石山キヌ	明治八年三月生
第三一號	同上	同上	京都市上京區車屋町通二條下ル仁王門突抜町第十七番戶		大谷タミ	文久二年九月生
第三二號	同上	同上	京都市上京區河原町通下切通上ル出水町十八番戶		森家キク	應應二年九月生

明治三十二年十二月 告示

三百十三

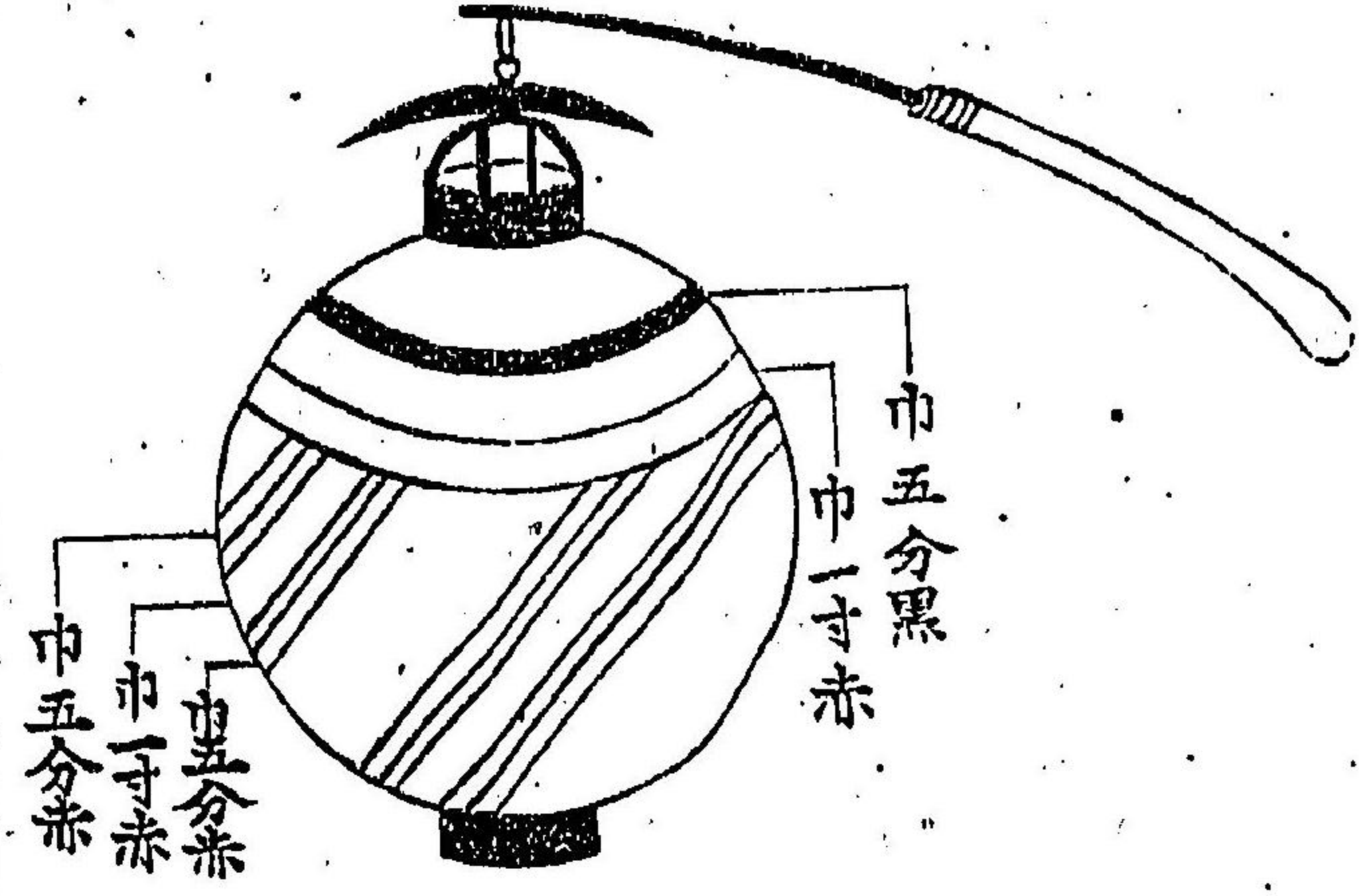


第三三號同	上同	上	京都市上京區油小路通二條下ル二條油小路町第五十四番戶	西川 エイ	慶應二年七月生
第三四號同	上同	上	京都市上京區河原町通下切通上ル出水町第十八番戶	森家 ヨネ	天保四年四月生
第三五號同	上同	上	京都市上京區油小路通一條上ル元百万遍町第四番戶	藤井 ムネ	文久元年二月生
第三六號同	上同	上	京都市上京區新町通三條上ル上一文字町第十六番戶	三宅 カネ	嘉永二年六月生
第三七號同	上同	上	京都市上京區御前通下立賣上ル中ノ町第十番戶	國谷 竹尾	文政五年十月生
第三八號同	上同	上	京都府山城國紀伊郡伏見町字西第六番戶	青山 ミノ	萬延元年十一月生
第三九號同	上同	上	京都府山城國紀伊郡伏見町字今第十七番戶寄留	松下 シケ	元治元年四月生
第四〇號同	上同	上	京都府山城國紀伊郡伏見町字京町四丁目第五十三番戶寄留	仁科 玄ん	明治二年三月生
第四一號	同	上	京都府丹波國船井郡國部町字新町十一番戶	清水 つる	天保八年十二月生
第四二號	同	上	京都府丹波國船井郡吉富村字鳥羽八番戶	三浦 小まつ	文久三年十月生

○告示第四百三號 八十二月

一振出藥 鹿兒島縣排宿郡額姓村郡四百九十二番戶 立山 定左衛門  
 右ノ者發賣ニ係ル頭書ノ賣藥中私カニ藥味分量ヲ變更シ發賣セシテ發見シ其發賣ヲ禁止シタル旨  
 鹿兒島縣ヨリ通知アリタリ

○告示第四百四號 八十二月  
 醫師ニシテ當府檢疫委員タルモノハ左圖ヲ以テ提灯ノ記章トス





○告示第四百五號 十二月八日

客月二十六日福岡縣博多港ニ入港ノ汽船寧靜丸ニ「ペスト」病死体ヲ搭載シタルヲ發見セシ旨該縣ヨリ通知アリタリ

○告示第四百六號 十二月八日

一乙種三等狩獵免狀 一枚 番號第九六一七〇號

右ハ府下久世郡淀町字新町六十五番戸平民山岡武治郎ヘ下付ノ處本月三日自宅ヨリ同郡御牧村小字東一口迄ノ間ニ於テ遺失ノ旨届出候ニ付自今該免狀ハ無効トス

○告示第四百七號 十二月十二日

十二月五日熊野郡川上村字須田岩崎助伺牛一頭炭疽熱ニ罹リ斃死セリ

○告示第四百八號 十二月十二日

ペスト病豫防ノ爲メ汽船船舶検査施行ノ旨滋賀縣及奈良縣ヨリ左ノ通り通知アリタリ  
滋賀縣告示第四百七十二號 (十一月十八日)

ペスト豫防ノ爲メ左ノ停車場ニ於テ汽船検査ヲ施行ス

大谷 馬場 草津

滋賀縣告示第四百七十四號 (十二月十九日)

本年十一月 滋賀縣告示第四百七十二號ヘ左ノ一驛ヲ追加ス

米原

滋賀縣告示第四百七十九號 (十二月二十二日)

本年十一月 滋賀縣告示第四百七十二號ヘ左ノ各驛ヲ追加シ尙左ノ場所ニ於テ船舶並旅客ノ検査ヲ施行ス

野洲 八幡 能登川 川瀬 彦根 長瀬 高月 木之本 長岡 石部 中ノ郷 三雲

深川 高宮 豊郷 柳ヶ瀬 小幡 愛知川 八日市

右各停車場

大津市 御藏町 西山町 三保ヶ崎 紺屋園 疏水乗船場、滋賀郡 堅田、栗太郡 山田、野洲郡 吉川、蒲生郡 八幡(船木)、神崎郡 能登川、犬上郡 彦根、坂田郡 長

濱、伊香郡 鹽津、高島郡 海津 今津 大溝、

右船舶登着場

大津市、逢坂山、

右

奈良縣告示第二四八號 (十一月二十八日)

本縣下奈良三條及王子停車場ノ外尙木日ヨリ郡山及法隆寺停車場ニ於テ同様汽船検査ヲ施行ス

○告示第四百九號 十二月十二日











同	同	同	七ノ四	一三〇三	全	部同
同	中	野池ノ谷ノ内	六ノ一	一五〇〇	全	部同

○告示第四百十四號 十二月十五日

告示第四百十六號蠶種臨時検査所中令般左記ノ通り閉鎖ス

第四區蠶種臨時検査所

天田郡役所内

右十二月一日閉鎖

第六區蠶種臨時検査所

與謝郡役所内

右十二月七日閉鎖

第七區蠶種臨時検査所

中郡役所内

右十二月十一日閉鎖

○告示第四百十五號 十二月十五日

左記ノ通り蠶種検査員ニ解職ヲ命セリ

同	第四區蠶種臨時検査所	蠶種検査員	藤林謙造
同	第六區蠶種臨時検査所	同	足立芳太郎
同	同	同	池田進一郎
同	同	同	小西才藏
同	同	同	松下馨
同	第七區蠶種臨時検査所	同	松本要吉
同	同	同	高家仲藏

○告示第四百十六號 十二月十五日

一熊 勝 丸

備前國岡山市大字東中山下五十七番邸 宮根 榮 治

右ノ者發賣ニ係ル頭書ノ賣藥私ニ方名効能ヲ變更セシメテ發見シ發賣禁止ノタル旨岡山縣ヨリ通知アリタリ

○告示第四百十七號 十二月十九日

一明治三十二年度京都府歳入歳出追加豫算

右通常府會ニ於テ左ノ通議決セリ

明治三十二年度京都府歳入歳出追加豫算書

經 常 部

第二款 國庫下渡金 金七百貳拾參圓六拾壹錢七厘

内 市部收入 金六百五拾參圓八拾四錢

内 郡部收入 金六拾九圓七拾七錢七厘

第一項 警察費下渡金 金七百貳拾參圓六拾壹錢七厘

内 市部收入 金六百五拾參圓八拾四錢

内 郡部收入 金六拾九圓七拾七錢七厘

第四款 市郡分賦額 金壹萬五百五拾參圓七拾六錢參厘

内 市部收入 金五千六百五拾五圓七錢壹厘

内 郡部收入 金四千八百九拾八圓六拾九錢貳厘



第一項 市郡分賦額 金壹萬五百五拾參圓七拾六錢參厘  
 內 市部收入 金五千六百五拾五圓七錢壹厘  
 郡部收入 金四千八百九拾八圓六拾九錢貳厘  
 經常部合計金壹萬千貳百七拾七圓參拾八錢  
 歲入總計金壹萬千貳百七拾七圓參拾八錢

內 市部收入 金六千參百八圓九拾壹錢壹厘  
 郡部收入 金四千九百六拾八圓四拾六錢九厘

經常部  
 第一款 警察費 金四千參百四拾壹圓七拾錢  
 內 市部負擔 金參千九百貳拾參圓參錢七厘  
 郡部負擔 金四百拾八圓六拾六錢參厘  
 第一項 俸給及諸給 金貳百貳拾圓  
 第二款 監獄費 金六千五百參拾圓六錢  
 內 市部負擔 金貳千貳百四拾六圓參拾四錢壹厘  
 郡部負擔 金四千貳百八拾參圓七拾壹錢九厘  
 第一項 俸給及諸給 金貳百圓  
 第二款 廳費 金四千百貳拾壹圓七拾錢  
 內 市部負擔 金貳千貳百四拾六圓參拾四錢壹厘  
 郡部負擔 金四千貳百八拾參圓七拾壹錢九厘  
 第一項 俸給及諸給 金貳百圓  
 第二款 廳費 金六千參百參拾圓六錢

第四款 府吏員費 金四百五圓六拾貳錢  
 內 市部負擔 金百參拾九圓五拾參錢參厘  
 郡部負擔 金貳百六拾六圓八錢七厘  
 第一項 吏員費 金四百五圓六拾貳錢  
 經常部合計金壹萬千貳百七拾七圓參拾八錢  
 歲出總計金壹萬千貳百七拾七圓參拾八錢

內 市部負擔 金六千參百八圓九拾壹錢壹厘  
 郡部負擔 金四千九百六拾八圓四拾六錢九厘

○告示第四百十八號 十二月十九日  
 一明治三十二年度京都市部歲入歲出追加豫算  
 右通常市部會ニ於テ左ノ通議決セリ  
 明治三十二年度京都市部歲入歲出追加豫算書

經常部  
 第一款 市郡連帶市部收入額 金六百五拾參圓八拾四錢  
 第一款 市郡連帶市部收入額 金六百五拾參圓八拾四錢  
 第七款 國庫下渡金 金千五百九拾壹圓八拾參錢參厘  
 第二項 警察費下渡金 金千五百九拾壹圓八拾參錢參厘



經常部合計金貳千貳百四拾五圓六拾七錢參厘

臨時部

第二款 繰越金 金壹萬參千六百拾四圓貳拾參錢八厘

第二項 前年度繰越金 金壹萬參千六百拾四圓貳拾參錢八厘

臨時部合計金壹萬參千六百拾四圓貳拾參錢八厘

歳入總計金壹萬五千八百五拾九圓九拾壹錢壹厘

歳出

經常部

第一款 警察費 金九千五百五拾壹圓

第一項 供給及諸給 金五百貳拾圓

第二項 廳費 金九千參拾壹圓

第三款 市郡分賦市部負擔額 金六千參百八圓九拾壹錢壹厘

第一項 市郡分賦市部負擔額

金六千參百八圓九拾壹錢壹厘

經常部合計金壹萬五千八百五拾九圓九拾壹錢壹厘

歳出總計金壹萬五千八百五拾九圓九拾壹錢壹厘

○告示第四百十九號 十二月十九日

一明治三十二年度京都府郡部歳入歳出追加豫算

右通常郡部會ニ於テ左ノ通議決セリ

明治三十二年度京都府郡部歳入歳出追加豫算書

歳入

經常部

第六款 戶數割 金千參百五拾圓貳拾貳錢六厘

第一項 戶數割 金千參百五拾圓貳拾貳錢六厘

外金百壹圓四錢貳厘乘算過

但明治三十一年四月一日調總戶數十二万九百三十九戶一戸ニ付金壹錢貳厘

經常部合計金千參百五拾圓貳拾貳錢六厘

臨時部

第三款 國庫補助金 金貳百五拾八圓四拾參錢五厘

第三項 衛生費補助金 金貳百五拾八圓四拾參錢五厘

臨時部合計金貳百五拾八圓四拾參錢五厘

歳入總計金千六百八圓六拾六錢壹厘

歳出

經常部

第三款 府稅取扱費 金五拾八圓五錢壹厘

第一項 徵收費 金五拾八圓五錢壹厘

經常部合計金五拾八圓五錢壹厘

臨時部

第四款 衛生及病院費 金千五百五拾圓六拾壹錢

明治三十二年十二月 告示



第一項 傳染病豫防費 金千五百五拾圓六拾壹錢  
臨時部合計金千五百五拾圓六拾壹錢  
歳出總計金千六百八圓六拾六錢壹厘

○府告示第四百二十號 十二月十九日

明治二十八年七月 京都府公示第百十號京都府高等女學校規則別冊之通改正、明治三十三年一月ヨリ施行ス

但補習科專攻科ニ係ル分ハ明治三十三年四月ヨリ實施ス

(別冊)

京都府高等女學校規則

第一章 通則

- 第一條 本校ノ學科ヲ分テ本科補習科專攻科裁縫科トス
- 第二條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
- 第三條 學年ヲ分テ三學期トス第一學期ハ四月一日ヨリ九月五日ニ至リ第二學期ハ九月六日ヨリ翌年一月七日ニ至リ第三學期ハ一月八日ヨリ三月三十一日ニ至ル
- 第四條 授業時數ハ每週三十時以内トス  
但夏期休業前後三週間以内ハ若干時ヲ減スルコトアルヘシ

第五條 休業日ハ左ノ如ク

- 日 曜 日
- 大祭 祝 日
- 皇后陛下御誕辰
- 夏期 自七月十六日至九月五日
- 冬期 自十二月二十六日至翌年一月七日
- 第六條 生徒ノ募集ハ學年ノ始ニ於テス  
但欠員アルトキハ第二學期第三學期ノ始ニ於テ補充ヲ行フコトアルヘシ
- 第七條 入學志願者ニシテ京都市内ニ居住スル者ハ戸主若クハ後見人ヲ保証人トシ第一號書式ノ願書及第二號書式ノ履歷書各一通ヲ差出スヘシ
- 第八條 京都市外ノ入學志願者ハ京都市内ニ居住シ若クハ寄留シ丁年以上ニシテ一家計ヲ立ツル者ニ保証ヲ托シ前條ノ手續ヲ爲ス可シ

(第一號書式)

入 學 願

私義御校本科第何年級補習科(專攻科)(裁縫科第何年級)ニ入學志願ニ付御許容被下度依テ履歷書相添保証人



逆署此段相願候也

道廳府縣郡士族平民  
何某何女或ハ姉妹戸主等

年月日

本人 何

某印

右父兄若クハ後見人

(他ノ保証人ナルトヤハ其ノ  
住所及職業ヲモ記載スヘシ)

保証人 何

某印

京都府高等女學校長何某殿

(第二號書式)

履 歷 書

道廳府縣郡士族平民  
何某何女或ハ姉妹戸主等

何

某

原 籍

道廳府縣何國何市郡區何町村何番地

生 年 月 日

現住所

道廳府縣何國何市郡區何町村何番地  
又ハ何某力寄留

戸主ノ 成ルヘク詳細ニ記載スヘシ但他人ノ家ニ寄留スルトキハ  
職 業 其ノ月主ノ職業ヲモ記載スヘシ

痘 種痘或ハ天然痘

一 何年何月ヨリ何年何月迄何地公私立何學校ニ入り何  
年級迄修業或ハ卒業

一 何年何月ヨリ何年何月迄何地何某ニ就キ何々修業

修業用書何々

一 何年何月何所ニ於テ何事ニ就キ賞罰ヲ受ク等

右之通候也

年 月 日

右父兄若クハ後見人 何

某印

第九條 入學志願者ハ學力認定若クハ試験ノ上相當ノ學級ニ編入スヘシ  
第十條 入學ノ許可ヲ得タル時ハ第三號書式ノ入學證書一通ヲ保証人ヨリ差出スヘシ  
(第三號書式)

入 學 証 書

道廳府縣郡士族平民  
何某何女或ハ姉妹戸主等



何 某 生 年 月 日

右之者今般御校へ入學御許可相成候ニ付テハ御規則固ク可爲相守ハ勿論撰ニ退學爲致間敷且在學中同人身上ニ關スル事件ハ私一切引受御命令又ハ御指示ニ遵ヒ處辨可致依テ証書差出候也

京都市何京區何町何番戶

年 月 日 保 証 人 何 某 印

京都府高等女學校長何某殿

前書保証人ハ本區内ニ居住(寄留)シ丁年以上ニシテ一家計ヲ立ツル者ニ相違無之候也

年 月 日 何京區長 何 某 印

第十一條 學期末ニ於テハ其ノ學期間ノ成績ト行狀トヲ考查シ以テ其ノ進否ヲ驗シ學年ノ終ニ於テハ每學期ノ成績及行狀ヲ考查シ以テ及落第ヲ判定ス

第十二條 生徒又ハ保証人轉居スルトキハ速ニ届出ツヘシ

第十三條 生徒病氣又ハ事故ニ依リテ欠席スルトキハ別ニ定メタル手續ニ隨ヒ其ノ旨保証人ヨリ届出ツヘシ

第十四條 正當ノ理由ナクシテ一學期以上欠席シタル者又ハ何等ノ事故アルニ拘ラス一箇年以上欠席シタル者ハ學籍ヲ除ク

第十五條 生徒ハ修學半途ニシテ撰ニ退學スルヲ得ス若疾病其ノ他止ムヲ得サル事故ノ爲ニ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ詳具シ保証人ヨリ願出ツヘシ

第十六條 成業ノ見込ナシト認定シタル者ニハ退學ヲ命スヘシ

第十七條 平素ノ行狀優良ニシテ學力優等ナル者及屬精超業ノ者ニハ學年末ニ於テ褒賞ヲ與フルコトアルヘシ

但行狀特ニ優良ナル者及學力特ニ優等ナル者ハ本文ニ準スルコトアルヘシ

第十八條 校則及職員ノ訓誡ニ違背シタル者又ハ其ノ他ノ不都合ノ行爲アリタル者ハ其ノ輕重ニ依リ贖費停學若シハ退學ヲ命スヘシ

第二章 本科  
第十九條 本科ハ女子ニ須要ナル高等ノ普通學科ヲ授ケ婦德ヲ涵養スルヲ目的トス  
第二十條 本科ノ修業年限ハ五ヶ年トス  
第二十一條 本科ノ學科自ハ修身國語外國語歴史地理數學理科家事裁縫習字圖畫音樂體操トシ隨



意科トシテ漢文ヲ加フ其ノ課程ハ別表ノ如シ

但外國語ハ之ヲ欠クコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其時間ヲ以テ裁縫ヲ修メシム

第二十二條 作法家事音樂ノ一部トシテ便宜一週一倘若クハ二回茶儀生花押繪編ミ物筭曲ノ一科若クハ數科ヲ授クルコトアルヘシ

第二十三條 本科ノ生徒タルヲ得ヘキ者ハ品行端正身體健全年齡滿十二年以上ニシテ高等小學第一學年ノ課程ヲ卒業シタル者若クハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノナルヘシ

第二十四條 本科ノ授業料ハ一學年管内生金拾貳圓管外生金拾五圓トス每學期ノ始ニ於テ其ノ三分ノ一ヲ納ムヘシ

但第二十二條ノ學科ヲ兼修スル者ハ別ニ一ヶ月金參拾錢ヲ納ムヘシ

第二十五條 各學年ノ課程ヲ修了シタル者ニハ第四號書式ノ證書ヲ與ヘ最終學年ノ課程ヲ修了シタル者ニハ第五號書式ノ證書ヲ與フ

(第四號書式)

修業證書

道廳府縣華士族平民

校印

何

生年月 某

右ハ常校本科第何學年ノ課程

(第五號書式)

卒業證書

道廳府縣華士族平民

校印

何

生年月 某

右ハ常校所定ノ本科課程ヲ履

ナ學修セリ依テ爰ニ之ヲ証ス
年月日
京府府高等女學校
番號
裏面ニ修了ノ學科目ヲ記載ス

修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ依テ爰ニ之ヲ証ス
年月日
京府府高等女學校長何某印
番號
裏面ニ修了ノ學科目ヲ記載ス

第三章 補習科

第二十六條 補習科ハ本科ヲ卒業シタル者ニ尙其ノ學科ヲ補習セシムルヲ目的トス

第二十七條 補習科ノ修業年限ハ一箇年トス

第二十八條 補習科ノ學科目ハ修身國語外國語數學家事裁縫習字圖畫音樂體操漢文教育トス其ノ課程ハ別表ノ如シ

但別表修身家事裁縫及體操中○印ヲ附シタルモノ、外ハ撰科修業ヲ許ス此ノ場合ニ於テハ教授ノ都合ニ依リ裁縫時間ヲ増スコトヲ得

第二十九條 補習科ノ生徒タルヲ得ヘキ者ハ品行端正身體健全ニシテ修業年限五箇年ノ高等女學校課程ヲ卒業シタル者タルヘシ

第三十條 補習科ノ授業料ハ一學年管内生金拾貳圓管外生金拾五圓トス每學期ノ始ニ於テ各其ノ



三分の一ヲ納ムヘシ

第三十一條 補習科ノ課程ヲ修了シタル者ニハ第六號書式ノ證書ヲ與フ  
(第六號書式)

修業證書
道廳府縣華士族平民
校印
何 某
生年月
右ハ當校所定ノ補習科ノ何々學 科ヲ學修セリ依テ茲ニ之ヲ証ス 年月日
京都府高等女學校校長何某印
番號

第四章 專攻科

第三十二條 專攻科ハ本科卒業ノ上尙進ミテ高等ノ學科ヲ專攻セントスル者少發成スルヲ目的トス

第三十三條 專攻科ノ修業年限ハ二箇年トス

第三十四條 專攻科ノ學科ハ國語漢文トシ補助學科トシテ倫理教育歴史體操ノ四科ヲ加フ其課程ハ別表ノ如シ

第三十五條 習字圖畫音樂ノ三科ヲ隨意科トシ志望ノ者ニ兼修ヲ許ス

第三十六條 專攻科ノ生徒タルヲ得ヘキ者ハ品行端正身體健全ニシテ修業年限五箇年ノ高等女學校ヲ卒業シタル者タルヘシ

但修業年限四箇年ノ高等女學校ヲ卒業シタル後尙一箇年以上學力ヲ補修シタル者ハ本文ニ準スルコトアルヘシ

第三十七條 專攻科ニ入學セントスル者ハ第一號及第二號書式ノ願書履歷書ノ外卒業試驗照數及品行ニ關スル當該學校長ノ証明書ヲ添付スヘシ

第三十八條 教員志望者ニハ實地授業ヲ課ス

第三十九條 專攻科ノ授業料ハ一學年金拾八圓トス毎學期ノ始ニ於テ其ノ三分ノ一ヲ納ムヘシ

第四十條 專攻科ニ於テハ通則第十一條ニ掲ケタル試驗ノ外最終學年末ニ於テ卒業試驗ヲ行フ

第四十一條 專攻科ノ各學年ヲ通シテ總授業時數ノ四分ノ一以上欠席シタル者ハ卒業試驗ヲ受ケルヲ得ス

但平素ノ成績優等ノ者ニ限り詮議ノ上卒業試驗ヲ受ケシムルコトアルヘシ

第四十二條 專攻科ノ卒業試驗ニ合格シタル者ニハ第七號書式ノ證書ヲ與フ



第四十三條 專攻科ノ隨意科ハ其ノ成績優良ナル者ニ限り最終學年末ニ於テ卒業試験ヲ施シ合格ノ者ニハ第八號書式ノ證書ヲ與フ

第四十四條 專攻科ノ隨意科ニハ第四十條ヲ適用セス  
(第七號書式)

卒業證書

道廳府縣華士族平民

校印 何 某

生年月

右ハ當校所定ノ某專攻科ヲ履修シ其業ヲ卒ヘタリ依テ茲ニ之ヲ證ス

年月日

京都府高等女學校校長何某印

番號

卒業證書

道廳府縣華士族平民

校印 何 某

生年月

右ハ當校專攻科ノ隨意科中某科ヲ履修シ其業ヲ卒ヘタリ依テ茲ニ之ヲ證ス

年月日

京都府高等女學校校長何某印

番號

第五章 裁縫科  
第四十五條 裁縫科ハ裁縫ノ技能ニ熟達セシムルヲ旨トシ兼テ日常須要ノ學科ヲ授ケ婦徳ヲ涵養スルヲ目的トス

第四十六條 裁縫科ノ修業年限ハ三箇年トス

第四十七條 裁縫科ノ學科目ハ修身裁縫國語數學家事習字音樂トス其ノ課程ハ別表ノ如シ

第四十八條 裁縫科ノ生徒タルヲ得ヘキ者ハ品行端正身體健全年齡滿十四年以上ニシテ高等小學

第二學年ノ課程ヲ卒業シタル者若クハ之ニ相當スル學力ヲ有スル者タルヘシ

第四十九條 裁縫科ノ授業料ハ一學年管内生金九圓管外生金拾貳圓トス每學期ノ始ニ於テ其ノ三分ノ一ヲ納ムヘシ

但第二十二條ノ學科ヲ兼修スル者ハ別ニ一箇月金參拾錢ヲ納ムヘシ

第五十條 各學年ノ課程ヲ修了シタル者ニハ第九號書式ノ證書ヲ與ヘ最終學年ノ課程ヲ修了シタル者ニハ第十號書式ノ證書ヲ與フ

(第九號書式)

修業證書

道廳府縣華士族平民

校印 何 某

生年月

右ハ當校裁縫科第何學年ノ課程ヲ履修セリ依テ茲ニ之ヲ證ス

(第十號書式)

卒業證書

道廳府縣華士族平民

校印 何 某

生年月

右ハ當校所定ノ裁縫科課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ依テ茲ニ之ヲ證ス



年月日  
京都府高等女學校  
番號

年月日  
京都府高等女學校長何某印  
番號

第五十一條 裁縫科生徒中規程時間外ニ於テ更ニ音樂ノ一科ヲ專修セントスル者ニハ一箇年乃至二箇年間一週六時乃至八時唱歌及樂器用法ヲ授ク此場合ニ於テハ別ニ一箇月金五拾錢ヲ納ムヘシ但一箇年以上修業シタル者ハ試験ノ上修了證明書ヲ與フ

第六章 寄宿舎

第五十二條 寄宿舎ハ専ラ遠隔地方ヨリ來學スル生徒ニシテ本市内ニ寓所ナキ者ヲ寄宿セシムル所トス

第五十三條 入舎ヲ願フ者ハ第十一號書式ニ依リ保証人捺印ノ願書一通ヲ差出スヘシ  
(第十一號書式)

入 舎 願  
私義今般入舎勤學致度尤御許可  
ノ上ハ御舎則固ク相守リ可申此  
段相願候也

道屬府縣華士族平民何某  
何女或ハ姉妹トシテ  
年月日 何學科 何 某印  
生年月

何京區何町何番戶  
保証人 何 某印  
京都府高等女學校長何某殿

第五十四條 會費ハ每月末定日ニ於テ之ヲ納ムヘシ

但其ノ金額ハ物價ノ低昂ニ依リテ増減スヘシ

第五十五條 寄宿生徒疾病ニ罹ルトキハ病室ニ於テ療養スヘシ

但病症ニ依リテハ直ニ病院ニ入ラシメ或ハ保証人ニ引取ラシムヘシ

第五十六條 夏期休業ニ際シテ別ニ定メタル手續ニ依リ保証人連署ノ歸郷届書ヲ差出スヘシ

第五十七條 冬期休業中歸郷セントスルモノハ保証人連署ノ届書ヲ差出スヘシ

第五十八條 寄宿生ハ病氣等ニ依リ學校ヨリ保証人ニ引取ラシムル場合ノ外假ニ外宿スルヲ許サ

ス若シ已ムヲ得サル事故アル時ハ其ノ事由ヲ詳記シ其ノ日數ヲ豫定シ保証人或ハ父兄捺印ノ願書ヲ差出スヘシ尙延期スルトキモ亦同シ

但父兄其ノ他尊屬親戚ノ許ニ非レハ宿泊スルヲ得ス

第五十九條 水曜日放課後及休業日ニハ會監ノ許可ヲ受ク二人以上ノ同伴ヲ得テ二時間以内外出スルヲ得ヘシ

第六十條 前條ノ外已ムヲ得サル所要アリテ特別ニ外出セントスルトキハ別ニ定メタル順序ヲ履



- 三 會監ノ許可ヲ受ケ半日以内外出スルヲ得ヘシ  
但午前ニ出ツル者ハ午十二時ニ午後ニ出ツル者ハ歸會定時前ニ歸會スヘキモノトス
- 第六十一條 前二條ノ外已ムキ得サル取故アリテ半日以外出セントスル者ハ其時間ヲ豫定シ其ノ事由ヲ詳記シ保証人或ハ父兄捺印ノ書面ヲ以テ願出ツヘシ
- 第六十二條 外出及歸會時限ハ日毎ノ長短ニヨリ時々之ヲ定ム
- 第六十三條 歸會時限ニ後レタル者ハ父兄若クハ保証人捺印ノ理由書ヲ差出シ指印ヲ捺シテハシ
- 第六十四條 學費ハ別ニ示セル標準ニ超過セサルヲ要ス
- 第六十五條 病氣ニテ欠課セントスル者ハ始業前會監ヲ經テ届書ヲ差出スヘシ
- 第六十六條 金銭ハ都テ會監ニ預ケ置キ需要ノ都度受取ルヘシ
- 第六十七條 新聞雜誌若クハ課業參考用外ノ書籍ハ校長ノ許可ヲ經ルニ非レハ携持シ又ハ購讀スルヲ許サス
- 第六十八條 每室生徒中ヨリ室長一人ヲ指命シ一室内ノ生徒ヲ保護シ室内ノ整理親睦ヲ圖ラシム
- 第六十九條 全會ヲ數組ニ分チ其ノ組内ノ室長中ヨリ組長一人ヲ撰任シ組内ノ整理親睦ヲ圖ラシム
- 第七十條 退會セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳具シ保証人ヨリ願出ツヘシ

職員職務規程

- 第一條 學校長ハ校務ヲ掌理シ職員ヲ統督ス
- 第二條 教諭ハ生徒ノ教育ヲ掌ル
- 第三條 助教諭ハ教諭ノ職掌ヲ助ク
- 第四條 會監ハ學校長ノ命ヲ承ケ寄宿會ニ關スル事務ヲ掌ル
- 第五條 書記ハ學校長ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

本科課程表

學科目	學年	年								
		第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年				
修身	二	人倫道德ノ要旨ヲ法	二	上	二	上	二	上	二	上
國語	四	作講文讀	四	上	四	上	三	上	三	上
外國語 (英語)	四	會書習譯讀 話取字解方	四	上	三	上	三	上	三	上
歷史	二	本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
地理	一	本邦地理	二	上	二	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		外國地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		本邦歷史	二	上	二	上	二	上	二	上
		本邦地理	一	上	一	上	一	上	一	上
		外國歷史	二	上	二					







學年		補習科課程表	
學科目	學年	每週時數	學年
修身	二	一	學年
國語	三	講讀	作文 詠歌
外國語	三	會話	翻譯 作文
算術	二	代數	幾何
家事	二	刺烹	茶儀 生花
裁縫	六	縫方	裁方
習字	一	楷書	行書 假字交リ艸書
圖畫	二	習畫	寫生 作圖
音樂	二	單音唱歌 樂器用法	複音唱歌 普通體操
體操	二	遊戯	普通體操
漢文	二	講讀	

教育三 教育ノ原則 教授法

○家事科中ノ刺烹實習ハ每週一回乃至二回之ヲ課ス其ノ時間ハ裁縫ヨリ融通シテ之ニ充ツ  
 ○表中○印ヲ附シタモノ、外ハ撰科修業ヲ許ス

裁縫科課程表

學年	每週時數	第一學年	第二學年	第三學年
修身	二	人倫道德ノ要旨	二	二
裁縫	二〇	縫方 木綿女衾 木綿女衾 木綿女衾入 木綿女衾入 木綿女衾子 木綿女衾子 縫方 カイツカス(二種) 一ツ身(二種) 男物初着 木身單衣 本身拾 中巾一ツ身 八掛付一ツ身 小兒股引 小兒産根股引(三種) グルリ裁 本身拾羽織 二ツ身 三ツ身 四ツ身 廣前三ツ身 中巾二ツ身 四ツ身遊社 大人産根股引	縫方 男物小袖 男物小袖 袖ナッ披風 袖ナッ披風 絹縮入羽織 絹縮入羽織 摸樣小袖 摸樣小袖 單方 單方 中裁羽織(三種) 柳裁合單羽織 中裁羽織(三種) 柳裁合單羽織 半股引(三種) 廣巾男羽織 中裁披風 廣巾男羽織 廣巾小裁披風 廣巾男羽織 單袴(二種) グルリ下着付 振袴(二種) 裁合一ツ身 男物拾羽織 廣巾小裁羽織 片面物三ツ身羽織	縫方 網披風 網披風 股引 股引 帛紗 帛紗 絹縮羽織 絹縮羽織 長襦袢 長襦袢 縮細羽織 縮細羽織 縫方 女物披風 女物披風 女袴(三種) 女袴(三種) 中巾中裁披風 中巾中裁披風 小裁袴(三種) 小裁袴(三種) 中裁袴(三種) 中裁袴(三種) 給袴 給袴 片面物女羽織
		上	上	上
		同	同	同
		二	二	二
		上	上	上
		同	同	同
		三	三	三
		上	上	上



國語	四	講讀	作文	四	同	上	三	同	上	夜着(三種)脚 片面中裁
算術	二	珠算 加減乘除	二	比	同	例	二	同	比	百分 算例
家事			一	衣	食	住	二	家計簿記	育兒法	測烹
習字	一	行	書	一	行	書	一	假字交り	草書	
音樂	一	單音	唱歌	一	同	上	一	同	上	

○第三年生ニハ每週一回若クハ隔週一回測烹實習ヲ課ス其ノ時間ハ裁縫ヨリ融通シテ之ニ充ツ

○告示第四百二十一號 十二月二十二日  
本年十一月告示第三百九十一號第七回關西府縣聯合共進會規則中左之通補正ス  
第二十六條 但書中「茶」字ノ下ニ「麥」「一」字ヲ加フ  
(參照) 明治三十二年(十一月)告示第三百九十一號抄錄  
第二十六條

但シ茶及蘭草ハ同年七月十一日ヨリ始メ同三十一日迄ニ以テハ同年七月二十一日ヨリ始メ同三十一日迄ニ其審査ヲ終ルヘキモノトス

○告示第四百二十二號 十二月二十二日  
本月十五日天田郡上夜久野村字直見中島森之助飼養ノ牝牛一頭炭疽熱ニ罹リ斃死セリ

○告示第四百二十三號 十二月二十二日

第三區臨時蠶種検査所(何鹿郡役所内)ヲ十二月十六日限リ閉鎖シ左記ノ通り蠶種検査員ニ解職ヲ命セリ

第三區臨時蠶種検査所在勤	蠶種検査員	大島好太郎
同	同	片山專一
同	同	織田時藏
同	同	大槻虎雄
同	同	梅原隆國
同	同	由良秀造
同	同	岸田良藏
同	同	居相勝治
同	同	岩田保

○告示第四百二十四號 十二月二十二日

兵庫縣揖保郡西栗栖村ノ内時重村 富井一心  
右製劑賣藥神效丸ハ私カニ服量ヲ變更セシ廉ニヨリ明治三十二年十月九日龍野區裁判所ニ於テ製  
造販賣禁止處分相成タル旨兵庫縣ヨリ通知アリタリ

○告示第四百二十五號 十二月二十六日



明治三十二年十二月 告示

三百五十一

左記ノ者當府産婆名簿ニ登録セリ

登録番號	登録年月日	族籍	開業	地	氏名	年齢
第四三號	明治三十二年十一月一日	士族	開	京都市上京區淨土寺通上立賣上ル大黒町第六百八十六番地	林貞	明治五年二月生
第四四號	同上	平民	開	同市同區室町通下長者町上ル清和院町第五百六十一番地	西村アイ	明治四年五月生
第四五號	同上	同上	開	同市下京區北小路通リ油小路東入文覺町第二番戸	田尻トク	嘉永四年四月生
第四六號	同上	同上	開	同市上京區今出川通寺町東入米屋町第二十七番戸	植村ユク	弘化四年二月生
第四七號	同上	同上	開	同市同區土屋町通出水北入辨天町第二十四番戸	向野ヒサ	安政五年十月生
第四八號	同上	同上	開	同市同區九太町通油小路西入丸太町第二十六番地	佐々木キミ	嘉永三年六月生
第四九號	明治三十二年十二月四日	同上	開	同市下京區御幸町通リ四條下ル大壽町第三百九十六番地内二號	菅田マス	嘉永三年六月生
第五〇號	同上	同上	開	同市同區河原町通四條下ル二丁目荷町四十六番戸	井上玄斎	安政六年十一月生
第五一號	同上	同上	開	同市同區綾小路通堀川西入妙満寺町第十八番戸	山中スミ	文久二年九月生
第五二號	同上	同上	開	同市同區界町通五條上ル俵屋町第二十九番戸	吉田メイ	安政五年六月生
第五三號	同上	同上	開	同市同區新橋通小堀西入橋本町第二十八番戸内二號	大槻フシ	天保十二年二月生

第五四號	同上	同上	開	同市同區新宮川町松原下ル西御門町第四十一番戸	今井ツウ	慶應二年十一月生
第五五號	同上	同上	開	同市同區萬年寺通高倉西入天神町第四十三番戸	中川ヨネ	元治元年二月生
第五六號	同上	同上	開	同市同區三條三筋目下ル古川町西へ入進之町第十六番戸	上田ヒサ	安政五年一月生
第五七號	同上	同上	開	同市同區佛光寺通猪熊西入西田町第七番戸	近藤トミ	天保七年四月生
第五八號	同上	同上	開	同市同區一貫町通松原下ル二丁目下長福寺町第二十八番戸	秋田ミス	弘化四年一月生
第五九號	同上	同上	開	同市同區佛光寺通高倉西入西前町第七番戸	池田ツネ	天保七年十一月生
第六〇號	同上	同上	開	同市同區櫻ヶ井通リ六角南入越後突抜町第十八番戸	山本トメ	天保七年三月生
第六一號	同上	同上	開	同市同區蛸薬師通西洞院西入本能寺南町第十番戸内二號寄留	山口マキ	天保五年十二月生
第六二號	同上	同上	開	同市同區堺町通五條上ル俵屋町第二十九番戸	竹中タツ	天保三年十月生
第六三號	同上	同上	開	同市同區錦小路通新町西入西錦小路町第五十七番戸内一號	森キク	嘉永二年十一月生
第六四號	同上	同上	開	同市同區古門前通大和大路東入元町第六十一番戸内一號	大塚ムネ	文政六年七月生
第六五號	同上	同上	開	同市同區古門前通大和大路東入元町第五十六番戸	津田ナユ	天保十三年十二月生
第六六號	明治三十二年十二月五日	同上	開	同市同區魚棚通高倉角骨屋町第九番戸	西尾カツ	安政三年十月生

明治三十二年十二月 告示

三百五十一



第六七號	同	同上	同上	同市同區六角通猪熊西入鍛冶屋町第七番戶	淺井ノア	安政六年八月生
第六八號	同	同上	同上	同市同區耳塚通り正面下ル塗師屋町第二十九番戶	山田ヒサ	明治四年二月生
第六九號	同	同上	同上	同市同區蛸藥師通富小路東入油屋町第二十八番戶出張所	中村ナツ	嘉永五年五月生
第七〇號	同	同上	同上	同市同區佛光寺通東洞院西入上柳町第二十三番戶	真海スタ	安政元年十一月生
第七一號	同	同上	同上	同市同區健屋町通東洞院西入上平ノ町第四百七十番地	久保田ヒサ	嘉永五年九月生
第七二號	同	同上	同上	同市同區柳馬場通佛光寺上ル永原町第五百五十六番地内六號止宿	文字久榮	明治五年三月生
第七三號	同	同上	同上	同市同區大宮通丹波口下ル堀之上町第三十一番戶	井垣ユク	嘉永五年十一月生
第七四號	同	同上	同上	同市同區七條通大橋東日吉町第十一番戶	東トミ	天保七年五月生
第七五號	同	同上	同上	同市同區精屋町通五條下ル三丁目豊浦町第二十三番戶	川那邊イト	安政五年七月生
第七六號	同	同上	同上	同市同區伏見街道五條下ル本町十八丁目第二十三番戶	加藤サト	文政七年八月生
第七七號	同	同上	同上	同市同區建仁寺町通七條下ル辰巳町第二番戶	野村カツ	文政十一年九月生
第七八號	同	同上	同上	同市同區本町新五丁目第五百五十九番地	山岸リソ	嘉永三年二月生
第七九號	同	同上	同上	同市同區祇園花見小路南園小路第百七十一番戶	西林イロ	天保二年七月生

第八〇號	同	同上	同上	同市同區三條通烏丸西入御倉町第二十三番戶	中島キタ	弘化元年十二月生
第八一號	同	同上	同上	同市同區新町通松原上ル御影町第三十一番戶	北川ツル	弘化四年十一月生
第八二號	同	同上	同上	同市同區七條通大橋東日吉町十一番戶	東マサ	明治二年六月生
第八三號	同	同上	同上	同市同區蛸藥師通油小路東入元本能寺南町第二十二番地	中溝ツネ	弘化元年三月生
第八四號	同	同上	同上	同市同區上京區姊小路通堺町西入木ノ下町十八番戶寄留	鹿野トミ	明治五年二月生
第八五號	同	同上	同上	同市同區下京區油小路通三條下ル三條油小路町第十番戶寄留	上田ソデ	嘉永五年三月生
第八六號	同	同上	同上	同市同區高倉通姊小路止宿	松本ナウ	文久元年五月生
第八七號	同	同上	同上	同市同區高倉通姊小路止宿	白井シナ	天保九年四月生
第八八號	同	同上	同上	同市同區新東洞院通二條下ル新東洞院町乙十四番戶	室田イト	弘化二年三月生
第八九號	同	同上	同上	同市同區黒門通り出水下ル北極屋町第十四番戶	松村チウ	嘉永二年九月生
第九〇號	同	同上	同上	同市同區二條通り富小路東入晴明町第二十五番戶	林イト	安政二年七月生
第九一號	同	同上	同上	同市同區油小路通り二條下ル二條油小路町第五十四番戶	西川サト	弘化三年一月生
第九二號	同	同上	同上	同市同區新町通寺ノ内上ル二丁目道正町第十一番戶	内藤ハル	文久三年三月生



第九三號	同	上	同	同上	同市同區榎木町通黒門西入中御門横	中西	ツネ	明治五年二月生
第九四號	同	上	同	同上	京都市山城國乙訓郡向日町字向日第	岡本	ユキ	元治元年十月生
第九五號	同	上	同	同上	京都市上京區今出川通七本松西入真	川村	キツ	慶應元年六月生
第九六號	同	上	同	同上	同市同區今出川通七本松西入真盛	麻田	ツル	弘化元年八月生
第九七號	同	上	同	同上	同市同區新町通寺ノ内上ル三丁目大	内藤	ツネ	安政四年十一月生
第九八號	同	上	同	同上	同市同區猪熊通一條南入小寺町第百	中田	トモ	嘉永四年九月生
第九九號	同	上	同	同上	同市同區下立賣御前通西入大宮町第	内田	エイ	安政二年九月生
第一〇〇	同	上	同	同上	同市同區富小路通夷川下ル鍛冶屋町	荒川	トミ	天保十四年九月生
第一〇一	同	上	同	同上	同市同區二條通富小路東入晴明町第	勝山	ツノ	天保四年四月生
第一〇二	同	上	同	同上	同市同區西三本木町上生洲町二百二	森家	みき	明治四年十一月生
第一〇三	同	上	同	同上	同市同區松原通鉄屋町西入中ノ町	松原	スマ	明治二年五月生
第一〇四	同	上	同	同上	同市同區御前通西洞院東入蛸子水町	片山	カツ	明治六年九月生
第一〇五	同	上	同	同上	同市同區若宮通魚柳下ル若宮町第三	片山	タメ	天保十二年三月生

第一〇六	同	上	同	同上	同市同區東中筋通り五條下ル天徳興	八川	タネ	文久三年十一月生
第一〇七	同	上	同	同上	同市同區鳥丸通佛光寺下ル大政所町	熊木	リツ	安政四年六月生
第一〇八	同	上	同	同上	同市同區柿町通大黒町西入東河原町	西村	ツマ	弘化元年五月生
第一〇九	同	上	同	同上	同市同區綾小路通り堀川西入妙満寺	山中	カノ	天保二年十一月生
第一一〇	同	上	同	同上	同市同區四條通大和大路東入祇園町	谷	ツル	明治十三年三月生
第一一一	同	上	同	同上	同市同區八十五番街寄留	佐藤	ツル	慶應三年十一月生
第一一二	同	上	同	同上	同市同區大和大路通七條下ル二丁目	野村	トク	元治元年十一月生
第一一三	同	上	同	同上	同市同區寺町通今出川上ル表町第	宇田	サト	天保五年二月生
第一一四	同	上	同	同上	同市同區淨福寺通今出川下ル慶應屋	奥田	松枝	慶應三年八月生
第一一五	同	上	同	同上	同市同區川端通り九太町下ル下堤町	川原	ツネ	弘化四年九月生
第一一六	同	上	同	同上	同市同區夷川通鳥丸西入少將井町第	榎並	カツ	弘化四年四月生
第一一七	同	上	同	同上	同市同區油小路通元誓願寺下ル東入	林	ヤス	安政三年六月生
第一一八	同	上	同	同上	同市同區七本松通下長者町下ル三番	金島	ステ	天保十二年八月生



第一九	同	同上	同中下京區猪熊通三條下ル三條猪熊町十六番戸	大山好榮	明治六年二月生
第二〇	同	同上	同市同區古門前通大和路東入三丁目古西町九番戸内二號	渡邊セウ	天保五年四月生
第二一	同	同上	京都府丹波國船井郡富木村字西田百八番戸	谷口ヤウ	嘉永三年一月生
第二二	同	同上	同府山城國綴喜郡三山木村字三山木三十六番戸	藤井ハナ	明治二年七月生

○告示第四百二十六號 十二月二十六日

議事結了ニ付本日通常府會市部會郡部會ヲ閉ツ

○告示第四百二十七號 十二月二十六日

明治三十二年度郡部歳入歳出追加豫算

右通常郡部會ニ於テ左ノ通議決セリ

明治三十二年度京都府郡部歳入歳出追加豫算書

歳入

經常部

第九款 雜 收 入 金百參拾九圓六拾錢

第一項 請願巡査費納付金 金百參拾九圓六拾錢

經常部合計金百參拾九圓六拾錢

歳入總計金百參拾九圓六拾錢

歳出

經常部

第一款 警 察 費 金百參拾九圓六拾錢

第一項 俸給及諸給 金七拾五圓五拾九錢六厘

第二項 廳 費 金六拾四圓四厘

經常部合計金百參拾九圓六拾錢

歳出總計金百參拾九圓六拾錢

○告示第四百二十八號 十二月二十八日

府會議員、名譽職府參事會員、名譽職委員費用辦償額及旅費支給方法府會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ別紙ノ通定ム

(別紙)

府會議員、名譽職府參事會員、名譽職委員、費用辦償額及旅費支給方法

第一條 府會議員、名譽職府參事會員、名譽職委員ニハ職務ノ爲メ要スル費用ノ辦償トシテ旅費ノ外左ノ金額ヲ支給ス

一府會議員

市部議員 年額金百貳拾圓

郡部議員

年額金百五拾圓



一名參職府參事會員

市部參事會員 月額金四拾圓

郡部參事會員 月額金五拾圓

一名參職委員 日額金貳圓

第二條 前條ノ年額ハ府ノ會計年度ニ依リ十二月ヲ以テ一年トシ計算ス

第三條 府會議員ノ費用辨償年額ハ之ヲ二分シ六ヶ月分ハ通常府會會期中ニ其餘ノ六ヶ月分ハ每年度三月ニ之ヲ支給ス

名譽職府參事會員ノ費用辨償月額ハ每月下旬ニ之ヲ支給ス

名譽職委員ノ費用辨償日額ハ職務ニ從事セシ日數ニ應シ支給ス

第四條 府會議員ノ費用辨償年額及名譽職府參事會員ノ費用辨償月額ハ其選舉セラレタル常月分

ヨリ支給ス但名譽職府參事會員補充員ヨリ名譽職府參事會員ニ就任セシトキハ其就任ノ常月分ヨリ支給ス

臨時ニ補充シタル名譽職府參事會員ノ費用辨償月額ハ其參會シタル日數ニ應シ日割支給ス

第五條 府會議員、名譽職府參事會員退職失職死亡等ノ場合ハ費用辨償年額又ハ月額ハ其常月分マテ其際支給ス

第六條 府會若クハ市部會、郡部會ノ解散ヲ命セラレタルトキハ費用ノ辨償年額又ハ月額ハ其常月分マテ其際支給ス

第七條 其年度内一回モ府會若クハ市部會郡部會ノ召集ニ應セサル議員ニハ事故ノ如何ヲ問ハス其年度ノ費用辨償年額ヲ支給セス但其年度内一回モ臨時會ヲ開カサル場合ハ此限ニアラス

通常府會ノ召集ニ應セサル議員ニハ事故ノ如何ヲ問ハス費用辨償年額ノ半額ヲ支給セス

臨時府會市部會又ハ郡部會ノ召集ニ應セサル議員ニハ事故ノ如何ヲ問ハス其常月分ノ費用辨償年額ヲ支給セス但開會而月ニ涉ルトキハ其翌月分ヲモ支給セス

第八條 名譽職府參事會員其會議ノ爲メ召集セラレタルトキニヶ月以上引續キ召集ニ應セサル者ハ事故ノ如何ヲ問ハス其召集ニ應セサル月ノ費用辨償月額ヲ支給セス

第九條 名譽職委員ニシテ職務ノ爲メ旅行中其職務ニ從事セシ場合ト雖宿泊料ヲ給スルトキハ費用辨償日額ヲ支給セス

第十條 府會議員、名譽職府參事會員ニシテ他ノ名譽職員ノ職務ヲ併セ從事スルコトアルモ其費用辨償額ハ別ニ之ヲ支給セス

第十一條 府會議員、名譽職府參事會員其ノ會議ノ爲メ召集ニ應シ旅行スルトキハ甲號表ニ依リ直路ノ行程ヲ計算シ往復旅費ヲ支給ス但シ汽車賃車馬賃ノ支給方ハ第十三條ノ例ニ依ル

片道汽車十哩以上陸路六里以上(水項但書十二里末)ノ旅行ニハ日當往復各一日分ヲ支給ス但陸路十二里以上ニ及フトキハ十二里計ノ割合ヲ以テ一日分トシ其行程ニ應シ日當ヲ支給ス片道日當二日分ヲ給スルトキハ宿泊料一夜分ヲ給シ以上一日分ヲ増ス毎ニ宿泊料一夜分ヲ増給ス



汽車陸路兩種ノ旅行相跨ルトキハ陸路ノ里程ニ換算シ前項ニ依リ其給否ヲ定ム但換算ノ爲メ陸路里程十二里以上ニ及ラズモ其換算セシ里程ハ前項但書ニ依リ支給ノ限リニアラス

第十二條 名譽職委員就職ノ爲メ其住所地ノ市町村ヨリ就職地ノ市町村ニ旅行シ若クハ退職失職ノ爲メ其在職地ノ市町村ヨリ住所地ノ市町村ニ旅行スルトキハ前條ノ例ニ依リ甲號表ノ旅費ヲ支給ス

第十三條 名譽職府參事會員、名譽職委員ニシテ職務ノ爲メ旅行スルトキ(前二條ノ場合ヲ除ク)ハ其順路ニ依リ乙號表ノ旅費ヲ支給ス

汽車旅行ニハ哩數ニ應シ汽車賃ヲ水路旅行ニハ海里數ニ應シ船賃ヲ其他ノ旅行ハ陸路旅行トシ里數ニ應シ車馬賃ヲ支給ス

日當ハ日數ニ應シ宿泊料ハ夜數ニ應シ之ヲ支給ス但水路ノ旅行ニハ宿泊料ヲ支給セズ

汽車賃、船賃、車馬賃ハ旅行ノ種類毎ニ經過セシ路程ヲ合算シテ之ヲ支給ス但シ一位未滿ノ端數ノ路程ハ切捨トス

汽車十哩未滿水路十海里未滿陸路六里未滿ノ旅行ニハ日當ヲ支給セズ但數種ノ旅行相跨ルトキハ陸路ノ里程ニ換算シテ給否ヲ定ム

第十四條 路程ハ住所地市町村ヨリ起算スルモノトス但會議ノ爲メ召集ニ應シ京都市ニ滞在申旅行セントキハ京都市ヨリ起算スルモノトス

附則

第十五條 府會議員、名譽職府參事會員、名譽職委員ノ外府名譽職員ニシテ其職務ノ爲メ費用ノ辨償ヲ要スルトアルトキハ此方法中名譽職委員ニ關スル條項ヲ適用ス

第十六條 此方法ハ明治三十三年一月一日ヨリ施行シ之ニ關スル從前ノ規則ハ同日ヨリ廢止ス此方法施行ニ依リ初メテ支給スヘキ年度ニ於テハ府會議員ノ費用辨償年額ハ其三ヶ月分ヲ支給スルモノトス

甲號表	汽車賃一哩ニ付	車馬賃一里ニ付	日當一日ニ付	宿泊料一夜ニ付
乙號表	汽車賃一哩ニ付	船賃一海里ニ付	車馬賃一里ニ付	日當一日ニ付
甲號表	金五錢	金貳拾錢	金壹圓	金壹圓五拾錢
乙號表	金五錢	金五錢	金貳拾錢	金壹圓
			金壹圓	金壹圓五拾錢



明治三十二年十二月 告示

百六十二



告諭及達

明治三十二年十二月 告示

百六十二



○告諭第一號

一四 日

曉近徵兵ノ選ニ當リ入營セントスルモノアルヤ其親戚故舊保郷黨相集マリ盛ニ祝宴ヲ張リ會飲  
連日綠門ヲ兵前ニ建テ旌旗ヲ街頭ニ懸ヘス等事ヲ華美ヲ旨トシ之レカ爲メニ往々多額ノ費用ヲ消  
費スルモノアリ惟フニ此習俗タル去明治二十七八年戰役ノ後尙武ノ氣風頓ニ興リ國民ノ兵事ヲ視  
ル更ニ重キヲ加ヘタルニ起因スルモノニシテ其意ヤ固ヨリ嘉ニスヘント雖モ而モ徒ラニ過分ノ資  
ヲ投シテ寔遊ノ費ニ供シ甚キハ爲メニ債ヲ起シテ尙ホ一時ノ虛榮ヲ競ハントスルニ至リテハ管ニ  
本來ノ主旨ニ背原スルノミナラス延テ許多ノ惡弊ヲ生シ其當初入營ヲ祝スル所以ノモノ適マ以テ  
忌ムヘキノ結果ヲ見ルニ至ラントス豈思ハサルヘケンヤ且ツ夫レ軍人ハ質素ヲ旨トスヘントハ明  
治五年十一月軍人ニ下シ玉ヒシ 聖諭ナリ夫ノ徒ラニ外觀ノ華美ヲ競ヒ驕奢文弱ノ風ニ流ル、如  
キハ洵トニ 聖旨ニ副ヒ奉ル所以ニアラサルヘシ仍テ自今以後入營者ヲ送ラントスルモノハ宜ク  
此意ヲ体シ其分ヲ省ミカメテ質素ヲ旨トシ誠意誠心以テ入營者ノ將來ヲ誤ル勿カラント期ス  
ヘシ

○告諭第二號

一四 日

近時在營ノ兵卒中其父兄ニ對シ種々ノ口實ヲ設ケ金員ヲ請求シ父兄亦勉メテ之ニ應スルノ事實アリ  
蓋シ情ニ於テ止ムヲ得サルモノアリト雖モ子弟ヲシテ克ク兵卒タルヲ本分ヲ盡サシムルノ道ニ  
アラズ凡シ兵卒トシテ在營スルモノハ皆其階級ニ應シ相當ノ日給ヲ給與セラル、サ以テ決シテ他



ニ特別ノ支給ヲ受クルヲ要セサルニ拘ハラヌ漫リニ金貨ヲ送付スルカ如キコトアリテハ徒ラニ者  
修文弱ノ風ヲ助長スルノ資料トナリ軍隊ノ爲メ個人ノ爲メ決シテ喜ブヘキコトニアラス眞ニ能ク  
其子弟ヲ愛スルモノニアリテハ國家ノ爲メ勉メテ此惡習ヲ避ケサルヘカラサルナリ聞ク在營兵ニ  
シテ常ニ送金ヲ受ケサルモノニ在リテハ自ラ志氣堅確現役滿期ノ際概テ善行証書ヲ受ケテ歸郷ス  
ト亦以テ送金ノ利弊ヲ判スルニ足ルヘシ此事タル從來屢々郡區町村長ヲシテ父兄ニ注意セシメタ  
ル所アルモ今仍ホ此舊套ヲ脱セサルハ誠ニ遺憾トスル所ナリ仍ラ自今在營ノ子弟ヨリ金貨ノ請求  
ヲ受ケタル者ハ其需要ノ果シテ正當ノ事由ニ因ルモノナルヤ否ヤヲ當該中隊長ニ問合其回答ヲ得  
ルニアラサレハ一切送金セサル様注意スヘシ

○告諭第三號 二十四日

加佐郡餘内村 同倉梯村 同志樂村

舞鶴軍港市街ノ設備ハ百年ノ長計ニシテ事軍國ニ關スルカ故諸般ノ計畫ニ於ル能ク精密ナル調査  
ヲ遂ケ路モ遺策ナカランコトヲ要スルヲ以テ其筋ニ稟議協商シ之レカ設計ヲ定メタリ然ルニ  
目前ノ小利ニ眩惑シ或ハ投機者輩ノ教唆ニ罹リ道路豫定線内ニ假屋ノ新設ヲ爲サントスルモノア  
ラソ乎時期ニ到リテ忽チ取拂ヲ要シ意外ノ損失ヲ招クニ至ラン是レ思ハサルノ甚シキモノナリ故  
ニ諸般ノ建築ヲ爲サント欲スルモノハ豫メ當局者ニ稟議シ道路敷溝渠敷等ノ線内ヲ侵犯セサル様  
注意スヘシ

右告諭ス

○府告諭第四號 十五日

府下ニ於ケル赤痢病ハ已ニ郡市ニ散蔓シテ初發ロリノ患者ハ其數七十餘名ノ多キニ居リ而シテ頃  
日來病勢頓ニ猖獗シ極メ患者陸續増殖シ益傳播ヲ逞フセントスルノ兆アリ依テ此際各自ニ於テモ  
平素飲食物ノ攝生家宅内ノ清潔ニ注意シ特ニ神社ノ祭典寺院ノ法會ニ當リテ多衆團集過飲暴食ヲ  
爲シ又ハ不食不熟ノ食物ヲ贈答スル等ノ過ナキ様一層自衛ニ警戒ヲ加ヘ以テ病患ヲ未萌ニ防遏セ  
ンコトヲ期スヘシ



○告諭第五號 十一月十七日

ペスト病ハ年々印度及清國地方ニ流行スト雖モ我本土ハ未タ曾テ該病毒ニ浸染サレタルコトナシ  
 然ルニ本月上旬ニ至リ突然廣島市ニ侵入シ續テ神戸市ヲ侵襲ス而シテ前者ハ臺灣ヨリ來航セシ流  
 船近江丸ノ齎來セシモノニシテ其病源ハ乘客中上陸セシ一人ニ止マリ他ニ傳播セスト雖モ後者ハ  
 系統全ク別種ニシテ殆モ近江丸ニ關係ナラセズ或ハ清國地方ヨリ輸入シタル綿花類ニ附着シ來リ  
 タルモノ、如シ其病源ハ最初神戸市葦合村ニ三名ノ患者ヲ發見シ發生區域其一部ノ勞働者ニ止  
 マルカ如クナリシニ其後同市停車場構内ニ發生シ漸ク蔓延セントス目今神戸港等ニハ嚴密ナル海  
 港検査ノ設備アルニモ拘ハラヌ如何ニシテ關門ヲ潛入シタルヤ其病毒ノ峻烈ナル畏怖慄慄セサル  
 ナ得ンヤ抑モペスト病ノ恐ルヘキハ虎列拉赤痢ノ如ク管ニ消化器ヨリ傳染スルニ止ラス病毒ハ常  
 ニ空中ニ浮游シ呼吸器若クハ皮膚ノ微傷部ヨリ浸入スルニアリ故ニ蚤喰ノ如キ輝烈ノ如キ微少ナ  
 ル損所ト雖モ忽諸ニ附スルトキハ忽チ病毒ノ侵入スル所トナリ一タヒ之ニ感染スルトキハ十中八  
 九生命ヲ全スル能ハス其發病ノ初期ハ身体先ツ疲勞シ甚ク熱度昇騰スルト同時ニ惡寒戰慄シ風  
 蹊線又ハ腋下線ニ腫脹ヲ起スヲ以テ荷モ寒胃ヲ自覺シ身體ニ疼痛ヲ感スルコトアラハ急速醫師ノ  
 診察ヲ乞ハサルヘカラス而シテ流行地方ノ實況ニ徴スルニ之レニ感染スルモノハ多ク不潔ニシテ  
 衛生ニ冷淡ナル勞働者ニアリ衛生ノ緊要惟ハサルヘケンヤ今ヤ病毒ハ業ニ既ニ神戸市内ニ散蔓シ  
 陸續發生ノ兆候アリ蓋シ神戸市ハ我京都市ト交通上密接ノ關係ヲ有スルカ故ニ何時那邊ヨリ侵襲



シ来ルモ計リ難シ依リテ此際徒ニ當局者ノ施設ノミニ安セス各自亦衛生諸般ノ事項ニ注意スルハ勿論尙左記豫防方法ヲ實行シ該病毒ヲ未前ニ防遏シ生命ノ安全ヲ期スヘシ

豫防心得

- 一家屋ノ内外ヲ掃除シ不潔ノ場所ナカラシメ且空氣ノ疏通ヲ計ルコト
- 一飲食物ハ必ラズ煮沸シタルモノヲ用ユルコト
- 一家什器器具等ハ勿論衣服隊具等ハ日光空氣ニ曝露シ汚染シタルモノハ必ズ洗濯スルコト
- 一身體ニ創傷アルモノハ微少ノ擦傷ト雖モ時々石炭酸ヲ以テ洗滌シ速ニ創面ノ癒着ヲ計ルコト
- 一途上ハ必ズ跳足ニテ歩行セサルコト
- 一家屋内ニ鶯鼠アルトキハ直ニ焼却スルコト
- 一身體ニ異狀アルトキハ寒胃ト雖モ直ニ醫師ノ診察ヲ受クルコト

○告諭第六號 十一月二十一日

目下神戸地方ニ於テ流行セル「ペスト」ハ一ニ鶯鼠病ト名ツクル病ニシテ鼠カ該病ニ感染スルコト人ト異ナラス一朝鼠ノ該毒ニ感染スルコトアランカ之カ媒介ニ由リ該病ノ流行蔓延ヲ來タシ以テ其ノ撲滅殆ント期スヘカラサルナリ此際金網其他便宜ノ方法ヲ用ヒテ其驅除ニ力ヲ捕獲シタルトキハ直ニ燒却シ鶯鼠ヲ發見シタルトキハ左ノ各項ニ據リ取扱上注意スヘシ

一鼠ノ屍体ヲ發見シタルトキハ警察官吏ニ通報スヘシ

- 一鼠ノ屍体ハ素手ニテ取扱フヘカラス火箸等ニテ採リ後其火箸ハ烈火中ニ挿入スヘシ
- 一鼠ノ屍体ヲ送致セントスルトキハ二十倍ノ石炭酸水若クハ千倍ノ昇汞水ニ浸セル綿布片又ハ紙片ニ包ミ若シ其藥劑ナキトキハ屍体ヲ鉄葉錘或ハ竹筒ニ收メ密閉スヘシ
- 一鼠ニハ常ニ蚤ノ附着セルモノナレハ深ク注意スヘシ



○告諭第七號

十二月五日

今回埼玉縣下北足立郡ニ於テ牛疫發生三頭撲殺ノ旨通知ニ接ス茲ニ管下該病流行ニ際シテハ數百ノ飼牛ヲ斃シ最モ慘況ヲ極メタルハ今尙飼畜者ノ戰慄スル所ナリ今其發生地ノ遠ク關東ニ在ルモ海陸交通至便ノ折柄何時襲來スルヤ知ルヘカラス故ニ此際牛羊豚ヲ飼養スル者ハ特ニ注意ヲナスヘシ

○告諭第八號

十二月二十五日

ペストノ廣島神戶ニ發生シテヨリ既ニ四旬其大阪ニ侵入シテヨリ又三旬餘而シテ病勢劇甚今仍ホ衰減ニ至ラス漸ク蔓延ノ兆アリ然ルニ本府ニ於テハ汽船船舶ノ檢疫ト各自衛生ノ周到ナルトニ依リ一人ノ患者ヲ見サルハ本官ノ頗ル喜フ所ナリト雖モ神阪兩地ハ共ニ本府ニ接近シ日夕交通ノ頻繁ナル少シク間隙アラシカ忽ニシテ病毒侵入如何ナル慘狀ヲ呈スヘキヤモ難計殊ニ本市ハ千歳ノ菰郡ニシテ御所離宮ノ在ル所万一不幸ニシテ該病者ヲ出シ淨地ヲ穢ス如キコトアラハ實ニ菰郡ノ面目ニ關シテ容易ナラサル次第ニ候條各自ニ於テモ深ク此意ヲ体シ身体住居ヲ清潔ニシ起臥飲食ヲ慎ムヘキハ勿論本年十一月本府告諭第五號ニ示セル豫防心得其他時々示ス處ノ條項ヲ服膺シ官民相共ニ豫防ノ實効ヲ收メンコトヲ期圖スヘシ



○達第一號 七七 日 月

私立學校

今般文部大臣ヨリ別記ノ通訓令セラレタリ此際學校長及教員タルモノ能ク其意ヲ体シ篤ク本分ヲ  
彈シ以テ生徒教養ノ方ヲ誤ルコトナキ様深ク戒慎ヲ加フヘシ

(別記)

文部省訓令第十號

北海道廳 府縣

本大臣就任ノ初ヨリ學校ノ事態ニ關シ衷心竊ニ憂慮スル所アリ是ヲ以テ本年四月地方長官召集  
ノ機ニ際シ本大臣ハ學校ノ風紀ヲ正シ規律ヲ嚴ニスヘキコトヲ反覆披陳シテ其注意ヲ促シタリ  
今ヤ改正條約實施ノ期僅ニ數日ヲ出テサラムトシ茲ニ新ニ  
詔勅ヲ下シタマフ蓋將來外國人ノ内地ニ來住居住スル者滋々多キヲ致スヘシ此ノ時ニ際シ若シ  
學校生徒サシテ放漫自ラ制セス或ハ禮節ヲ藐視シ或ハ粗野ノ行爲ヲ敢テシ奇矯是レ喜フ如キ陋  
習ヲ長セシムルコトアラハ獨リ教育上ノ失體タルノミナラス延イテ國家ノ威信ヲ失墜シ其體面  
ヲ汚濁スルコトナキヲ保セス宜シク恭ミテ教旨ヲ奉體シ此ノ際尙一層學校長及教員ヲ督勵シ能  
ク戒慎ヲ加ヘ篤ク本分ヲ彈クシ以テ生徒教養ノ方ヲ誤ルコトナキヲ期セシムルニ努ムヘシ

明治三十二年七月一日

文部大臣伯耆樺山資紀

明治三十二年七月 達



明倫彙編  
家範典  
卷之七  
七



明治三十二年七月 達

二

市  
公  
告



○市公告第一號 四 月

本市々會ノ決議ヲ經テ市立學校學資金トシテ

皇太子殿下ヨリ下賜セラレタル金參千八百圓ヲ京都府ヨリ交付ニ付左ノ通分配スルモノトス

但美術工藝學校分ハ同校建築準備金ニ組込ニ染織學校及高等小學校分ハ同校學資金トシテ積立

利殖シ盲啞院分ハ同院學資金ニ組込ムモノトス

一金貳百圓 美術工藝學校 一金貳百圓 盲 啞 院

一金百圓 染 織 學 校 一金參百圓 高 等 小 學 校

一金參千圓 尋 常 小 學 校

○市公告第二號 四 月

本市々會ノ決議ヲ經テ先般

皇太子殿下ヨリ本市民衛生費トシテ下賜セラレタル五千圓ハ本市衛生基本金トシテ利殖ノ方法ヲ

定メ之ヲ永遠ニ蓄積スルモノトス

○市公告第三號 九 月

明治三十一年市公告第六十六號區長分任條件中左ノ一項ヲ追加ス

一 迷兒乘兒及行旅病人變死傷行倒人ニ關スル件

○市公告第四號 九 月

明治三十二年一月 市公告



明治三十二年一月 市公告

二

本年四月入學スヘキ本府師範學校生徒募集ニ付薦舉志願ノ者ハ明治三十一年府令第九十一號師範學校生徒募集細則ニ依リ入學志願書履歷書保證書ヲ具シ本月二十日迄ニ薦舉ヲ願出ツヘシ

○市公告第五號 一十七日

京都市會議長、議長代理者左ノ通當選セリ

議長 長 兩森菊太郎

議長代理者 矢戸龜三郎

○市公告第六號 一十二日

明治三十一年京都市公告第六十六號區長分任條件中左ノ各項ヲ追加ス

- 一 賦金徵收ニ關スルコト
- 一 國稅滯納處分剩餘金行旅死亡人所持金漂流物公賣代等預金局へ寄托ノコト
- 一 諸貸付金徵務者ニ關スルコト
- 一 漂流物公賣代金取扱ニ關スルコト
- 一 變災被害及救助處分報告ノコト
- 一 海外旅券願ニ關スルコト
- 一 烟草耕作人心得中市長取扱ニ關スルコト
- 一 傳染病豫防消毒執行ニ關スルコト
- 一 種痘施行ニ關スルコト

一 藥種商并製藥者願屆ニ關スルコト

一 中毒并麻疹患者報告ニ關スルコト

一 一回歸熱患者屆ニ關スルコト

一 賣藥鑑札料徵收ノコト

○市公告第七號 一十三日

一金壹萬五千圓 第一回發行長期市公債元金

一金貳萬貳千八百圓 第二回明治二十八年發行同上

計金壹萬七千八百圓

右金額本市明治三十一年度歳出豫算ニ因リ償還ノ爲メ來ル二月十七日午前十時當役所ニ於テ抽籤執行ス

但明治二十三年本市公告第三十七號發行手續第十一條及同二十八年市公告第四號規定第十三條但書ニ依リ各証書壹萬圓以上所有スルモノハ當日其席ニ立會フコトヲ得

○市公告第八號 一十八日

本市尋常小學校休業日中夏期休業目左ノ通り變更ス

自八月一 日

一ヶ月間 夏期休業

至同 卅一日

明治三十二年一月 市公告

三



○市公告第九號 三十一日

京都市工藝圖案調製規則左ノ通相定ム

京都市工藝圖案調製規則

- 第一條 本市ニ於ケル漆器蒔繪彫金并ニ彫刻ノ上進ヲ圖ラシムカ爲メ本市營業者ノ請求ニ依リ圖案掛ニ於テ該圖案ノ調製及ヒ意匠考案ノ協議ニ應スルモノトス
- 第二條 圖案ノ調製ヲ請ハントスルモノハ左記書式ニ依リ一回三點ヲ限リ市長ヘ願出ツルモノトス
  - 但特殊ノ事情アルモノ、外前同願出ノ圖案ヲ領收セシ後ニアラサレハ更ニ出願スルヲ得ス
- 第三條 市長ニ於テ圖案調製ノ願ヲ許可シタルトキハ之ヲ圖案掛ニ回付シ圖案掛ハ其順序ニ依リ圖案ヲ調製シ市長ニ差出スモノトス
  - 但圖案調製ノ順序ハ市長ヘ稟議ノ上變更スルコトヲ得
- 第四條 圖案調製ヲ依頼シタルモノニハ該圖案ニ對シ金壹圓以上拾圓以内ノ範圍ニ於テ描寫料ヲ納付セシムルモノトス
- 第五條 圖案ノ交附ヲ受ケタルモノハ其圖案ヲ實地ニ供スヘキ義務アルモノトシ左記各項ヲ遵守セシムルモノトス
  - 一 物品製作ノ上ハ其旨ヲ市長ヘ報告スヘシ

一 受領シタル圖案若實用ニ適セスト認め又ハ其他ノ事故ニ依リ製作ヲ得サルトキハ其旨ヲ市長ヘ報告スヘシ

但既收ノ描寫料ハ返戻セサルモノトス

一 圖案ハ自己製作用ニ供スルノ外他ヘ讓渡又ハ貸與スヘカラス

第六條 圖案掛請所備付ノ圖案ヲ借用セントスルモノハ其期限ヲ定メ市長ノ許可ヲ經タル後圖案掛ニ就キ之ヲ貸付ヲ受クヘシ

但借用中紛失又ハ毀損シタルトキハ相當ノ描寫料ヲ納付スルモノトス

第七條 圖案ノ交附ヲ受ケタルトキハ所定ノ圖案交附簿ニ捺印セシムルモノトス

第八條 圖案描寫料ハ市長ノ指定ニ從ヒ圖案引替ニ本市收入役ニ納付スルモノトス

第九條 圖案掛請所ハ當分御苑内京都市博覽會場附屬建物ヲ以テ之ニ充ツ  
但臨時他ニ移轉スルコトアルヘシ

(圖案願書式)

圖案調製願

種類	品名	個數
一同	同	同
一同	同	同

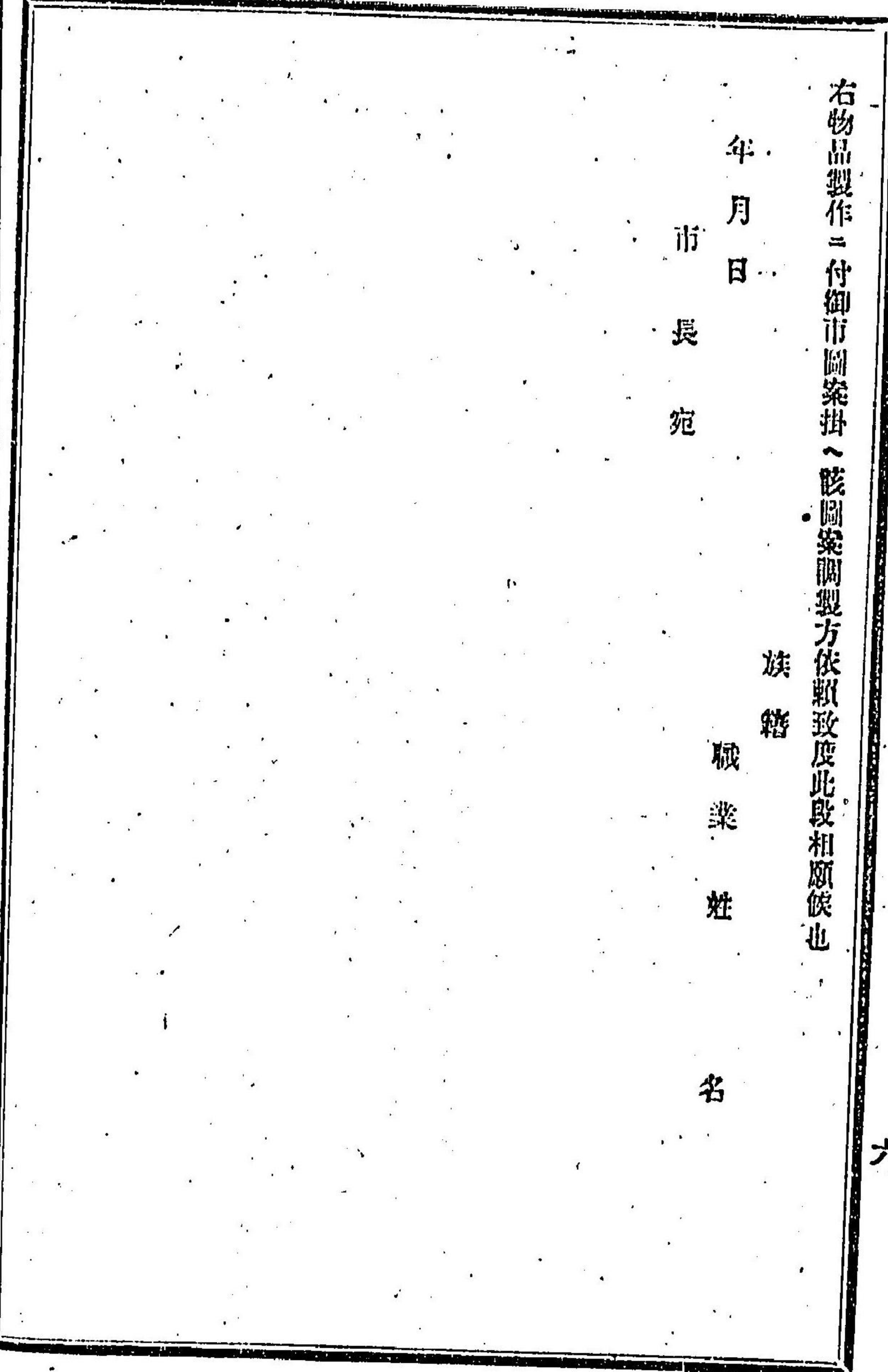


明治三十二年一月 市公告

六

右物品製作ニ付御市圖案掛へ該圖案調製方依頼致度此段相願候也

年月日	市長宛	族籍	職業	姓	名



○京都市公告第十號 三〇日

長期市公債額而貳千四百圓募集候條明治二十八年本市公告第四號ニ基キ左ノ各項ニ據リ當役所へ申込ムヘシ

但申込用紙ハ當役所ニ於テ受取ルヘシ

一本公債証書ノ價格ハ額面百圓ニ付金百圓以上トス

一應募額ニ對スル保証金ノ割合ハ証書額面百圓ニ付金拾圓トス

一應募者ハ保証金相添へ來ル二十日ヨリ同二十四日マテニ應募額價格及住所姓名ヲ詳記シ申込ムヘシ

一京都市參事會ハ明治三十二年二月二十六日マテニ各應募者ニ交付スヘキ公債証書ノ高ヲ査定シ

市役所サシテ通知セシム

一前項通知ヲ受ケザル者ハ其應募ニ對スル金額ノ内保証金ヲ引去リタル殘額ヲ同月二十七日二十

八日ノ同日ニ市役所へ拂込ムヘシ

○市公告第十一號 (畧ス)

○市公告第十二號 (畧ス)

○市公告第十三號 (畧ス)

○京都市公告第十四號 二十七日

明治三十二年二月 市公告

七



明治三十二年二月 市公告

八

明治三十二年一月二十三日 本市公告第七號ニ據リ 市公債元金參萬七千八百圓償還ノ爲メ 明治三十二年二月十七日抽籤執行候處其證書金額種類及番號左ノ如シ

一金壹萬五千圓

第一回明治二十七年以前發行長期市公債元金ノ内

五百圓

番號

壹壹六

番號

七八

拾五枚

番號

壹八四

番號

貳七壹

參參參

參六〇

百圓

番號

八四

番號

壹七五

壹九參

七參壹

七四八

八五五

六拾八枚

番號

貳〇六

貳〇七

壹貳六〇

壹貳八貳

壹參〇七

番號

貳參九

參五五

壹五七六

壹六〇壹

壹六八五

明治三十二年二月 市公告

九

一金貳萬貳千八百圓

但

五拾圓

番號

參五

五七

六四

壹〇六

番號

壹〇七

貳〇六

貳貳四

貳七八

拾四枚

番號

參貳六

參貳八

參五八

參八九

番號

四壹六

四參貳

四七〇

四七九

五壹四

五六四

六壹九

六四九

六五參

六六六

六七五

六九四

七壹壹

八八壹

九四七

九四九

壹〇四七

壹〇五〇

壹〇五五

壹〇六〇

壹〇六壹

壹壹參壹

壹壹參六

壹壹八貳

壹參壹九

壹四壹壹

壹四參五

壹四四九

壹四七壹

壹四七六

壹五〇六

壹五壹〇

壹五四八

壹五七四

壹六八八

壹六八九

壹七貳七

壹七參五

壹七參六

壹七四四

壹七六貳

壹八貳參

壹八參四

壹八七九

壹九壹六







○市公告第十九號 二十八日

本市明治三十二年度圓山公園歲入出總計豫算市會ノ議決ヲ採リ左ノ通定ム

京都市明治三十二年度圓山公園歲入出總計豫算

- 歲入
  - 一金貳千貳百貳拾五圓八拾壹錢五厘
  - 一金貳千貳百貳拾五圓八拾壹錢五厘

歲入豫算高  
經常費豫算高

京都市明治三十二年度圓山公園歲入出豫算表

科	目	前年度豫算額	本年度豫算額	附記
第一款	使用料	21,025.26	21,225.15	○年地使用許可地五千九百八坪二合八勺一ク 年使用料平均一坪參拾貳錢五厘壹毛餘此金 千九百貳拾圓八拾壹錢五厘 ○臨時使用地許可見込八百坪一ク月使用料平 均一坪貳拾五錢此金貳百圓
第二款	雜收入	2,000	2,000	○枯損木賣却代
第三款	前年度繰越金	100,000	100,000	○三十一年度經費支拂殘金ノ見込額

歲出經常費

計	前年度豫算額	本年度豫算額	附記
第一款	21,025.26	21,225.15	○掃除及土方常夫(男)一人月給拾壹圓十二ク 月分此金百參拾貳圓 ○掃除人常雇四人(女)一人日給拾七錢延日數 千四百六十日分此金貳百四拾八圓貳拾錢 ○臨時雇人夫千人內男二百人一人日給拾 錢女九百人一人日給八錢此金貳百四拾貳 圓 ○植木職工百五十人一人五拾錢此金七拾五圓 ○小使手當一ク月壹圓五拾錢十二ク月分此金 拾八圓 ○池邊船長二十五間破損ニ付崩石積修繕ノ爲 石買入并工事費此金貳百參拾四圓 ○掛寬長百十間新取設工事費金七拾參圓 ○溝七間新設工事費金四拾四圓 ○道六間修繕ノ爲小砂利立二十坪買入費金七 拾六圓 ○溫泉建物取拂跡石垣ノ古石買入及修繕工事 費金貳百五拾圓 ○北林ノ內四百坪芝張ノ爲芝買入張手間共 此金百貳拾圓
第二款	2,111.100	2,111.100	
第二項	2,111.100	1,110,000	



第三項 雜費	三六・六七	三六・六七	○木柵百八十間及在來ノ掛篋ノ内百五十間修繕費金百五拾參圓 ○樹木石買入及事務所建物小修繕費金百八拾圓
第四項 土地買收費	六二二・〇〇〇	〇	○市有地々租及地方税金百貳拾七圓貳拾六錢六厘 ○肥料買入代金五拾六圓樽松(焚手間共)代金九拾六圓六拾錢 ○炭竹帶竹塵取竹籠之類買入代一ヶ月參圓十ニヶ月分金參拾六圓 ○掃除用鐵鍬其他雜品買入修繕費及臨時ニ生スル諸費金四拾九圓七拾四錢九厘 ○常雇(男女)年末賞與金拾五圓
計	二、三〇五・二一六	二、三〇五・二一六	

○市公告第二十號 二十八日  
京都市會議長代理者柴戸龜三郎辭任ニ付後任者左ノ通常選就職ス

東 枝 吉 兵 衛

○市公告第二十二號 三 日  
明治三十一年市公告第六十六號區長分任條件中左ノ各項ヲ追加ス  
一 清潔法施行ニ關スルコト 一 衛生組合ニ關スルコト 一 埋火葬認許證交付ノコト  
○市公告第二十三號 三 日  
市會ノ決議ヲ經臨時水利調査委員規程本年三月末日限り廢止ス  
○市公告第二十四號 三 日  
本市公告式規程左ノ通改正ス

公告式規程

京都市ノ公告ハ京都市役所門前各區役所門前ノ揭示場ニ揭示スルヲ以テ公告式トス  
但シ區會ノ議決ヲ經テ公告スルモノハ當該學校ノ門前ニ限り揭示スルモノトス  
○市公告第二十五號 六 日  
市會ノ決議ヲ經本市明治三十二年度盲啞院歳入出總計豫算左ノ通定ム  
京都市明治三十二年度盲啞院歳入出總計豫算

歳 入

一金參千四百八拾五圓拾七錢

歳 入 豫 算 高

歳 出



一金參千四百八拾五圓拾七錢

經常費豫算高

京都市明治三十二年度盲啞院歳入出豫算表

歳入

科	目	前年度豫算額	本年度豫算額	附記
第一款	財産ヨリ生ズル收入	2111.110	2138.610	
一	學費金利子	1088.910	1118.110	○市へ貸金貳萬八千八百圓ノ利子金貳千拾六圓 ○市公債金五圓五拾圓ノ利子金參拾參圓 ○預金千九拾四圓貳拾參錢八厘ノ利子金七拾貳圓貳拾貳錢 ○獎學金五拾圓ノ利子金參圓
二	土地賃料	188.800	280.800	○附屬地千二百五十二坪賃料
第二款	雜收入	801.200	827.200	
一	授業料	187.100	221.000	○管内生六十五人一人一ヶ月貳拾錢十一ヶ月分此金百四拾參圓 ○管外生六十八人一人一ヶ月參拾錢十一ヶ月分此金百九拾八圓
二	雜入	188.800	269.800	
第三款	補助金	1781.200	282.000	

歳出經常費

科	目	前年度豫算額	本年度豫算額	附記
一	府補助金	125.000	125.000	○慈惠救濟金ヨリ補助
二	市補助金	17118.600	1100.000	○慈惠基金ヨリ補助
第四款	寄附金	200.800	188.210	
計		10774.400	1193.210	
科	目	前年度豫算額	本年度豫算額	附記
第一款	盲啞院	2,772,880	2,828,180	
第二項	給料	2,252,280	2,277,880	
一	教員給料	2,016,000	2,136,000	○月俸四拾參圓一人此金五百拾六圓同貳拾五圓二人此金六百圓同拾八圓一人此金貳百拾六圓同拾五圓一人此金百八拾圓同拾四圓一人此金百六拾八圓同拾貳圓二人此金貳百八拾八圓同拾八圓一人此金九拾六圓同六圓一人此金七拾貳圓同四圓二人此金百貳拾圓同四圓一人此金四拾八圓同參圓一人此金參拾六圓同貳圓 ○書寫兼寄宿舎掛月俸九圓一人此金百八圓



二	雇給料	25,650.00	31,650.00	○看護人月俸七圓一人此金八拾四圓同六圓五拾錢一人此金七拾八圓 ○書寫一人一日參拾錢延百五十五人分此金四拾六圓五拾錢
三	使丁給料	16,070.00	181,300.00	○月俸五圓五拾錢一人此金六拾六圓同五圓一人此金六拾圓合金百貳拾六圓 ○臨時雇一人一日貳拾五錢延六十八人分此金拾五圓
第二項	雜給	188,710.00	181,300.00	
一	手當	80,300.00	80,300.00	○校醫一名年額參拾圓 ○按職術科助手一名年額拾貳圓
二	旅費	89,310.00	0	
三	慰勞	19,700.00	80,100.00	○教員俸給年額千分ノ十五此金參拾五圓拾錢 ○特別慰勞金貳拾五圓
四	賞與	19,280.00	18,950.00	○生徒百四十五人一人平均拾壹錢此金拾五圓九拾五錢 ○獎學賞與金參圓
五	退職給與	110,000.00	110,000.00	○正教員一人月俸平均貳拾圓一ヶ月分
第三項	需用費	91,810.00	89,070.00	
一	書籍費	11,100.00	11,850.00	○教授用圖書并ニ參考書類

二	器械費	112,000.00	112,300.00	○教授用器械器具
三	雜具費	118,950.00	88,050.00	○器具類貳拾六圓貳拾八錢 ○雜品拾八圓七拾七錢 ○筆紙墨類五拾六圓六拾參錢 ○薪炭油類百九圓四拾壹錢 ○雜品五拾四圓八拾六錢
四	消耗費	119,110.00	110,700.00	○職員一人使丁一人宿直職員一夜拾錢使丁同七錢
五	賄費	81,000.00	81,000.00	○郵便電價料七圓 ○迎禮費六圓
六	通信運搬費	18,000.00	18,000.00	○附屬地々租金貳圓五拾錢四厘地方税金壹圓六拾五錢六厘合金四圓拾六錢 ○式典費八拾七圓 ○雜費參拾四圓九拾錢
第四項	雜費	217,560.00	216,060.00	○小修繕拾圓八拾五錢 ○障子紙硝子戸硝子張替代七圓八拾錢 ○正教員三人分給料千百拾六圓ニ對スル百分ノ一
第五項	修繕費	88,710.00	18,650.00	
第六項	國庫納金	8,880.00	11,160.00	
計		876,920.00	876,920.00	
△	建築費	1,671,160.00	0	
總計		2,548,080.00		

○市公告第二十六號 下京第二十九學區三十二年年度歳入換算 (畧ス)



○市公告第二十七號 九 月 日

市會ノ議決ヲ經市學務委員規程第四條但書ヲ左ノ通改正ス

但シ有給市參事會員及教員ヨリ加ハルモノハ此限リニ非ス

(參照) 明治三十五年(五月)設置市學務委員規程抄錄

第四條 學務委員ニハ任期中一人ニ付額金五拾圓ノ報酬ヲ給與ス  
但シ教員ヨリ加ハルモノハ此限リニアラス

○市公告第二十八號 九 月 日

本月廿七日(自午前九時)

至午後三時)京都市議事堂ニ於テ京都商業會議所會員半数改選并ニ補欠選舉ヲ施行ス

○市公告第二十九號 十三 月 日

市會ノ議決ヲ經明治二十七年三月市公告第三十八號京都市爲換方規程中第二條及第三條左ノ通改正ス

第二條 第一條ノ預金ニ對スル抵當ハ國債證書、京都<sup>公債</sup>、東京、大阪市公債證書及日本銀行株券トス

第三條 抵當價格ハ預金高相當ノ抵當ヲ差出サシム其査定方左ノ如シ

一 公債證書ハ日本銀行抵當價格ニ依ル

二 京都市公債及公債證書ハ額面ノ通トス

三 日本銀行株券ハ時價ノ二割減トス但中途ト雖トモ變動ノ著シキトキハ其時々變更ス

(參照) 明治二十七年(三月)市公告第三十八號抄錄

第二條 第一條ノ預金ニ對スル抵當ハ國債證書東京、大阪市公債及本市ノ公債證券トス

第三條 抵當ノ價格ハ日本銀行抵當價格ニ據リ預金高相當ノ抵當ヲ差出サシムルモノトス  
但京都市公債證書及公債證書ハ額面並リトス

○市公告第三十號 十三 月 日

市會ノ決議ヲ經本市常設勸業委員規程同衛生委員規程同教育委員規程同保勝委員規程ハ本年三月末日限リ廢止ス

○市公告第三十一號 十五 月 日

市會ノ議決ヲ經明治三十二年度水利事業費左記ノ通相定ム

明治三十二年度水利事業費歳入出豫算 (△印ハ本年度豫算ナキ分)

歳 入

一金拾壹萬八千百拾五圓

歳 入 豫 算 高

歳 出

一金拾萬千四百七拾壹圓七拾錢貳厘

經 常 費 豫 算 高

差引金壹萬六千六百四拾參圓貳拾九錢八厘

明治三十二年度水利事業費歳入出豫算表



歳入		前年度豫算額	本年度豫算額	附記
科	目			
第一款	財産ヨリ生ズル收入	九七五・三九九	九六二・三二六	
一	貸地料	八五二・七五〇	八五九・六六七	○運河付屬地一時貸付料
二	捕魚料	一二三・六四九	一二三・六四九	○運河捕魚料
第二款	使用料及手数料	一一八・八九九	一一六・二九六・二二五	○電力使用料九萬六千九百八圓參拾七錢四厘 ○水力使用料壹萬貳千四百五拾八圓也 ○遊船使用料四千四拾五圓九拾五錢也 ○遊船使用料千七百四拾圓也 ○附門使用料千七百四拾圓也 ○イソクライソ使用料八拾錢也
第三款	雜收入	一六〇・五〇〇	八三六・五六〇	○古被覆銅線屑及古鉄類其他空罐ホリ屑等拂代 ○冥加金及電柱敷地料九拾六圓五拾六錢也 ○尿料四拾圓也
一	使用料	一一八・八九九	一一六・二九六・二二五	
一	不用品拂代	一五〇・〇〇〇	七〇〇・〇〇〇	
二	雜入	一〇・五〇〇	一三六・五六〇	
合計		一六六・四八八・八四八	一六二・一五二・〇〇〇	

歳出經常費		前年度豫算額	本年度豫算額	附記
科	目			
第一款	水利事務所費	三六、〇〇六・三九九	四一、八九九・〇一七	
第一項	給料	一〇、九一三・一〇〇	一一、八八八・五五〇	
一	所長給料	五〇〇・〇〇〇	六〇〇・〇〇〇	○年俸額
二	理事給料	五五〇・〇〇〇	六〇〇・〇〇〇	○月俸五拾圓一人
三	書記給料	一、〇一〇・〇〇〇	一、一〇〇・〇〇〇	○月俸平均貳拾圓五人
四	技師給料	一、一〇〇・〇〇〇	一、一〇〇・〇〇〇	○技術長一人年俸額
五	技手給料	一、七七六・〇〇〇	二、〇五〇・〇〇〇	○月俸平均四拾五圓貳人貳拾圓四人 ○工手月給平均九圓百二人此金壹萬千拾六圓也 ○試驗部雇月給拾五圓一人此金百八拾圓也 ○修繕部雇月給拾參圓二人此金參百拾貳
合計		一六六・四八八・八四八	一六二・一五二・〇〇〇	
合計	付金	五五五・〇〇〇	〇	



六 諸雇員給料		15,500.100	15,600.750	○ 關門番人四人インクライオン番人二人月給平均八圓此金五百七拾六圓也 ○ 水位觀測人月給平均七圓二人此金百六拾八圓也 ○ 迎河并二關門定夫日給參拾八錢一人日給參拾參錢五人日給參拾錢十六人此金貳千四百九拾貳圓九拾五錢也 ○ 鐵管瀆取人日給參拾錢一人此金百九圓五拾錢也 ○ 分線路掃除人月手當壹圓五拾錢二人此金參拾六圓也 ○ 定雇大工日給五拾錢一人此金百八拾貳圓五拾錢也 ○ 臨時雇人一日五人平均一人日給四拾錢此金七百參拾圓也
七 使丁給料	21,000	21,000	○ 月給平均六圓三人	
第二項 雜給	3,400.800	3,400.600		
一 旅費	8,700.100	5,300.300	○ 所員東上及大阪神戸其他線路内出張旅費	
二 費與	3,100.600	3,900.300	○ 收支差引純益金ノ一割	
第三項 需用費	11,200.100	13,200.900	○ 普通器具類貳百四拾七圓參拾九錢也 ○ 圖書類貳拾五圓也	
一 備品費	3,300.100	2,900.900		

二 消耗品費	9,000.600	9,000.600	○ 諸雜品費貳拾五圓也 ○ 筆紙墨并ニ使用券百六拾九圓六拾壹錢也 ○ 薪炭油其他雜品費七百參拾壹圓五錢也 ○ 書記一人技手一人雇三人工手三人宿直一人一夜拾錢此金貳百九拾貳圓也 ○ 使丁一人定夫一人宿直一人一夜七錢此金五拾壹圓拾錢合金參百四拾參圓拾錢也 ○ 書記技師技手雇工手夜勤七百五十度一度五錢此金參拾七圓五拾錢也 ○ 使丁定夫夜勤百一度參錢五厘此金參圓五拾錢也 ○ 水位觀測人夜勤七十二度一度五錢此金參圓六拾錢也 ○ 郵便電信費及電話使用料百拾四圓也 ○ 運搬費拾貳圓也 ○ 帶車リソグヘルト四筋二枚合四筋ニキサヘシ用小巾モノ十筋此金參千貳百參拾貳圓拾錢也 ○ 避雷器新調弧狀燈修繕費此金五百八拾五圓也 ○ 水車バケツ取替費水車箱及帶車廻リ修繕費此金參百貳拾九圓四拾錢也 ○ バルブ并ニメタル其他メートル類修繕費此金百七拾參圓也 ○ 鐵四十丁目立并ニ帶車繼用金具其他購
三 賄費	3,500.000	3,500.000	
四 通信運搬費	11,500.000	11,500.000	
五 器械費	11,100.100	11,100.600	



七 雜 費	五、三〇・九〇〇	五、三〇・九〇〇	<ul style="list-style-type: none"> <li>○倉庫片付及所内掃除人夫此金七拾貳圓也</li> <li>○以上ノ外諸雜費此金參拾圓也</li> <li>○構内其他出張所各開門番所及見張所等修繕費此金六拾貳圓九拾貳錢五厘</li> <li>○京都大津伏見間電話線路并ニ電話機修繕費此金四百五拾貳圓九拾九錢也</li> <li>○最水所并ニ量水標修繕費此金五拾圓也</li> <li>○架線電柱其他線路修繕費并ニ人夫賃等諸雜費此金千九拾壹圓八拾六錢也</li> <li>○インクライン鋼索或筋代并ニ取付費此金貳千四百六拾六圓貳拾錢也</li> <li>○脚上并ニ伏見インクライン小修繕及草取其他クレスト等修繕費此金貳百五拾五圓四拾五錢也</li> <li>○インクライン綱受車代及取付費此金貳百七拾五圓也</li> <li>○大津運河修繕費金貳百貳圓八拾七錢六厘</li> <li>○山科運河修繕費金千五百參拾七圓八拾錢也</li> <li>○分線運河修繕費金貳千七百八拾九圓九拾四錢四厘</li> <li>○鴨川運河修繕費金參千九百九拾九圓七拾六錢九厘</li> <li>○拾六錢九厘</li> <li>○全運河小修繕費金參千圓八拾錢也</li> <li>○土砂浚漚費金千貳百拾九圓五拾錢也</li> </ul>
六 器械消耗品 費	四、九三・五三六	五、四七・九六九	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求及修繕費此金八拾五圓也</li> <li>○發電機并ニエキサイター修繕其他必要ノ器械購入及修繕費此金千七百圓也</li> <li>○弧狀燈用カーボン四萬千六百五十本此金貳千百拾七圓九拾錢參厘</li> <li>○ブラツクニ并ヒニューズ線代此金參百圓也</li> <li>○發電油六百六十五ガラム此金六百六拾五圓也</li> <li>○通常鐵油六十五石七斗此金千六百四拾貳圓五拾錢也</li> <li>○ドラムモートル用油二十六ガラム此金貳拾六圓也</li> <li>○ドラム諸器械用鐵油三十石六斗五升此金九拾壹圓貳拾五錢也</li> <li>○電燈球二百個此金百圓也</li> <li>○サンデーバー三百打此金四拾五圓也</li> <li>○牛蠟、石蠟、蠟燭、晒木綿、試驗用藥品、調帶皮漆布油、松脂、襪襪、炭、洗曹達、粉炭、光明丹、白ペンキ、其他必要ノ諸雜品費此金四百九拾貳圓參錢六厘</li> <li>○廣告料此金貳拾圓也</li> <li>○乘車及使賃此金百八拾圓也</li> <li>○諸税金五拾五圓也</li> <li>○電柱敷地料此金五拾四圓九拾錢也</li> <li>○定夫法被服引四十二組此金百五圓也</li> <li>○弧狀燈巡視者用外套六組此金拾八圓也</li> </ul>

第四項 修繕費	一、三六・七五五	一、三二・四六五	<ul style="list-style-type: none"> <li>○倉庫片付及所内掃除人夫此金七拾貳圓也</li> <li>○以上ノ外諸雜費此金參拾圓也</li> <li>○構内其他出張所各開門番所及見張所等修繕費此金六拾貳圓九拾貳錢五厘</li> <li>○京都大津伏見間電話線路并ニ電話機修繕費此金四百五拾貳圓九拾九錢也</li> <li>○最水所并ニ量水標修繕費此金五拾圓也</li> <li>○架線電柱其他線路修繕費并ニ人夫賃等諸雜費此金千九拾壹圓八拾六錢也</li> <li>○インクライン鋼索或筋代并ニ取付費此金貳千四百六拾六圓貳拾錢也</li> <li>○脚上并ニ伏見インクライン小修繕及草取其他クレスト等修繕費此金貳百五拾五圓四拾五錢也</li> <li>○インクライン綱受車代及取付費此金貳百七拾五圓也</li> <li>○大津運河修繕費金貳百貳圓八拾七錢六厘</li> <li>○山科運河修繕費金千五百參拾七圓八拾錢也</li> <li>○分線運河修繕費金貳千七百八拾九圓九拾四錢四厘</li> <li>○鴨川運河修繕費金參千九百九拾九圓七拾六錢九厘</li> <li>○拾六錢九厘</li> <li>○全運河小修繕費金參千圓八拾錢也</li> <li>○土砂浚漚費金千貳百拾九圓五拾錢也</li> </ul>
第二項 運河修繕費	一、三六・七五五	一、三二・四六五	<ul style="list-style-type: none"> <li>○倉庫片付及所内掃除人夫此金七拾貳圓也</li> <li>○以上ノ外諸雜費此金參拾圓也</li> <li>○構内其他出張所各開門番所及見張所等修繕費此金六拾貳圓九拾貳錢五厘</li> <li>○京都大津伏見間電話線路并ニ電話機修繕費此金四百五拾貳圓九拾九錢也</li> <li>○最水所并ニ量水標修繕費此金五拾圓也</li> <li>○架線電柱其他線路修繕費并ニ人夫賃等諸雜費此金千九拾壹圓八拾六錢也</li> <li>○インクライン鋼索或筋代并ニ取付費此金貳千四百六拾六圓貳拾錢也</li> <li>○脚上并ニ伏見インクライン小修繕及草取其他クレスト等修繕費此金貳百五拾五圓四拾五錢也</li> <li>○インクライン綱受車代及取付費此金貳百七拾五圓也</li> <li>○大津運河修繕費金貳百貳圓八拾七錢六厘</li> <li>○山科運河修繕費金千五百參拾七圓八拾錢也</li> <li>○分線運河修繕費金貳千七百八拾九圓九拾四錢四厘</li> <li>○鴨川運河修繕費金參千九百九拾九圓七拾六錢九厘</li> <li>○拾六錢九厘</li> <li>○全運河小修繕費金參千圓八拾錢也</li> <li>○土砂浚漚費金千貳百拾九圓五拾錢也</li> </ul>



第三款 大津飲料水補給費	二七三、六〇〇	二七三、六〇〇	○京都電燈株式會社大津飲料水給水費
一 給水費	一、七〇〇、〇〇〇	一、七〇〇、〇〇〇	○換備石炭拾五萬六千斤此金八百七拾參圓六拾錢也
二 雜品費	一、〇三三、六〇〇	一、〇三三、六〇〇	○桶管其他修繕必要ノ諸雜品費此金百五拾圓也
第四款 公債費	五、一七六、二一七	五、一七〇、一、七五六	
一 元金償還	一、三九六、〇〇〇	一、五〇三、六〇九	○第一回拾參萬參千參拾五圓六拾錢九厘ノ内五千參拾五圓六拾錢九厘
二 利子	三、〇一〇、二一七	二、九四六、一三七	○第二回參拾四萬七千圓ノ内五千圓
第五款 豫備費	二、五九二、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	○元金四拾八萬百參拾五圓六拾錢九厘ニ對スル年六歩割此金貳萬八千八百八圓拾參錢七厘
計	一〇〇、一、九、九二九	一〇一、五、一、四〇一	○元金九千四百圓ニ對スル年利七歩ノ割此金六百五拾八圓也
△臨時費	二、五〇〇、〇〇〇	〇	
經常臨時合計	一〇二、六、九七、九二九	一〇一、五、一、四〇一	
歳入出剩餘金	一三、九五一、九一九	一六、六四三、二九六	

○市公告第三十二號 三十五年 十五日

明治三十一年京都市公告第六十六號區長分任條件中左ノ各項ヲ追加ス

一 醫術開業并ニ試驗願届ニ關スルコト 一 產婆營業并ニ試驗願届ニ關スルコト

一 按摩按、腹營業願ニ關スルコト 一 賣藥營業願届ニ關スルコト

一 製氷貯雪願ニ關スルコト

○市公告第三十三號 上京第十七學區三十一年度歳入豫算 (畧ス)

○市公告第三十四號 上京第十八學區學務委員當選ノ件 (畧ス)

○市公告第三十五號 下京第十八學區三十二年度經費 (畧ス)

○市公告第三十六號 下京第十三學區三十一年度追加豫算外二件 (畧ス)

○市公告第三十七號 下京第二十二學區三十二年度豫算 (畧ス)

○市公告第三十八號 下京第十七學區三十一、三十二年度豫算 (畧ス)

○市公告第三十九號 下京第十二學區三十二年度豫算 (畧ス)

○市公告第四十號 下京第十五學區同上 (畧ス)

○市公告第四十一號 下京第十九學區同上 (畧ス)

○市公告第四十二號 下京第二學區同上 (畧ス)

○市公告第四十三號 三十二年 二十日



本市上京區五辻通淨福寺西入一色町ニ第四高等小學校ヲ設置ス  
但開校ノ日ハ追テ公告スヘシ

○市公告第四十四號 下京第三學區學務委員當選ノ件 (畧ス)

○市公告第四十五號 下京第二十二學區御下賜金ニ關スル件 (畧ス)

○市公告第四十六號 上京第十五學區學務委員就職ノ件 (畧ス)

○市公告第四十七號 下京第八學區三十二年年度豫算 (畧ス)

○市公告第四十八號 上京第十五學區三十一年度追加豫算 (畧ス)

○市公告第四十九號 上京第三十一學區三十二年年度豫算 (畧ス)

○市公告第五十號 三十四日  
本市々會ノ議決ヲ經テ臨時傳染病豫防委員規程左ノ通相定ム

臨時傳染病豫防委員規程  
第一條 傳染病豫防ノ爲メ市制第六十一條傳染病豫防法第十五條本年三月京都府令第三十七號ニ依リ本市ニ設置スヘキ臨時傳染病豫防委員ノ定員ヲ五名トシ市參事會員一名市會議員二名市民中選舉權ヲ有スル者二名ヲ以テ組織ス但市民中ヨリ加ハル者ノ内一名ハ醫師トス  
第二條 豫防委員ハ市參事會ノ監督ニ屬シ傳染病ノ檢疫豫防ニ從事スルモノトス  
○市公告第五十一號 下京第六學區三十二年年度豫算 (畧ス)

○市公告第五十二號 下京第一學區同上 (畧ス)

○市公告第五十三號 下京第三學區同上 (畧ス)

○市公告第五十四號 二十九日  
市會ノ議決ヲ經テ本市明治三十二年年度歳入出總計豫算別紙ノ通相定ム



京都府京都市明治三十二年年度歳入出總計豫算

歳入  
 一金參拾九萬九千參拾九圓四拾五錢九厘  
 歳出  
 一金參拾壹萬九千七百拾壹圓貳拾壹錢四厘  
 一金七萬九千參百貳拾八圓貳拾四錢五厘  
 計金參拾九萬九千參拾九圓四拾五錢九厘

歳入 豫算 高  
 歳出 豫算 高  
 臨時費 豫算 高

京都府京都市明治三十二年年度歳入出豫算表

(△印ハ本年度豫算ニナキモノ)

科 目	前年度豫算額	本年度豫算額	附 記
第一款 使用料及手数料	0	三、六、〇、〇、〇	○道路敷地其他川筋水上部使用料百六拾四圓四拾四錢
第一項 使用料		一、六、〇、〇、〇	○上京戸籍本抄本閱覽証明手数料千五百圓●下京同上貳千貳拾五圓六拾錢●計金參千五百貳拾五圓六拾錢
第二項 手数料		三、五、五、六、〇、〇	







第六款 國庫補助金	八,000,000	八,000,000	○美術工藝學校費ノ内ノ四千圓 ○染織學校費ノ内ノ四千圓 ○明治三十四年法律第二十六號傳染病豫防法第三十條同年內務省令第十八號及明治三十一年京都市令第十四號豫防費補助規程ニ依リ補助
第七款 地方稅補助金	五,000,000	五,000,000	
第八款 市 稅	二六六,三六八,一五四	三四五,六五四,四八四	
第一項 附加稅	二四六,四六一,一六〇	三二五,七九三,九三三	
一 地價制	五,五七〇,四〇一	五,三三三,二一八	○地租額壹圓ニ付拾四錢貳厘
二 地方稅營業	七五,三〇八,五二六	七五,八二五,五七四	○地方稅中營業稅及雜種稅中料理屋待合茶屋水茶屋芝居茶屋飲食店及營業諸車ハ地方稅額ニ付六拾錢ノ割 ○前項以外ノ雜種稅ハ地方稅壹圓ニ付壹圓ノ割
			○一等戶 一、一〇〇、〇〇〇 二、二〇〇、〇〇〇 三、三〇〇、〇〇〇 四、四〇〇、〇〇〇 五、五〇〇、〇〇〇 六、六〇〇、〇〇〇 七、七〇〇、〇〇〇 八、八〇〇、〇〇〇 九、九〇〇、〇〇〇 十、一,〇〇〇,〇〇〇

▲四

三 戶別制	六六,八二六,四〇五	一〇,三三三,三二五	○四等戶 六十一等ノ地所ニ 住居スル家屋ニ 一、一〇〇、〇〇〇 二、二〇〇、〇〇〇 三、三〇〇、〇〇〇 四、四〇〇、〇〇〇 五、五〇〇、〇〇〇 六、六〇〇、〇〇〇 七、七〇〇、〇〇〇 八、八〇〇、〇〇〇 九、九〇〇、〇〇〇 十、一,〇〇〇,〇〇〇
			○五等戶 八十一等ノ地所ニ 住居スル家屋ニ 一、一〇〇、〇〇〇 二、二〇〇、〇〇〇 三、三〇〇、〇〇〇 四、四〇〇、〇〇〇 五、五〇〇、〇〇〇 六、六〇〇、〇〇〇 七、七〇〇、〇〇〇 八、八〇〇、〇〇〇 九、九〇〇、〇〇〇 十、一,〇〇〇,〇〇〇
			○六等戶 九十一等ノ地所ニ 住居スル家屋ニ 一、一〇〇、〇〇〇 二、二〇〇、〇〇〇 三、三〇〇、〇〇〇 四、四〇〇、〇〇〇 五、五〇〇、〇〇〇 六、六〇〇、〇〇〇 七、七〇〇、〇〇〇 八、八〇〇、〇〇〇 九、九〇〇、〇〇〇 十、一,〇〇〇,〇〇〇
			○七等戶 一〇十一等ノ地所ニ 住居スル家屋ニ 一、一〇〇、〇〇〇 二、二〇〇、〇〇〇 三、三〇〇、〇〇〇 四、四〇〇、〇〇〇 五、五〇〇、〇〇〇 六、六〇〇、〇〇〇 七、七〇〇、〇〇〇 八、八〇〇、〇〇〇 九、九〇〇、〇〇〇 十、一,〇〇〇,〇〇〇
			○八等戶 一十一等ノ地所ニ 住居スル家屋ニ 一、一〇〇、〇〇〇 二、二〇〇、〇〇〇 三、三〇〇、〇〇〇 四、四〇〇、〇〇〇 五、五〇〇、〇〇〇 六、六〇〇、〇〇〇 七、七〇〇、〇〇〇 八、八〇〇、〇〇〇 九、九〇〇、〇〇〇 十、一,〇〇〇,〇〇〇
			○九等戶 一十一等ノ地所ニ 住居スル家屋ニ 一、一〇〇、〇〇〇 二、二〇〇、〇〇〇 三、三〇〇、〇〇〇 四、四〇〇、〇〇〇 五、五〇〇、〇〇〇 六、六〇〇、〇〇〇 七、七〇〇、〇〇〇 八、八〇〇、〇〇〇 九、九〇〇、〇〇〇 十、一,〇〇〇,〇〇〇

▲五



料目	前年度豫算額	本年度豫算額	附記
四 所得割	1,975,000	2,276,125	○所得稅壹圓ニ付參拾五錢ノ割 ○十一等戶 六十一年等ヨリ八等迄ノ全上裏借家并ニ異動同居者 一戸ニ付金八拾壹錢 ○十二等戶 百一等以下ノ全上裏借家并ニ異動同居者 一戸ニ付金五拾四錢 ○十一等戶 百一等以下ノ全上裏借家并ニ異動同居者 一戸ニ付金貳拾七錢
五 國稅營業割	8,999,506	103,055,961	○營業稅ハ國稅壹圓ニ付四拾五錢ノ割 ○賣藥營業ハ國稅壹圓ニ付拾貳錢ノ割 ○取引所ハ國稅壹圓ニ付九錢ノ割
第二項 特別稅	1,990,995	2,986,091	○地所建物賣買讓與代價百圓ニ付壹圓五拾錢ノ割
一步一稅	1,990,995	2,986,091	
計	311,856,124	399,036,556	
歲出經常費			

第一狀 市役所費	第一項 給料	第一 市長給料	第二 助役給料	第三 收入役給料	第四 技師給料	第五 書記給料	第六 技手給料	第七 雇給料	第八 給仕給料	第九 使丁給料	第十 爲替方給料	第二項 雜給
1,611,000	95,750	1,500,000	500,000	500,000	1,000,000	500,000	750,000	12,500	65,000	120,000	125,000	5,630,715
2,554,706	1,237,000	3,000,000	800,000	1,000,000	750,000	2,700,000	12,000	126,000	360,000	175,000	3,551,215	
	○年俸參千圓	○年俸貳千圓一人同千圓一人	○年俸八百圓	○年俸千圓	○平均月俸貳拾五圓二十四人	○平均月俸貳拾五圓九人	○大極殿遺跡看守人一ヶ月壹圓五拾錢此金拾八圓	○平均月俸參圓五拾錢三人	○平均月俸六圓五人			



一	實費辨償	2,500.000	2,100.000	○市參事會員一ヶ月十二回九人分一人一日壹圓五拾錢此金千九百四拾四圓 ○學務委員一人年額五拾圓四人分此金貳百圓 ○學務委員一人年額五拾圓四人分此金貳百圓
二	報酬	1,200.000	1,000.000	○助役以下(雇及爲換方ヲ除ク)給料月額百分ノ十五 ○臨時雇三十人一人一日貳拾五錢
三	旅費	400.000	1,000.000	
四	費與	2,000.000	1,600.000	
五	備入料	50.000	50.000	
第三項	需用費	2,700.000	1,200.000	
一	備品費	2,200.000	600.000	○器具器械貳百貳拾五圓 ○圖書類百五拾圓 ○雜品參百貳拾圓六拾四錢貳厘
二	消耗品費	500.000	700.000	○筆紙墨類四百拾壹圓九拾貳錢九厘 ○薪炭油類貳百六拾六圓壹錢 ○雜品參拾五圓六拾錢
三	印刷費	20.000	200.000	○公告、例規、統計表貳百拾圓 ○雜參拾圓
四	通信運搬費	1,200.000	1,200.000	○郵便電信料百圓 ○電話料五拾四圓 ○運搬費貳拾六圓

五	賄費	100.000	50.000	○書記夜勤六十度一度五錢此金參圓 ○使丁二人宿直一夜七錢此金五拾壹圓拾錢
第四項	雜費	1,000.000	600.000	○新聞紙廣告料其他百圓 ○交際費五百圓
第五項	營繕費	0	1,200.000	
一	修繕費	1,000.000	1,200.000	○第三部及文書主務各請所并ニ階段共敷物取替此金參拾六圓參拾錢 ○電鈴修繕此金四圓八拾錢 ○其他小修繕此金百五拾圓
第二款	會議費	5,000.000	5,000.000	
第二項	給料	2,000.000	5,000.000	
一	書記給料	2,000.000	1,500.000	○書記二人手當一ヶ月各五圓此金百貳拾圓 ○臨時書記十五人一日一人平均壹圓此金拾五圓
二	雇給料	100.000	1,000.000	○受附兼看守人月俸拾五圓
三	使丁給料	100.000	100.000	○月俸六圓一人此金七拾貳圓 ○臨時雇二百人一人一日貳拾五錢此金五拾圓



第二項 雜給	11,512.500	11,512.500	○議員一日當圓五拾錢四十五人分參拾五
一 實費辦償	11,512.500	11,512.500	○議員五人東上旅費及往復日數各十日間手當
二 旅費	100.000	315.500	○看守使一
三 費與	10.500	10.000	
第三項 需用費	9,222.500	1,512.500	
一 印刷費	500.000	500.000	○議案決議錄議事錄等
二 備品費	100.000	500.000	○器具器械五圓
三 消耗品費	100.000	100.000	○圖書類五圓
四 通信運搬費	50.000	60.000	○雜品參百四拾七圓五拾錢
五 賄費	50.000	50.000	○筆紙墨類四拾圓
			○薪炭油類八拾五圓五拾錢
			○電燈用助力使用料百圓
			○雜品拾五圓
			○郵便電信料拾圓
			○電話料五拾四圓
			○運搬費貳圓
			○看守人一夜拾錢
			○議事堂構內一切建物保險料百貳拾圓
			○撤水料一ヶ月七圓五拾錢四ヶ月分此金參拾圓

第六項 雜費	750.000	115.000	○草取人夫百五十人一人一日貳拾錢此金參拾圓
第四項 營繕費	0	500.000	○庭園手入六拾圓
一 修繕費	8,500.000	5,900.000	○電燈線裝置方取換費四百六圓五拾七錢
			○七厘
			○暖溫器機繩室取換及機繩修繕費百參拾七圓六拾五錢
			○小修繕費五拾圓
第三款 區役所費	37,500.000	39,000.000	
第一項 給料	2,512.000	3,100.000	
一 區長給料	1,500.000	1,500.000	○上京年俸七百圓
			○下京年俸八百圓
二 書記給料	1,012.000	1,600.000	○上京月俸平均拾四圓四十三人此金七千貳百貳拾四圓
			○下京同上五十二人此金八千七百參拾六圓
三 付屬員給料	2,200.000	9,300.000	○上京月俸平均八圓四十五人此金四千參百貳拾圓
			○下京同上五十二人此金四千九百九拾貳圓



四	給仕給料	126,000	126,000	○上京月俸參圓五拾錢二人此金八拾四圓 ○下京同上
五	使丁給料	110E,000	110E,000	○上京月額平均六圓二十七人此金千九百四拾四圓 ○下京同上三十人此金貳千百六拾四圓
六	爲替方給料	360,000	360,000	
第二項	雜給	2211,250	2226,020	
一	旅費	100,000	100,000	○上京五拾圓 ○下京五拾圓
二	勉勵費與	22E,250	226,020	○區長書記付屬員給仕使丁各給料月額百分ノ十五 ○上京百七拾八圓四拾錢 ○下京百九圓六拾五錢
三	死亡及ヒ退職給與	1E2,000	1E0,000	○退職給與一人平均參拾六圓三人此金百八圓 ○死亡給與一人四拾貳圓
四	備人料	1E0,000	1E0,000	○上京二百五十八人參拾錢此金七拾五圓 ○下京同上
第三項	需用費	656,615	663,455	
一	備品費	223,100	221,100	○上京器具器械百五拾貳圓拾錢 ○圖書類拾七圓參拾六錢 ○雜品百參拾參圓拾錢 ○合金參百貳圓五拾六錢

二	消耗品費	1,126,000	1,126,000	○下京器具器械百五拾九圓拾錢 ○圖書類拾七圓參拾六錢 ○雜品百四拾貳圓拾錢 ○合金參百拾八圓五拾六錢
三	印刷費	1E,000	1E,000	○上京筆紙墨類千四百貳圓貳錢 ○下京筆紙墨類千六百拾六圓四拾九錢 ○炭油類五百參拾四圓八錢 ○雜品六拾八圓四拾五錢 ○合金貳千五拾四圓五拾五錢
四	賄費	2E0,11E	2E0,11E	○上京筆紙墨類千六百拾六圓四拾九錢 ○下京筆紙墨類千六百拾六圓四拾九錢 ○炭油類五百參拾四圓八錢 ○雜品六拾八圓四拾五錢 ○合金貳千五拾四圓五拾五錢
五	通信運搬費	226,000	226,000	○上京郵便電信料參百四拾圓 ○電話料五拾四圓 ○下京郵便電信料四拾圓 ○電話料五拾四圓



六 雜 費	0	10,000	○ 運搬費拾參圓 ● 合金四百六拾七圓 ○ 上京借家料拾圓 ○ 下京同上拾圓
第四項 營繕費	七四三・六九五	四五四・九六五	○ 上京事務室周圍其他物置小屋便所使了 ○ 室土藏雨樋掛替費六拾貳圓七拾六錢五 ○ 庫六錢五厘 ○ 拾六錢五厘 ○ 下京計窓貳拾七圓參拾七錢 ● 稅務課 ○ 付便所人民用便所使了詰所便所各改築 ○ 此金貳百九拾貳圓貳拾錢
一 修繕費	七四三・六九五	四五四・九六五	
第四款 教育費	五五四・六九五	六七八・七五九	
第一項 高等小學校費	五〇・〇〇〇	五一一・九六五	
正教員給料	一六・五〇〇〇	三三・六七〇〇〇	○ 第一本科正教員月俸平均貳拾圓五拾錢 ○ 第二十六人此金六千參百九拾六圓專科正 ○ 教員月俸平均拾五圓十人此金千八百圓 ○ 第二本科正教員月俸平均貳拾圓五拾錢 ○ 二十七人此金六千六百四拾貳圓專科正 ○ 教員月俸平均拾五圓八人此金千四百四 ○ 拾圓 ○ 第三本科正教員月俸平均貳拾圓五拾錢 ○ 十七人此金四千八百貳圓專科正教員 ○ 月俸平均拾五圓七人此金千貳百六拾圓

二 准教員給料	一七・七〇〇〇	二二・五〇〇〇	○ 第四本科正教員月俸平均貳拾圓五拾錢 ○ 五人此金千貳百參拾圓專科正教員月俸 ○ 平均拾五圓四人此金七百貳拾圓 ○ 第一月俸平均拾貳圓五拾錢六人此金九 ○ 百圓 ○ 第二月俸同上五人此金七百五拾圓 ○ 第三月俸同上二人此金參百圓 ○ 第四月俸同上二人此金參百圓 ○ 第一校醫一人年額五拾圓 ○ 第二同一人年額五拾圓 ○ 第三同一人年額參拾圓 ○ 第四同一人年額參拾圓 ○ 第一事務派一人月俸拾七圓此金貳百四 ○ 圓 ○ 第二同一人月俸同上此金貳百四圓 ○ 第三同一人月俸拾五圓此金百八拾圓 ○ 第四同一人月俸拾參圓此金百五拾六圓 ○ 第一月俸平均六圓七人此金五百四圓 ○ 臨時派二人一人一日貳拾五錢此金五 ○ 拾圓 ○ 第二月俸同上七人此金五百四圓 ● 臨時 ○ 第三月俸同上五人此金參百六拾圓 ● 臨 ○ 時派百三十人一人一日貳拾五錢此金參 ○ 拾貳圓五拾錢 ○ 第四月俸同上三人此金貳百拾六圓 ● 臨 ○ 時派百人一人一日貳拾五錢此金貳拾五 ○ 圓
三 手 當	九〇・〇〇〇	一六〇・〇〇〇	
四 雇 給 料	五二・〇〇〇	九八・〇〇〇	
五 使丁給料	一五・五〇〇〇	一五・五〇〇〇	



六 旅・費	105,000	510,000	○第一八拾圓 ○第二同上 ○第三同上 ○第四同上
七 慰・勞	250,000	530,000	○第一正准教員常履給料月額百分ノ十五 此金百拾六圓貳拾五錢 ○第二同上此金百拾貳圓九拾五錢 ○第三同上此金七拾四圓貳錢五厘 ○第四同上此金參拾圓七錢五厘
八 賞・與	1,850,000	2,280,000	○第一生徒千五百三十一人一人平均六錢 此金九拾壹圓八拾六錢 ○第二同千五百二十八人一人平均六錢此 金九拾壹圓六拾八錢 ○第三同七百五十人一人平均六錢此金四 拾五圓 ○第四同二百七十八人一人平均六錢此金拾 六圓貳拾錢
九 教員恩給基 金	1,950,000	2,650,000	○第一正教員給料百分ノ一此金八拾壹圓 九拾六錢●國庫補助年功加俸百分ノ一 此金五圓四錢 ○第二正教員給料百分ノ一此金八拾圓八 拾貳錢●國庫補助年功加俸百分ノ一此 金四圓八拾貳錢四厘 ○第三正教員給料百分ノ一此金五拾四圓 四拾貳錢 ○第四正教員給料百分ノ一此金拾九圓五 拾錢

十 書・籍・費	221,000	227,000	○第一教授并ニ參考用圖書類八拾九圓六 拾九錢 ○第二同上七拾貳圓七拾錢 ○第三同上百參拾八圓貳拾四錢四厘 ○第四同上百貳拾八圓六拾貳錢參厘
十一 器・械・費	272,000	272,000	○第一授用器械器具四百六拾六圓貳拾 錢 ○第二同上五百七拾圓拾壹錢 ○第三同上六百九拾壹圓四拾九錢 ○第四同上千四拾四圓四拾五錢
十二 雜・具・費	1,110,000	1,240,000	○第一器具類百八拾六圓九拾貳錢五厘● 雜品六拾四圓五拾錢貳厘●合金貳百五 拾壹圓四拾貳錢七厘 ○第二器具類百九拾圓七拾八錢●雜品九 拾參圓九拾壹錢●合金貳百八拾四圓六 拾九錢 ○第三器具類四百參拾九圓貳拾錢●雜品 五拾四圓四拾五錢●合金四百九拾參圓 六拾五錢 ○第四器具類六百拾參圓七拾八錢●雜品 貳拾七圓參拾七錢六厘●合金六百四拾 壹圓拾五錢六厘 ○第一筆紙墨類百九拾七圓七拾參錢●藥 品類四拾參圓貳拾錢●薪炭油類四百七 拾四圓四拾七錢●雜品參拾參圓七拾四 錢六厘●合金七百四拾九圓拾四錢六厘 ○第二筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘 ○第三筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘 ○第四筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘 ○第五筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘 ○第六筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘 ○第七筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘 ○第八筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘 ○第九筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘 ○第十筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘 ○第十一筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘 ○第十二筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘 ○第十三筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘 ○第十四筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘 ○第十五筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘 ○第十六筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘 ○第十七筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘 ○第十八筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘 ○第十九筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘 ○第二十筆紙墨類百貳拾九圓拾四錢六厘







第二項 美術工藝學 校長給料	11,100.00	13,656.66	○年俸九百圓
十七 修繕費	11,800.00	11,020.10	<p>九圓五拾錢 ● 教室日覆取換貳拾八圓 ● 客室敷物取換四拾七圓參拾五錢五厘 ● 小修繕百五拾圓 ● 合金六百拾五圓拾參錢</p> <p>○ 第二教室換換參拾九圓八拾七錢 ● 柵板修繕八拾九圓貳拾五錢 ● 木柵板修繕八拾九圓貳拾五錢 ● 壁修繕六拾參圓 ● 窓其他修繕七拾四圓五拾錢 ● 六拾圓 ● 小修繕百五拾圓 ● 合金五百九拾六圓六拾貳錢</p> <p>○ 第三理科室修繕拾貳圓 ● 教室其他日覆修繕拾貳圓六拾錢 ● 女徒湯香坊修繕拾五圓 ● 職員便所修繕拾七圓五拾錢 ● 生徒外套帽子掛新設拾九圓八拾錢 ● 器室標木室取設拾七圓拾錢 ● 教室其他他屋根修繕參拾圓五拾五錢 ● 女徒浴室窓目隱取設參拾圓 ● 井戶蓋井二教室窓目隱取設參拾圓 ● 井戶蓋井二教室簡据付參拾七圓 ● 櫥修繕參拾八圓六拾五錢 ● 校門板修繕九拾八圓五拾九錢 ● 廊下石敷靴拭取付等百七拾八圓五拾參錢 ● 小修繕百五拾圓 ● 合金七百四拾七圓五拾參錢</p> <p>○ 第四小修繕百貳拾圓</p>

二 教員給料	8,010.00	8,210.00	○月俸平均參拾七圓貳拾七錢貳厘強十一人
三 書記給料	2,800.00	2,800.00	○月俸平均拾七圓二人
四 手当當	1,200.00	1,200.00	○囑托教師六年額六百五拾六圓 ● 助手八人年額千貳百四拾八圓 ● 校醫一人參拾圓 ● 繪畫師及彫刻標本等調製用臨時雇手一人一日平均五拾錢
五 旅給料	200.00	200.00	○月俸平均六圓四人此金貳百八拾八圓 ● 臨時雇手一人一日貳拾五錢此金貳拾五圓
六 使丁給料	2,100.00	2,100.00	○職員俸給月額百分ノ十五此金七拾七圓八拾五錢 ● 商議員慰勞一人一回壹圓百回分此金百圓
七 旅費	1,500.00	1,500.00	○生徒百七十人一人平均拾貳錢
八 慰勞	1,500.00	1,500.00	○職員退職月俸平均四拾圓二人各一ヶ月分
九 賞與	2,100.00	2,100.00	○書齋類百四拾六圓四拾錢 ● 粉本類百五拾圓 ● 手本圖案粉本類裏打表裝及修繕八拾六圓
十 退職給與金	200.00	200.00	
十一 書籍費	200.00	200.00	



十二 器械費	280.150	280.000	○教授用器械器具四百四拾圓八錢 ○同參考品五百圓
十三 雜具費	180.000	180.000	○器具類百參拾五圓四拾四錢五厘 ○雜品貳拾貳圓貳拾六錢
十四 生徒費	220.750	220.750	○特待生給與品百五拾圓 ○生徒修學旅行補助費七十人分一人平均壹圓七拾五錢此金百貳拾貳圓五拾錢
十五 消耗品費	800.000	800.000	○筆紙墨類百貳拾六圓貳錢 ○薪炭油類貳百八拾圓八拾錢 ○繪具漆類八拾壹圓八拾五錢 ○雜品拾九圓四拾壹錢
十六 賄費	20.000	20.000	○職員一人使丁一人宿直職員一夜拾錢使丁同七錢
十七 通信運搬費	80.000	80.000	○郵便電信料拾圓 ○運搬費四拾圓 ○式典費五拾圓 ○粉本類掛料及諸社寺職賣物類借用又ハ觀覽謝禮見料百五拾圓
十八 雜費	80.000	50.000	○寫生修學旅行附添教員手當四拾八圓 ○卒業試驗用品八拾五圓六拾貳錢五厘 ○生徒諸展覽會出品ニ係ル補助百貳拾七圓 ○廣告料拾六圓 ○印刷費拾五圓七拾錢 ○雜費參圓九拾六錢
			○各室修繕九拾貳圓貳拾九錢 ○物置屋根修繕七圓九拾貳錢

十九 修繕費	200.000	200.000	○各室屋根瓦取替拾五圓八拾壹錢 ○繪畫製作室修繕參拾五圓 ○撞廻リ修繕拾七圓參拾錢 ○壁塗替八圓 ○南教室廊下欄干取設拾七圓四拾錢 ○豫備科教室明リ取窓取設貳拾貳圓五拾壹錢 ○土間廊下取設四拾九圓貳拾錢 ○小修繕五拾圓
二十 國庫納金	80.000	80.000	○校長及教員給料百分ノ一
第三項 染織學校費	11,800.000	11,800.000	
一 校長給料	0	1,000.000	○校長兼教諭月俸百圓
二 教員給料	8,000.000	8,000.000	○月俸平均參拾壹圓五拾錢十人
三 書記給料	1,000.000	800.000	○月俸平均拾五圓二人
四 手當	80.000	80.000	○校醫一人年額
五 庶給料	2,000.000	2,000.000	○實修課職工月俸平均拾五圓四人此金七百貳拾圓 ○火夫月俸拾五圓一人此金百八拾圓 ○月俸平均六圓三人此金貳百拾六圓 ○臨時雇百二十五人一人一日貳拾五錢此金參拾壹圓貳拾五錢
六 使了給料	280.150	280.150	



七 旅費	15,480	10,730	○職員及常雇俸給月額百分ノ十五此金七拾八圓
八 慰勞	10,710	5,600	○本科生百八人豫科生五十人一人平均拾貳錢
九 費與	10,000	1,000	○職員退職月俸平均四拾圓一人一ヶ月分
十 退職給與金	0	80,000	○教授用圖書并ニ参考書類
十一 書籍費	2,750	21,250	○教授用器械器具
十二 器械費	1,796.70	1,500,000	○本科生百八人一人一ヶ月壹圓貳拾錢十一ヶ月分此金千參百貳拾圓
十三 原料藥品費	2,410.00	2,015,000	○別科藥物部生百四十人一人一ヶ月壹圓三ヶ月分此金四百貳拾圓
十四 雜具費	1,846.70	2,750.00	○織物部生二十五人一人一ヶ月壹圓十一ヶ月分此金貳百七拾五圓
十五 消耗品費	7,600.50	7,600.50	○器具類貳百五拾五圓五拾八錢五厘
十六 賄費	6,210.00	6,210.00	○雜品參拾貳圓貳錢
			○筆紙墨類百六圓九拾九錢
			○薪炭油類六百貳拾八圓五拾錢
			○繪具類參圓
			○雜品貳拾貳圓參拾五錢
			○職員一人使丁一人宿直職員一夜拾錢使丁同七錢

十七 通信運搬費	1,000	25,000	○郵便電信料拾圓
十八 雜費	2,250.00	81,250	○迎搬費拾五圓
十九 修繕費	9,750.10	1,465,197	○式典費九拾圓
二十 國庫納金	0	59,800	○印刷費貳拾圓
給教員恩給基金	5,600		○廣告料貳拾五圓
第四項 學事諸費	0	800,000	○借地料貳百五拾圓四拾錢
第五款 衛生費	15,000.00		○電燈器具指料六圓
第一項 井水試驗費	11,300	11,300	○雜費五拾圓八錢五厘
			○煙筒道修繕貳拾四圓
			○サンロハス貳拾八圓
			○水槽修繕貳百六拾八圓貳錢七厘
			○水井筒新設拾參圓八拾八錢
			○水井廻り石敷拾五圓七拾五錢
			○井戸廻り石敷拾五圓七拾五錢
			○織物室改築七百八拾七圓五拾錢
			○分拆室改築七百八拾七圓五拾錢
			○分拆用机六個取付々七拾貳圓
			○小修繕貳百圓



第一項	藥品費	10,110	10,110	○試驗井水百五十個分
第二項	消耗品費	1,280	1,280	○成績票類
第三項	種痘費	1,101,210	1,101,210	○種痘醫十八人年手當各五拾圓
第四項	證書費	200,000	200,000	○種痘證書用紙二萬四千組一組參厘此金七拾貳圓
第五項	痘苗費	2,211,000	2,211,000	○種痘心得二萬四千枚一枚參毛此金七圓貳拾錢
第六項	雜具費	1180,000	1180,000	○痘苗四千八百具一具五錢五名接種
第七項	診察料	1,210,000	1,210,000	○種痘針其他器具
第八項	藥價	8,000	8,000	○種痘及檢痘功借入料一ヶ月平均參圓此金參拾六圓
第九項	備人料	85,100	85,100	○消毒藥拾貳圓九拾六錢
第十項	備人料	1,210,000	1,210,000	○患者十五人各二回一回貳拾錢
第十一項	備人料	8,000	8,000	○患者十五人各二回一回貳拾錢
第十二項	備人料	85,100	85,100	○患者八人一人貳圓
第十三項	備人料	85,100	85,100	○患者八人一人貳圓

第一項	火葬並二排泄物燒費	511,500	118,000	○棺桶并二付用品二人一人六拾錢此金壹圓貳拾錢
第二項	汚穢物買上費	118,000	118,000	○火葬料二人一人壹圓貳拾錢此金貳圓四拾錢
第三項	傳染病豫防費	2,211,210	2,211,210	○排洩物燒費五十一回一回四拾錢此金貳拾圓四拾錢
第四項	備人料	851,000	851,000	○患者八人一人貳圓
第五項	藥品費	118,000	118,000	○患者送院人夫延七百二十人一人一回參拾錢此金貳百拾六圓
第六項	消毒的清潔費	811,000	811,000	○汚穢物採收常備人夫一日二人一人一日貳拾五錢此金百八拾貳圓五拾錢
第七項	器具費	118,000	118,000	○汚穢物採收臨時雇人夫二百人一人一日貳拾五錢此金五拾圓
第八項	雜費	10,000	10,000	○消毒藥
第九項	街廁費	118,000	118,000	○虎列刺、赤痢、發疹瘰癧扶私、ペスト消毒的清潔法施行戶數百二十戶掃除并二運搬費消毒藥共一戶平均參拾五錢
第十項	街廁費	118,000	118,000	○器具百四拾九圓六拾錢
第十一項	街廁費	118,000	118,000	○雜具參拾五圓六拾錢



一	備人料	1,277,500	1,277,500	○掃除人夫一日十四人一人平均貳拾五錢
二	點火費	735,000	735,000	○百七十基一基一ヶ月參拾五錢
三	器具費	75,210	75,210	○器具拾五圓拾貳錢 ○雜品六拾壹圓貳拾九錢
四	藥品費	1,228,250	1,228,250	○消耗及防臭藥品
五	建築費	1,110,000	1,110,000	○便所一ヶ所貳拾五圓
六	修繕費	335,000	335,200	○二百二十七ヶ所一ヶ所平均壹圓
△雇給料		112,200		
第六項 聯合衛生組 聯合補助費		200,000	200,000	
聯合衛生組 補助費		200,000	200,000	○聯合衛生組合六十每組合拾五圓
一 聯合補助費		200,000	200,000	
第七項 傳染病院費		855,558	855,558	
一	院長報酬	1,100,000	600,000	○一人一ヶ年分
二	職員給料	230,000	230,000	○月俸參拾五圓二人
三	調劑員給料	130,000	130,000	○平均月俸拾貳圓五拾錢二人

四	書記給料	327,000	327,000	○平均月俸拾圓五拾錢三人(內一人兼聚樂病院看守)
五	看護婦給料	276,000	276,000	○看護婦二人平均日給六拾錢此金四百參拾八圓 ○看護婦四人平均日給參拾錢此金四百參拾八圓
六	火夫給料	162,550	162,550	○日給四拾五錢一人
七	消毒夫給料	109,500	109,500	○日給參拾錢一人
八	使丁給料	275,750	275,750	○平均日給貳拾五錢三人
九	洗濯婦給料	126,000	126,000	○平均日給貳拾錢二人
十	勉勵費與	825,500	825,500	○醫員調劑員書記給料月額凡ノ三分ノ一此金四拾貳圓五拾錢 ○看護婦火夫消毒夫使丁洗濯婦日給月額三分ノ一此金四拾參圓
十一	備人料	1107,500	1,197,500	○已消毒品運搬人夫三百六十五人一人貳拾六錢此金九拾四圓九拾錢 ○掃除人夫二百七十五人一人貳拾錢此金五拾五圓 ○臨時人夫十人一人貳拾五錢此金貳圓五拾錢 ○死体運搬人夫百八十八人一人貳拾五錢此金四拾五圓
十二	藥品費	666,750	666,750	○醫療藥消毒藥



十三	備品費	三九二四四	三九二四四	○器具器械參百貳拾八圓貳拾錢 ○雜品六拾四圓貳錢五厘
十四	消耗品費	九六八六六	九六一七七	○紙類七拾四圓四拾五錢 ○薪炭油類七拾七拾參圓八拾壹錢貳厘 ○雜品百拾參圓四拾七錢五厘
十五	通信運搬費	五三〇〇	六九〇〇〇	○電話料六拾四圓 ○通信運搬費五圓
十六	賄費	一〇一七五〇〇	一三三三二五〇	○患者賄一人一日平均拾五錢延五千四百 ○七十五人此金八百貳拾壹圓貳拾五錢 ○附添者病人一人一日平均拾貳錢延千八 ○百二十五人此金貳百拾九圓 ○醫員調劑員警配各一人宿直一夜各拾錢 ○三百六十五夜此金百九圓五拾錢 ○看護婦六人一夜七錢三百六十五夜 ○此金百五拾參圓參拾錢 ○使丁二人一人一夜七錢三百六十五夜此 ○金五拾壹圓拾錢
十七	血清採收費	六三三六六	六三三三三〇	○動物飼養料百八圓五拾五錢 ○動物買入費百四拾圓五拾錢 ○備付品費百六拾八圓貳拾四錢 ○消耗品費八拾圓五拾五錢 ○藥品費百貳拾參圓五拾八錢 ○獸醫診察料拾八圓
十八	雜費	九二五〇〇	一一一〇〇〇	○火葬六十八人分一人平均壹圓八拾錢此金 ○百八圓
十九	建築費	六二五〇〇	一五二〇九〇	○日吉病院炊事場井戶及屋形取設費百拾 ○八圓七錢

二十	修繕費	一六六三三三	三三六二〇五	○日吉病院事務室及病室下水六ヶ所取設 ○費五拾七圓 ○日吉病院病室棟修繕費六拾圓拾錢 ○日吉病院炊事場修繕費七圓 ○日吉病院洗滌場修繕費百四拾壹圓貳拾 ○參錢五厘 ○日吉病院門番所修繕費拾五圓參拾七錢 ○日吉病院樹木芝草手入れ貳拾四圓五拾 ○錢 ○聚樂日吉兩病院小修繕費百圓
第八項	市醫費	三三三〇〇	二〇五三〇〇	○市醫二人年手當一人百圓
一	醫員手當	〇	二〇〇〇〇〇	
二	雜費	一〇〇〇〇	五〇〇〇〇	
第九項	交通運搬費	三三三〇〇	九六二〇〇	
一	飯米料	三六六〇〇	三七六〇〇	○自活不能ハサル赤貧者百二十人平均七 ○日間遮斷延八百四十八人一日一人平均四 ○錢五厘
二	備入料	五〇四〇〇	五〇四〇〇	○人夫百六十八人一日一人參拾錢
三	雜費	一〇六〇〇	一〇六〇〇	











雜費	12,500			
第七款 火防費	5,115.45	6,013.14		
第一項 給料	115,000	115,000		
一 雇給料	115,000	115,000		
第二項 雜給	15,000.00	15,000.00		
一手當	2,211,000	2,211,000		
二 被服費	11,100	1,472,266		

○ 雜費：組頭年額貳拾四圓二人此金四拾八圓  
 ○ 小頭同拾八圓十二人此金貳百拾六圓  
 ○ 消防手出場二十五回一百五十八人延三千七百五十八人一人貳拾五錢此金九百參拾七圓五拾錢  
 ○ 消防手應撥出場二回（第一四百五十八人第二六百六人）延千五百一十一人貳拾五錢此金貳百六拾貳圓五拾錢  
 ○ 消防手大演習二回延千二百一人貳拾五錢此金參百圓  
 ○ 同小演習十二回延千二百一人貳拾五錢此金參百圓  
 ○ 信號擔當人三十一人一人年額參圓此金九拾參圓  
 ○ 消防手出場增五回一回平均三百人延千五百人一人拾五錢此金貳百貳拾五圓  
 ○ 組頭以下六百十四人若平均貳圓貳拾九錢七厘此金千四百拾圓參拾五錢八厘

第三項 需用費	1,250.12	1,510.47		
一 備品費	1,013.11	752.69		
二 消耗品費	126.98	116.98		
三 附費	110.03	140.80		

○ 豫備服三十着 一着平均貳圓貳拾九錢七厘此金六拾八圓九拾壹錢  
 ○ 死傷手当拾圓  
 ○ 惠與拾圓  
 ○ 望火櫓雇員勸勵賞與金四圓五錢給料月額百分ノ十五  
 ○ 器具類六部分一部平均百拾九圓七拾五錢此金七百拾八圓五拾錢  
 ○ 噴霧一個此金拾壹圓五拾錢  
 ○ 望火櫓分貳拾四圓八拾九錢五厘  
 ○ 薪炭及蠟燭代出火出場二十七回一回平均壹圓貳拾五錢此金參拾參圓七拾五錢  
 ○ 演習十四回一回平均六拾錢此金八圓四拾錢  
 ○ 合金四拾貳圓拾五錢  
 ○ 望火櫓分八拾六圓八拾錢五厘  
 ○ 消防手辦當二十五回一回五百五十四人延三千八百五十一人一人食四錢五厘此金百七拾參圓貳拾五錢  
 ○ 同應援二回（第一四百六十八人第二六百十四人）延千七十四人一人食四錢五厘此金四拾八圓參拾參錢  
 ○ 同增一回平均三百八十八人延千五百四十八人一人食四錢五厘此金六拾九圓參拾錢  
 ○ 同大演習二回延千二百二十八人一人食一食四錢五厘此金百拾圓五拾貳錢



第四項 營繕費	20,000.00	25,000.00	○器械掃除料六部分一部一ヶ月金六拾錢
四 雜費	20,000.00	25,000.00	○同小演習十二回延千二百三十六人一食四錢五厘此金五拾五圓六拾貳錢
一 建築費	22,000.00	12,000.00	○望火櫓雇員夜勤二人延七百三十夜一夜五錢此金參拾六圓五拾錢
二 修繕費	18,000.00	20,000.00	○上長者町署部内ニ信號臺一ヶ所新設此金百貳拾八圓五拾錢
第八款 砲費	7,000.00	25,000.00	○川端署部内ニ器具置場一ヶ所改築此金六拾圓
第一項 給料	21,000.00	21,000.00	○上長者町署内、今出川千本東入ル所ニアルニヶ所ノ器具置場修繕一ヶ所貳拾參圓參拾壹錢此金四拾六圓六拾貳錢
一 技手給料	18,000.00	18,000.00	○信號臺修繕三十ヶ所一ヶ所平均五拾錢此金拾五圓
			○器具置場修繕十九ヶ所一ヶ所平均五圓此金九拾五圓
			○鐵櫥屋根修繕費參拾八圓九拾壹錢
			○望火櫓雇員休憩室疊六帖表替費其他五圓八拾錢
			○月俸拾貳圓一人

二 使丁給料	22,000.00	22,000.00	○月俸六圓一人
第二項 雜給	2,000.00	11,000.00	○大阪及宇治へ各一回
一 旅費	2,000.00	2,000.00	○技手及使丁給料月額百分ノ十五
二 賞與	0	2,000.00	
第三項 需用費	20,000.00	22,000.00	
一 備品費	2,000.00	21,000.00	○器具器械貳拾壹圓貳拾五錢
二 消耗品費	22,000.00	22,000.00	○雜品拾圓
三 通信運搬費	8,000.00	22,000.00	○火藥類貳百貳拾八圓
四 附費	12,000.00	22,000.00	○郵便電信料壹圓
第四項 雜費	22,000.00	22,000.00	○迎搬費參圓
			○技手若シハ使丁一名夜勤三百六十五夜一夜五錢
			○號砲場借地料五拾貳圓
			○技手附所借家料拾貳圓
			○松ヶ崎火藥庫借入料拾八圓
			○雜費壹圓
			○號砲場射場入口門建替費拾八圓貳拾九錢
			○同場木柵五間建替費貳拾七圓四拾六錢
			○物置屋根替費參圓拾九錢
			○技手附所疊六帖表替費五圓六拾貳錢五
第五項 修繕費	180,000.00	25,000.00	



第九款 勸業費	7,887.42	7,887.42	厘
第一項 勸業獎勵費	1,200,000	1,200,000	
賞狀費	100,000	100,000	○共進會品評會等賞狀費
二 顧問報酬	1,100,000	1,100,000	○顧問二人報酬內七百圓一人四百圓一人
第二項 圖案調製費	1,187,280	1,187,280	
一 技師給料	0	400,000	○漆器時繪彫金彫刻圖案調製員一人月俸五拾圓
二 技師給料	800,000	800,000	○技師二名月俸平均拾五圓
三 旅費	117,280	117,280	○技師東上旅費二回分派車費數千三百六十圓一哩二付四錢此金五拾貳圓六拾四錢此金百拾五圓 ○技師一名滋賀縣坂本へ出張旅費一回分派車費數千二百六圓一哩二付參錢此金七拾八錢大津ヨリ坂本迄往復四里一里拾五錢此金六拾錢在往復日常二日分一日壹圓五拾錢此金壹圓 ○技師一名奈良町及法隆寺へ出張旅費一回分派車費數千六百六圓一哩一付參錢此

四 賞與費	8,200	11,000	○技師技師月額百分ノ十五 ○金壹圓九拾八錢滞在往復日常三日分一日壹圓五拾錢此金四圓五拾錢
五 消耗品費	28,200	28,200	○紙墨類參拾壹圓七拾參錢五厘 ○給具類貳拾四圓六拾參錢五厘 ○炭油類拾七圓九拾錢 ○參考用圖書八拾貳圓拾四錢 ○粉本類貳拾圓
六 圖書粉本費	181,100	101,180	○迎搬費貳圓 ○郵便電信料貳圓五拾錢 ○其他雜品 3,210
七 通信運搬費	0	8,200	○參考美術品借用料拾圓 ○修繕費貳拾四圓 ○臨時雇一日參拾錢八十八分此金貳拾四圓
八 備品費	0	3,210	
九 雜費	0	22,000	
第三項 旅給料	211,000	0	
第三項 陶磁器試驗所費	2,103,288	2,203,120	
一 所長給料	2,000,000	2,000,000	○月俸六拾圓一人
二 技師給料	200,000	2,000,000	○月俸參拾圓一人
三 書記給料	110,000	1,200,000	○月俸拾參圓一人







第十四款 修繕費	821.120	102.210	○物置小屋一ヶ所増築參拾四圓拾五錢 ○試驗室通用門口入口ヨリノ道路雨水拔堰 止メ修繕貳拾參圓八錢 ○工場表換修繕貳圓五拾錢 ○硝子戸硝子修繕五圓 ○工場内釣棚延長二十五間貳拾圓 ○小修繕貳拾圓
第十五款 雜費	80.200	80.200	
第十款 名勝舊跡補助費	1,200.000	1,000.000	○風致保存ノ爲メ社寺境内及舊跡地ニ對 スル補助費
第一款 名勝地風致保存補助費	1,200.000	1,000.000	
第十二款 諸稅及負擔	202.210	21.625	○國稅五百拾貳圓九拾七錢貳厘此譯市郡 宅地租百參拾壹圓參拾七錢七厘 田畑 其他參百八拾壹圓五拾九錢五厘 ○地方稅貳百五拾八圓四拾七錢參厘此譯 市郡宅地租捌拾五圓四拾七錢六厘 田 畑其他百九拾貳圓七拾六錢七厘 田 町村稅貳拾參錢
第一款 諸稅	202.210	21.625	
第十二款 市公債費	72,827.875	82,125.125	
第一款 元利金償還	72,827.875	82,000.125	

一元金	23,521,000	67,866,391	○長期市公債貳拾壹萬貳百六拾四圓參拾 九錢壹厘ノ内參萬五千六百六拾四圓參 拾九錢壹厘 ○短期市公債參萬千八百圓
二 利子	1,975,125	1,623,248	○長期市公債貳拾壹萬貳百六拾四圓參拾 九錢壹厘及短期市公債參萬千八百圓計 貳拾四萬貳千六拾四圓參拾九錢壹厘ニ 對スル年六步此利子壹萬四千五百貳拾 參圓八拾六錢參厘 ○借入金貳萬八千八百圓ニ對スル年七步 此利子貳千拾六圓
第二項 雜費	120.000	120.000	○元利金支拂公告費百圓及諸印刷費五拾 圓
第十款 豫備費	1,234,222	1,124,222	
計	24,696,325	69,613,661	
歲出臨時費			
科 目	前年度豫算額	本年度豫算額	附 記
第一款 市役所費	2,276,600	2,262,520	
第一項 雜給	1,234,220	1,021,125	○臨時土木委員一人十八日十七人分延三 百六日一日壹圓五拾錢此金四百五拾九







第二項 土地建物業 收費	11,000.000	11,251.200	○第三高等小學校敷地四百十八坪二合并 =建物業收費
第二項 慰勞 美術工藝學 校費	180.000		
第一項 建築費	0	11,200.250	○教室(平屋建)七十五坪貳千六百貳拾五 圓
第三項 染織學校費	0	1,251.000	○物置移轉百八拾參圓七拾五錢
第一項 建築費	0	1,251.000	○事務室并ニ標本室等(二階建)二十四坪 千四百四拾圓 ○女關二坪二合五勺九拾圓 ○便所一棟二坪五合八拾七圓五拾錢 ○板塀八間貳拾圓 ○宿直及使丁室九疊拾參圓五拾錢
第四款 土木費	11,251.200	11,251.200	
第一項 道路橋梁費	0	11,251.200	

第一項 道路費	0	11,251.200	○廣道通開鑿費四千五百圓此謂松原通 リ五條通ニ至ル長二百間巾三間一間金 貳拾貳圓五拾錢 ○中立賣通改修費壹萬參千貳百五拾四圓 四拾八錢此謂西堀川通ヨリ黒門通ニ至 ル長百一間五分巾四間五分一間金百參 拾圓五拾八錢○六毛 ○大宮通開鑿費壹萬貳千拾六圓八拾錢此 謂中立賣通ヨリ横神明町ニ至ル百廿九 間巾四間一間金九拾參圓拾五錢參厘餘 ○下寺町通改修費六千五百八拾貳圓此謂 下珠敷屋町ヨリ内瀬ニ至ル長八十五間 巾五間一間金七拾七圓四拾參錢五厘餘 ○備人料百圓此謂土地家屋評價人延百人 一日平均壹圓
第二項 橋梁費	0	1,000.000	○堀川筋押小路橋架換費五百七拾參圓此 謂木橋長六間巾二間平十二坪一坪金四 拾七圓七拾五錢 ○高瀬川筋三條下ル第八橋架換費參百九 拾圓八拾九錢此謂木橋長四間一分巾七 尺平四坪八合一坪金八拾壹圓四拾參錢 ○五厘餘 ○白川筋銀閣寺通橋架換費百八拾四圓八 拾四錢九厘此謂土橋長十五尺五寸巾十 四尺平六坪一坪金參拾圓八拾八錢四厘餘 ○同南ノ橋架換費貳百參拾五圓八拾四錢 貳厘此謂土橋長十六尺七寸巾二間平五 坪六合一坪金四拾貳圓拾壹錢四厘餘



▲土木調査費	11,612.20		
▲備人料	11,000		
第五款 勸業費	9,215.24	10,510.130	
第一項 勸業補助費	1,215.24	2,210.130	
一 新古美術品 展覽會補助 費	1,215.24	1,215.000	○決議濟
二 第二回全國 繪畫共進會 補助費	0	1,215.130	○決議濟
第二項 調査費	0	1,000.000	○吉田理學博士ノ報酬決議濟
第三項 巴里井三伊太利 博覽會觀覽員檢 航獎勵費	0	9,000.000	○巴里渡航員補助七千圓 ○伊太利渡航員補助貳千圓
▲全國漆器漆 共進會費	7,215.24		
▲衛生費	5,215.24		
▲塵芥捨場買 收費	5,215.24		
▲避病院費	5,215.24		

▲雜支出	5,215.24		
▲式典費	5,215.24		
▲奉迎送費	0,000.000		
計	5,215.24	5,215.24	



○市公告第五十五號 上京第六學區學務委員就職ノ件 (略ス)

○市公告第五十六號 三三  
三十日

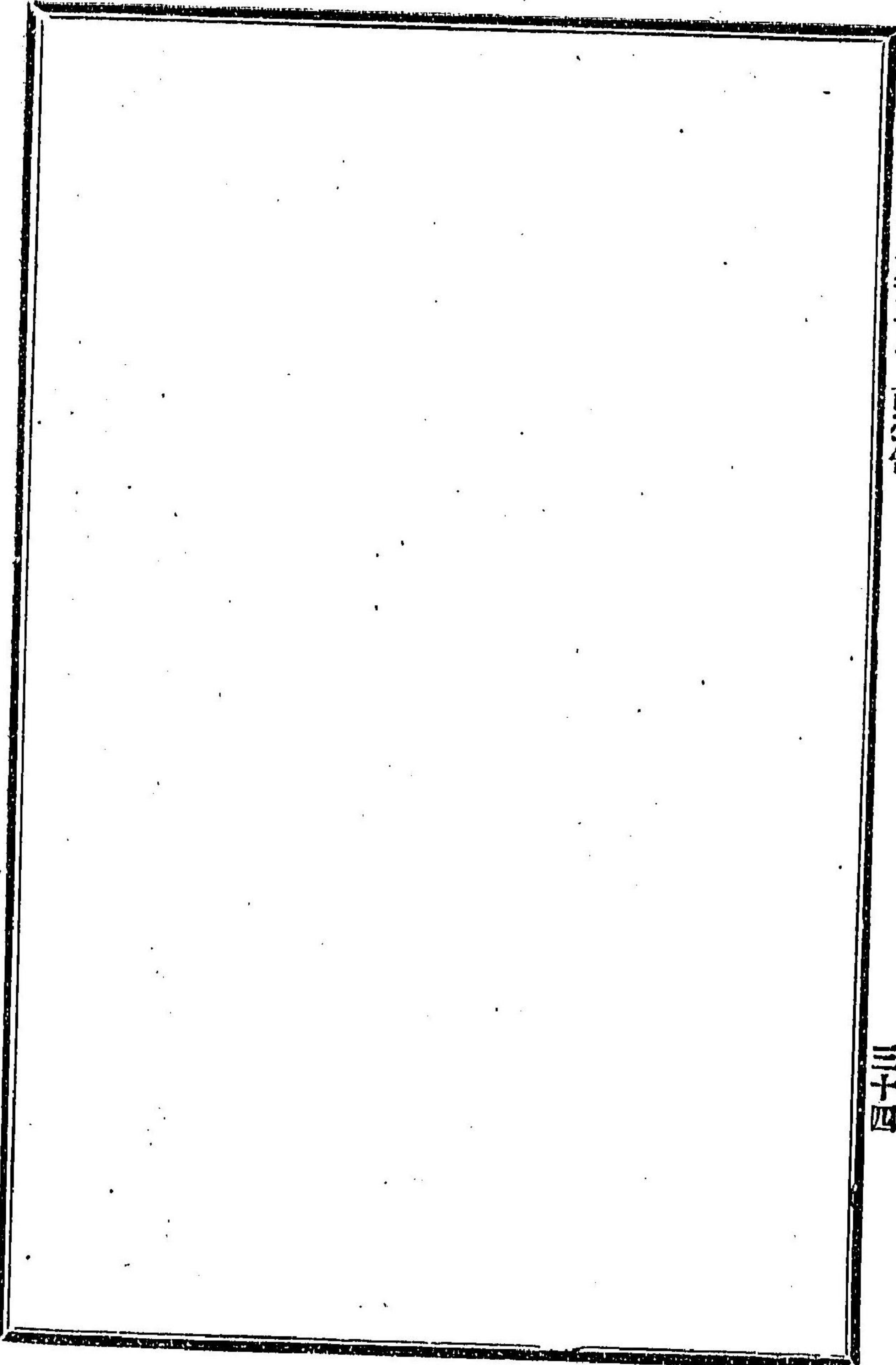
本月二十七日京都市議事堂ニ於テ京都市商業會議所會員半數改撰并ニ補欠選舉施行左記ノ適當選七

半數改選當選者

濱 岡 光 哲	西 村 治 兵 衛	村 井 吉 兵 衛
今 井 清 次 郎	今 西 平 兵 衛	兒 島 定 七
西 村 吉 右 衛 門	松 盛 德 三 郎	渡 邊 伊 之 助
荒 川 宗 助	村 田 榮 次 郎	堤 彌 兵 衛
株 式 第 四 十 九 銀 行	錦 光 山 宗 兵 衛	小 林 伊 之 助
會 社 第 四 十 九 銀 行	小 田 佐 兵 衛	富 田 半 兵 衛
京 都 織 物 株 式 會 社	河 瀨 勘 兵 衛	
岡 本 治 助		

補欠選舉當選者  
株 式 鴨 東 銀 行  
會 社





○市公告第六十九號

七月

本市小學校教員旅費額左ノ通改正ス

京都市小學校教員旅費額

種別	汽車賃 二付哩	船賃 二付海里	車馬賃 二付里	宿泊料 二付夜	日常 二付日
訓導 四月俸以上	參錢	四錢	拾五錢	壹圓五拾錢	
同 四月俸以下	參錢	四錢	拾五錢	八拾錢	
准訓導	貳錢	參錢	拾貳錢	七拾錢	

○市公告第七十號

七月

本市臨時傳染病豫防委員左ノ通就職セリ

- 古川 吉兵衛
- 田中 泰輔
- 馬杉 則知
- 中尾 萬七
- 島田 彌一郎

○市公告第七十四號

四月

本市學務委員河村清七辭任ニ付後任者左ノ通撰任就職セリ

莊林 維新



○市公告第七十五號 四月十一日  
本市高等小學校授業料細則左ノ通改正シ本月ヨリ實施ス

京都市高等小學校授業料細則

- 第一條 市立高等小學校生徒ノ授業料ハ每一人一ヶ月金四拾錢トス
- 第二條 授業料ハ毎月指定ノ期日ニ必ス納付スヘシ  
但保護者ノ便宜ニ依リ數月分ヲ前納スルモ妨ケナシ
- 第三條 病氣其他已ム事得サル事故ニ依リ引續キ全月缺席スルモノハ其月分ノ授業料ヲ免除ス
- 第四條 既納ノ授業料ハ業ヲ受ケルト否トニ拘ラス之ヲ返附セズ  
但第三條ニ該當スル場合ハ此限ニアラス
- 第五條 保護者貧窮ニシテ授業料ヲ納ムル能ハスト認ムルモノハ其申立ニ依リ學務委員ノ意見ヲ  
聞キ授業料ノ半額若シテハ全額ヲ減免スルコトアルヘシ

○市公告第八十九號 四月十九日  
本市會ノ議決ヲ經明治三十二年度本市稅中上京區ニ屬スル田畑ノ地價割ニ限リ其徵收ヲ本年七月  
ニ延期ス

○市公告第百號 四月二十五日  
本市上京區種痘醫藤木經輝辭職左之通任命アリタリ

上京區種痘醫 島澤君三郎

○市公告第百八號 五月五日  
本市染織學校規則左ノ通改正ス

京都市染織學校規則

第一章 總則

- 第一條 本校ハ工業學校規程ニ依リ主トシテ染色又ハ機織ニ關スル必須ノ學理ヲ授ケ之ヲ實地ニ  
應用練習セシメ以テ適宜ナル工業者ヲ養成スル所トス
- 第二條 本校ニ本科及豫科ヲ置キ本科ヲ分チテ染色部機織部ノ二部トス
- 第三條 本科ノ修業年限ハ三ヶ年トシ豫科ノ修業年限ハ二ヶ年トス
- 第四條 本科生徒卒業ノ後其志望ニヨリ專攻科生トシ尙其學業ヲ研究セシムルコトアルヘシ但シ  
其年限ハ二ヶ年以内トス
- 第五條 染色及機織業者若クハ其子弟實業ニ從事スルコト滿一ヶ年以上ニシテ其業務ニ必要ナル  
課目ノ速成ヲ期スルモノ、爲メニ別科ヲ置キ其修業年限ヲ一ヶ年トス
- 第六條 別科卒業生ニシテ志望ノ者ハ期限ヲ定メス復習生トシテ時々登校ヲ許シ其學業ヲ復習セ  
シムルコトアルヘシ

第二章 學科課程

第七條 本科染色部及機織部ノ學科課程ハ左ノ如シ



本科課程表

學年	學期	學期授業時間		備考	數	作	物	化	分	圖	機	色
		前	後									
第一學年	前期	一	一	一	四	一	三	二		六		一
	後期	一	一	一	四	一	三	二		六		一
第二學年	前期	一	一	一	三	一	二	二	六	三	三	二
	後期	一	一	一	三	一	二	二	六	三	三	二
第三學年	前期	一	一	一	三	一	二	二	六	三	三	二
	後期	一	一	一	三	一	二	二	六	三	三	二

備考(染)ハ染色(織)ハ機織專修ノ者ヘ特ニ課スル學科及授業時數ヲ示ス  
第八條 豫科ノ學科課程ハ左ノ如シ

豫科課程表

學年	學期	英	簿	經	實	休	每
第一學年	前期	二(織)			三	三	三
	後期	二(織)			三	三	三
第二學年	前期	二(織)			二(織)	二	三
	後期	二(織)			二(織)	二	三
第三學年	前期	二(織)	簿記學大意	經濟學大意	二(織)	二	三
	後期	二(織)	簿記學大意	經濟學大意	二(織)	二	三



算術	四則分數諸等	二	諸比例百分算
作文	日用文字	二	同上
習字	日用文字	二	同上
地理	日本地理	二	外國地理
歷史	日本歷史	二	同上
圖畫	自在畫	二	同上
理科	理化學初步	二	同上
英語	綴字、習字、書取、 誦讀、譯解	二	同上
体操	普通体操	二	同上
合計		二六	

第九條 別科ノ學科課程ハ左ノ如シ  
別科學科課程表

讀書	漢字交リ文
----	-------

算術	四則分數諸等	二
理科	理化學大意	二
色染法	(染)	二
機織法	(織)	二
實習		二
合計		二

(染)ハ染色(織)ハ機織專修ノ者ニ課スル學科及授業時數ヲ示ス  
第三章 試業

- 第十條 試業ヲ分テテ通常試業及學年試業トス
- 第十一條 通常試業ハ每學期中二回以上トシ隨時其當日マテニ履修セシ諸科目ニ就キ之ヲ行フ
- 第十二條 學年試業ハ各學年末ヲ期トシ其學年中ニ履修セシ諸科目ニ就キ之ヲ行フ其中途ニシテ履修シ了リタル科目ハ修了ノ際試業ヲ行フコトアルヘシ
- 第十三條 學科ノ種類ニ依リテハ別ニ試業ヲ用ヒス平素ノ成績ニ依リ檢定評點ヲ附スルコトアルヘシ
- 第十四條 最後ノ學年末試業ニ於テハ第十二條第十三條ニ依ルノ外實修ニ關シテハ學年ヲ滿リ己ニ履修シタル所ニ就キ試業ヲ行フ
- 第十五條 評點ハ各科一百ヲ以テ最高點トス



第十六條 一科目ノ學年評點數ハ通常試業評點平均數ノ二倍ニ學年試業評點數ヲ加ヘ其和ヲ三除シテ得タルモノトス

但シ一科目ノ授業一學期ニ了ハルトキハ其修了ノ際施行セル試業評點ヲ以テ學年評點ト見做シ本條ニ準シテ計算ス

第十七條 諸科目ノ學年評點平均數ハ各科目ノ學年評點ヲ合算シ課目ノ數ヲ以テ除シ得タルモノトス

第十八條 前條諸科目ノ評點四拾點以上平均得點六拾點以上ヲ得ルニアラサレハ進級セシメサルモノトス

第十九條 進級合格ノ點數ヲ得サルモノハ都テ次學年ノ第一學期ヨリ原級ノ全科目ヲ再修セシムルモノトス

第二十條 進級ハ第十七條第十八條ニ依ルト雖モ成績援群品行端正ニシテ他生徒ノ模範タルヘキモノハ學校長ノ認定ニ依リ特ニ進級セシムルコトアルヘシ

第二十一條 試業ニ缺席シタル其科目ハ零點ヲ附ス

第二十二條 平素缺席多キモノハ通常試業評點及檢定評點若干ヲ減ス

第二十三條 病氣其他ノ事故ニ依リ試業ニ缺席スルキハ醫師ノ診斷書若クハ理由書ヲ添ヘ保証人連署當日午前八時迄ニ届出スヘシ

但シ病氣又ハ正當ノ理由アリト認ルモノニ限り更ニ期日ヲ定メ追試業ヲ施スコトアルヘシ

第二十四條 學年試業ニ合格シタルモノニハ修了證書ヲ授與ス

第二十五條 最後學年ノ試業ニ合格シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第二十六條 専攻科生ハ試業ヲ行ハス學年ノ終ニ於テ實修ノ成績ヲ檢定シ其成績善良ナル者ニハ退學ノ時專攻ニ係ル修學證書ヲ授與ス

第二十七條 別科生ハ一學年ノ終ニ於テ其學業ヲ試驗シ成績善良ナルモノニハ卒業證書ヲ授與ス

第四章 學年學期授業日數 休業日

第二十八條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第二十九條 學年ヲ分ケテ二學期トシ第一學期ハ四月一日ニ始マリ九月三十日ニ終リ第二學期ハ十月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第三十條 一學年ノ授業日數ハ凡二百五十一日トス

第三十一條 一年中休業日左ノ如シ

日曜	神武天皇祭	秋季皇靈祭
神嘗	天長節	新嘗祭
孝明天皇祭	紀元節	春季皇靈祭
冬期	十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ルニ週間	
夏期	七月二十一日ヨリ八月三十一日ニ至ル四十二日間	

試驗後 學年試業後一週間

第五章 入退學規程

第三十二條 入學ノ期ハ每學年ノ始トス

但時宜ニ依リ臨時入學ヲ許スコトアルヘシ

第三十三條 本科第一學年ニ入學ヲ許スヘキモノハ左ノ各項ニ適合スルモノタルヘシ



- 一 年齢満十四年以上ノ男子行端正ナル者
  - 一 品行端正ナル者
  - 一 身体强健ナル者
  - 一 染色若クハ機械業者ノ子弟又ハ將來染色若シクハ機械業ニ従事セントスル志望ノ堅固ナルモノ
  - 一 修業年限四ヶ年ノ高等小學校ヲ卒業セル者
  - 一 本校豫科卒業ノ程度ニ依リ英語ノ試験ニ合格スル者
- 第三十四條 豫科第一學年ニ入學ヲ許スヘキモノハ前條第二項第三項ニ適合スルノ外左ノ各項ニ適合スルモノナルヘシ
- 一 年齢満十二年以上ノ男子
  - 一 本科ニ入學セントスル志望ノ者
  - 一 高等小學校第二學年ノ課程ヲ修了セル者
- 第三十五條 別科ニ入學ヲ許スヘキモノハ第三十三條第二項第三項ニ適合スルノ外尙左ノ各項ニ適合スルモノナルヘシ
- 一 年齢満十五年以上ノ男子
  - 一 一ヶ年以上實業ニ従事スル者
  - 一 尋常小學校ヲ卒業セル者
- 第三十六條 第三十三條第五項第三十四條及第三十五條ノ第三項ニ適合セサル者ト雖モ入學試験ニ合格スル者ハ入學ヲ許ス

- 第三十七條 入學試験ハ本科ニ於テハ修業年限四ヶ年ノ高等小學校卒業以上ノ程度ニ依リ豫科ニ於テハ高等小學校第二學年修了以上ノ程度ニ依リ別科ニ於テハ尋常小學校卒業以上ノ程度ニ依リ行フモノトス
- 第三十八條 第三十三條第三十四條第三十五條ニ依リ入學ヲ志望スル者ト雖トモ入學志望者豫定人員ニ超過スル場合ニ於テハ相當ノ試験ヲ行ヒ成績ノ優等ナル者ヨリ撰拔入學ヲ許ス
- 第三十九條 入學志願ノ者ハ甲號書式ノ入學願書ニ乙號書式ノ履歷書ヲ添ヘ本校ニ差出スヘシ
- 第四十條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ一週間以内ニ丙號書式ノ在學証書ヲ差出スヘシ
- 第四十一條 生徒卒業ノ後尙在學シ専攻科生若クハ復習生トラント欲スル者ハ丁號書式ノ願書ヲ差出スヘシ
- 第四十二條 保證人ハ丁年以上ノ男子ニシテ京都市内ニ一家計ヲ立テ生徒ノ身分ニ關シ一切ノ事ヲ引受クルニ足ルモノナルヘシ
- 第四十三條 保證人宿所ヲ轉シ或ハ改姓名改印スル等ノ事アルトキハ一週日以内ニ届出スヘシ又旅行セントスルトキハ相當ノ代理者ヲ立テ置クヘシ
- 第四十四條 保證人死亡若クハ市外ニ轉住スルトキハ直ニ第四十四條ニ合格スル保證人ヲ以テ之ニ代フヘシ
- 第四十五條 生徒ハ自費ヲ以テ本校所定ノ帽被服ヲ調製着用スヘシ
- 但シ新人學生徒ハ入學ノ日ヨリ一ヶ月以内ニ本文ニ依ル
- 第四十六條 生徒疾病或ハ己ムヲ得サル事故ニ依リ缺席スルトキハ其旨保證人ヨリ届出スヘシ尤モ病氣ノ爲メ引續キ一週日以上欠席スルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ



第四十七條 病氣其他已ムヲ得サル事故ニヨリ半途退學セント欲スルモノハ事實ヲ詳具シ保證人連署願出スヘシ

但シ病氣ハ醫師ノ診斷書ヲ要ス

第四十八條 生徒退學不進若シテ品行不良ニシテ成業ノ目的ナシト認ルモノハ退學ヲ命スヘシ  
第四十九條 本校卒業生ハ職業及就職ノ場所ヲ本校ニ通知スヘシ其異動ヲ生シタル場合ニ於テモ亦同シ

第六章 賞罰規程

第五十條 生徒品行方正學力優等平素勤勉ニシテ他生徒ノ模範タルヘキ者ハ相當ノ賞與ヲ行フ  
第五十一條 校規ヲ犯シ其他生徒タルノ本分ヲ守ラサルモノハ左ノ懲罰ニ處スヘシ  
但シ停學ハ一ヶ月以內トス

一 罷 黜  
一 停 學

第五十二條 無届欠席一ヶ月以上ニシルモノハ除名スヘシ

附 則

第五十三條 從來在學ノ生徒ハ試験ヲ行ヒ相當ノ學年級ニ編入スルモノトス

甲號書式 (用紙美濃紙)

入 學 願 書

私義御校本科 何部 第何學年ニ入學仕度候間(英語科御檢定ノ上)(御試験之上)御許可被下度別紙履歷書相副此段相願候也

現 宿 所

本籍族 (戶主ニアラサレハ誰子弟)

姓 名 印

何年何月生

年 月 日

京都市染織學校長某殿

乙號書式 (用紙美濃紙)

履 歷 書

本籍族 (戶主ニアラサレハ誰子弟)

姓 名

何年何月生

一何年何月何地公立何小學校何學年ノ課程修了

一何年何月何地私立何小學校卒業但修業年限何ヶ年

一何年何月何リ何年何月マテ何地何某ニ就キ何學修業

費 罰

一何年何月何日何所ニ於テ何廉ヲ以テ何賞罰ヲ受ケル等

一家業何々

丙號書式 (用紙美濃紙印紙貼用)

在 學 證

私義今般御校へ入學御許可相成候ニ就テハ御規則ヲ遵守シ専心勉勵スヘキハ勿論漫リニ半途退學等仕間敷候此段相誓候也



年月日

宿所京都市何區何町何番戸  
本籍族(戸主ニアラサレハ誰子弟)

姓

名 印

何年何月生

前文何某在學中御規則堅ク可爲相守ハ勿論本人ニ係ル一切ノ事件ハ拙者引受御校ニ對シ證人タルノ義務相缺キ候様ノ事致間敷候依テ保證如此候也  
但シ證人ニ關スル御校ノ御規則ハ總テ承認致候

宿所京都市何區何町何番戸

本籍族職業或ハ職務

姓

名 印

何年何月生

年月日

京都市染織學校長某殿

丁號書式(用紙美濃紙)

私義今同本科(染色部)(機織部)卒業候處尙何年間在學々業ヲ專攻(復習)致度候間御許可被下  
度保證人連署此段相願候也

宿所京都市何區何町何番戸

本籍族(戸主ニアラサレハ誰子弟)

姓

名 印

何年何月生

年月日

京都市染織學校長某殿

○市公告第百十一號 五月八日

本市上京區寺ノ内通千本東入二丁目新猪熊町ニ幼稚園ヲ設置シ乾隆幼稚園ト稱シ同二條通寺町東入榎木町ニ幼稚園ヲ設置シ銅駝幼稚園ト稱ス

○市公告第百十四號 五月九日

本市會ノ議決ヲ經本市明治三十二年度歳入出追加豫算左ノ通相定ム

京都市京都市明治三十二年度歳入出追加豫算

歳 入

一金參百拾七圓

歳 入 豫 算 高

歳 出

一金參百拾七圓

臨 時 費 豫 算 高

京都市京都市明治三十二年度歳入出追加豫算表

歳 入

科 目 本年度豫算額

第三款 前年度繰越金

三十七〇〇〇

歳出臨時費



科	目	本年度換算額
第四款	土木費	三二,〇〇〇
第二項	土木調査費	三二,〇〇〇
一	備入料	六,〇〇〇
二	消耗品費	三,〇〇〇
三	印刷費	一五,〇〇〇
四	雜費	五七,〇〇〇
	製圖人通計百六十人壹人平均五拾錢	
	製圖用紙繪具鉛筆等購入	
	報告書類及付屬圖面等	
	水質試驗及試堀井取片付費其他	

○市公告第百十九號 五月十七日

本市會ノ議決ヲ經明治三十三年十月公告第五十四號本市傳染病感染及死亡者手當支給規則左ノ通改正ス

傳染病感染並死亡者手當給與規則

第一條 本市職員其他市費ヲ以テスル雇員傭人等公務上傳染病豫防救治ニ從事シ爲メニ感染又ハ死亡シタルトキハ本則ニ依リ手當金ヲ給ス

第二條 手當金ヲ分テ療治料吊祭料救助料ノ三種トシ療治料ハ感染者ニ吊祭料ハ葬祭執行者ニ救助料ハ感染者又ハ死亡者ノ遺族ニ給ス但市ヨリ治療シタルトキハ療治料ヲ給セス死亡者ニ遺族

ナキトキハ救助料ヲ給セス

第三條 療治料ハ一日壹圓ヲ給ス

第四條 吊祭料ハ年俸十二分ノ一月俸一ヶ月分日給三十日分ヲ給ス但一定ノ俸給ナキ職員ハ五拾圓ヲ給ス

第五條 救助料ハ分テ二等トシ感染者ノ死亡シタルトキハ一等救助料ヲ給シ死亡セザルトキハ二等救助料ヲ給ス

一等 年俸十二分ノ五月俸五ヶ月分日給百五十日分但一定ノ俸給ナキ職員ハ貳百五拾圓  
二等 年俸二分ノ三月俸三ヶ月分日給九十日分但一定ノ俸給ナキ職員ハ百五拾圓

○市公告第百二十號 五月十九日

凡本市内ニ住居ヲ構ヘ又ハ三ヶ月以上市内ニ滞在スルモノニシテ所得税法第三條第二種ノ所得税ヲ本市外ニ於テ納ムル義務者ハ其本稅ヲ納メタル都度該納稅額ヲ所轄區役所ヘ申告スヘシ

(參照) 所得税法明治三十二年二月法律第十七號第三條第二種ハ該法律施行地ニ於テ支拂ヲ爲ス公債吐債ノ利子(千分ノ二十)キヲ

○市公告第百二十四號 五月二十九日

明治二十六年五月市公告第三十五號市稅賦課徵收規程第四項ヘ左ノ但書ヲ追加ス

但所得稅法第三條第二種中本市公債ノ利子ニ對スル付加稅ハ本稅ト同時ニ其金額ヲ控除スルモ



ソトス

○市公告第百二十五號

五月二十九日

明治三十一年十二月市公告第六十號區長分任事項六市稅賦課徵收ノコトト之ソアル項へ左ノ但書ヲ追加ス

但第二種所得稅中本市公債ノ利子ニ對スル附加稅ハ此限ニ在ラス

○市公告第百二十六號

六月一日

本市參事會員定期退任及當撰者左記ノ通

退任者

河村 清七

中 孫三郎

大澤 善助

堤 彌兵衛

古川 吉兵衛

當撰者

河村 清七

中 孫三郎

大澤 善助

堤 彌兵衛

中 野 忠八

○市公告第百二十七號

六月一日

本市會ノ決議ヲ經本市明治三十二年度盲啞院歳入出追加豫算左ノ通相定ム

京都市明治三十二年度盲啞院歳入出追加豫算

歳入

一金參百九拾圓拾四錢

歳入豫算高

歳出

一金參百九拾圓拾四錢

經常費豫算高



京都市明治三十二年度盲啞院歳入出追加豫算表

歳入	
科 目	本年度豫算額
第四款 寄附金	三〇・八五九
第五款 前年度繰越金	七九・三六一
計	一〇〇・一五〇
歳出經常費	
科 目	本年度豫算額
第一款 盲啞院費	三九・一五〇
第一項 給料	一〇・〇〇〇
三 使丁給料	一〇・〇〇〇
第三項 需用費	二九・一〇〇
二 器械費	九・〇〇〇
附 記	
○教授用器械	
○臨時雇四十人一日貳拾五錢	

三 雜具費	一三・〇〇〇	○器具類
四 消耗品費	六四・〇〇〇	○石炭及電燈料
第五項 修繕費	九一・一四〇	○院内地均ニ并ニ寄宿舎目障板扉取設ケ土間廊下板敷蟻修繕等七拾六圓拾四錢
計	一七〇・一四〇	○小修繕拾五圓

○市公告第百二十八號 二六 日 月  
市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料並ニ扶助金給與ノ請求書ハ正副二通ヲ作り市長宛ニ差出ス

○市公告第百二十九號 五六 日 月  
本市尋常小學校授業料細則左ノ通改正ス

京都市尋常小學校授業料細則

- 第一條 市立尋常小學校生徒ノ授業料ハ學區ノ情況、學年別及正教科補習科ノ別ニ依リ左ノ金額中ニ就キ之ヲ定ム
- 生徒毎一人一ヶ月 拾貳錢 拾貳錢 拾參錢 拾四錢  
拾五錢 拾六錢 拾八錢 貳拾錢
- 第二條 一家ノ兒輩貳名以上同一學校ニ就學スルトキハ多額ノ一名ヲ除クノ外總テ半額トス
- 第三條 授業料ハ毎月ノ始ニ於テ徴收スルモノトス



但シ保護者ノ便宜ニヨリ數月分ノ前納ヲ許スコトアルヘシ

第四條 病氣其他已ムヲ得サル事故ニ依リ引續キ全月缺席スルモノハ其月分ノ授業料ヲ免除ス

第五條 既納ノ授業料ハ業ヲ受クルト否トニ拘ハラズ之ヲ返付ヒス

但シ第四條ニ該當スル場合ハ此限ニアラス

第六條 保護者貧窮ニシテ授業料ヲ納ムル能ハスト認ムルモノハ區學務委員會ノ評決ニ依リ授業料ノ半額若クハ全額ヲ減免スルコトアルヘシ

○市公告第三百一十一號 七六 日

本市臨時傳染病豫防委員左ノ通退任就職ヒリ

退任者 古川 吉兵衛 就職者 富田 半兵衛

○市公告第三百三十七號 六六 日

本市臨時傳染病豫防委員長富田半兵衛辭任ニ付後任者左之通退任セリ

中 孫 三 郎

○市公告第三百三十八號 六六 日

本市會ノ議決ヲ經本市ノ公務ニ從事スルモノ、徽章及徽章佩用規程左ノ通相定ム

徽章及徽章佩用規程

第一條 本市ハ左ノ職務ヲ有スル者ニ佩用セシムル爲メ徽章ヲ設ク

市長 助 役 參事會員 收入役 市會議員

區 長 技 師 市書記 技 手 區書記

第二條 徽章ノ種類及製式左ノ如シ

第一種 重瓣櫻形並ニ市ノ徽章ヲ依ム  
但シ金色

第二種 單瓣櫻形並ニ市ノ徽章ヲ依ム  
但シ銀色

第三條 第一種徽章ハ市長助役參事會員收入役市會議員區長技師之ヲ佩用シ第二種ハ其他ノ職員之ヲ佩用スルモノトス

第四條 徽章ハ公務ヲ帶フル場合ノ外佩用スルコトヲ得ス  
但シ資格ヲ表スルノ必要アルトキハ此限リニ非ス

第五條 徽章ノ佩用ハ洋服ニ在リテハ上衣左胸部和服ニ在リテハ上衣<sup>カクシ</sup>襟劍尖トス

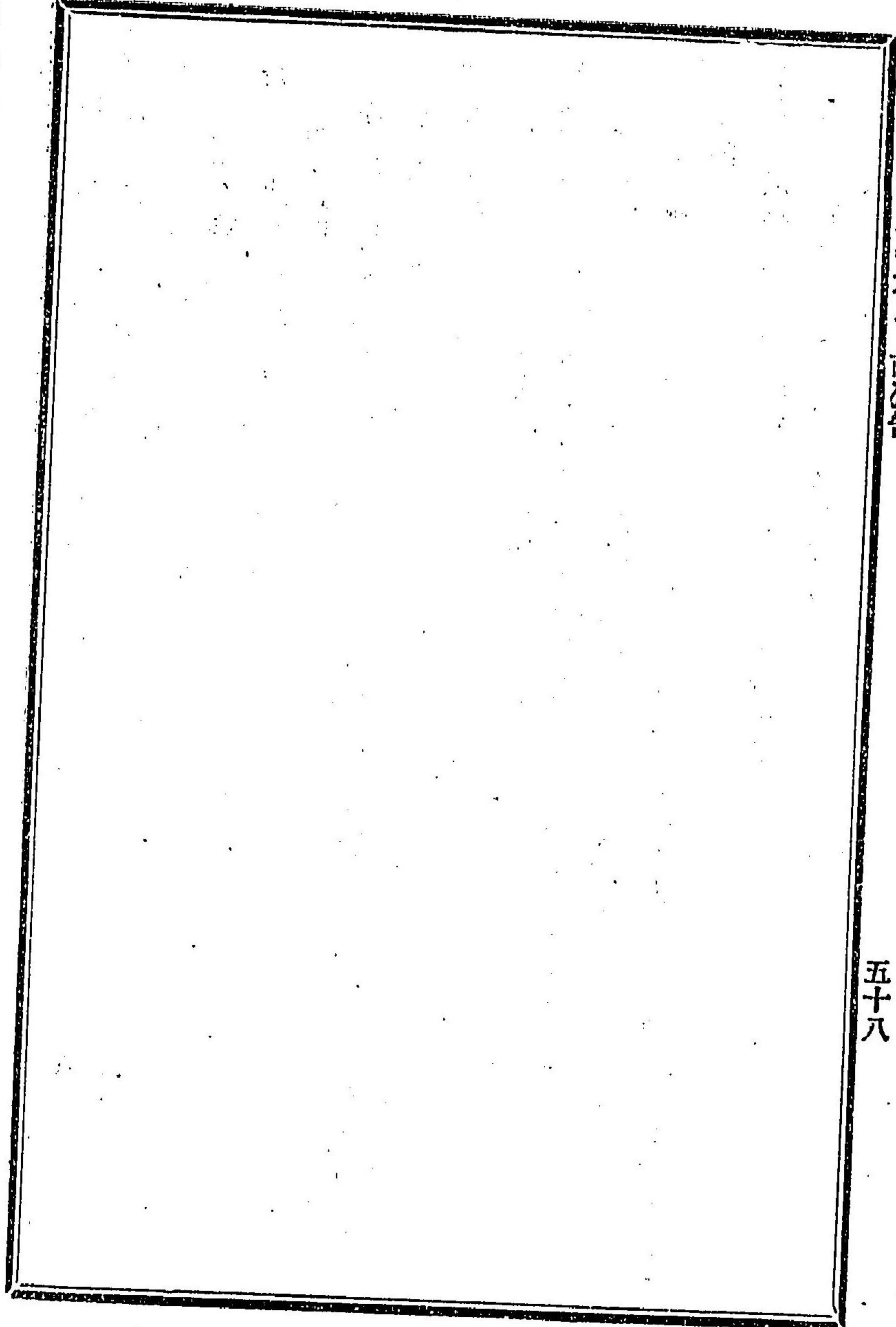
第六條 徽章ハ之ヲ佩用者ニ貸與シ現職ヲ離レタルトキハ直ニ返納セシムルモノトス

但シ轉職ノ場合ニ於テ前條ノ第一種若クハ第二種ノ徽章ヲ佩用スヘキ同一ノ資格ニ當ル時ハ此限リニ非ス

第七條 徽章ヲ失ヒ又ハ毀損シタルトキハ之ヲ辨償セシム

但シ情狀ニヨリ之ヲ修理シ又ハ更ニ貸與スルコトアルヘシ





○市公告第四百十號 一七 日

本市上京區種痘醫市川貴顯辭職ニ付後任者左ノ通任命アリシリ

上京區種痘醫 波 多 野 輔

○市公告第四百十四號 七 月 十八 日

本市各尋常小學校夏期休業前後ノ教授時間ハ自今左ノ通相定ム

京都市立尋常小學校夏期休業前後每週教授時間表

科目別	期 限	
	正 教 科	補 習 科
修 身	自七月十八日至同月二十四日	自七月二十五日至同月三十一日
讀 書	四	五
作 文	二	四
習 字	四	四
算 術	四	五
体 操	三	三
補 習 科	三	二
正 教 科	三	二



備考	正教科 四	兩學年女生ハ体操科ニ一時間ヲ減ス
圖畫	二	一
唱歌	一	一
裁縫	三	四
		二
		三

○市公啓第四百十七號 七月三十一日

本市會議員矢野龜三郎營業ノ爲メ常ニ市内ニ居ルコトヲ得サル旨ヲ以テ辭任セリ

○市公啓第四百十八號 七月三十一日

本市會ノ決議ヲ經本市明治三十二年度歳入出追加豫算左ノ通相定ム

京都府京都市明治三十二年度歳入出追加豫算

一金四百五拾四圓貳拾錢 歳入

歳入豫算高

一金四百五拾四圓貳拾錢 歳出

臨時費豫算高

京都府京都市明治三十二年度歳入出追加豫算表

科	目	本年度豫算額	附	記
第三款	前年度繰越金	三六三・三六〇		
第七款	府稅補助金	九〇・八四〇		○明治三十年法律第二十六號傳染病豫防法第二十四條同年內務省令第十八號及明治三十一年京都市令第十四號豫防費補助規程ニ依リ五分ノ一補助
計		四五五・二〇〇		
科	目	本年度豫算額	附	記
第一款	市役所費	三三・九〇〇		
第一項	雜給	三三・九〇〇		
三	旅費	四九・九〇〇		○書記二人車馬賃實費一日平均參拾錢百五十三百分
四	手當	四七・〇〇〇		○豫防救治手當書記二人一ヶ月九圓四拾錢五ヶ月分
第二款	區役所費	三六・三〇〇		
第二項	雜給	三六・三〇〇		
一	旅費	九一・八〇〇		○上京車馬賃實費一日平均參拾錢百五十三百分此金四拾五圓九拾錢 ○下京同上



計		452,100	<p>○豫防救治手當上京書記補九人一月拾九圓參拾錢 五ヶ月分此金九拾六圓五拾錢、使丁五人一ヶ月六圓五 ヶ月分此金拾圓合金百貳拾六圓五拾錢 ○同上下京書記補九人一月拾六圓五拾錢 分此金百拾參圓、使丁五人一ヶ月六圓五拾錢五ヶ月 拾圓合金百四拾參圓</p>
○市公告第四百十九號 七月三十一日			
本市會ノ議決ヲ經本市明治三十二年度歳出追加豫算左ノ通相定ム			
京都府京都市明治三十二年度歳出追加豫算			
一金七百圓			
但本項ノ歳出ニ對スル歳入ハ一時借入金ヲ以テ支出シ追テ相當科目ヲ設ケ整理スルモノトス			
臨時費豫算高			
京都府京都市明治三十二年度歳出追加豫算表			
歳出臨時費			
科	目	本年度豫算額	附
第六款 雜 支出		200,000	記
第一項 式 典 費		200,000	改正條約實施祝賀會費

○市公告第五百十號 八月一日			
本市下京區種痘醫黒田潤三辭職ニ付後任者左ノ通任命アリタリ			
下京區種痘醫 千田 峰 吉			
○市公告第五百十二號 七月八日			
傳染病患者收容ノ爲メ本日ヨリ市立聚樂病院ヲ開ク			
京都市公告第五百十四號			
本市會ノ議決ヲ經本市明治三十二年度歳入出追加豫算左ノ通相定ム			
京都府京都市明治三十二年度歳入出追加豫算			
歳入			
一金參萬千五百拾圓九拾四錢七厘			歳入 豫算高
一金壹萬八千七百七拾五圓八拾壹錢七厘			經常費 豫算高
一金壹萬貳千六百參拾五圓拾參錢			臨時費 豫算高
計金參萬八百拾圓九拾四錢七厘			
但歳出ニ對スル歳入ノ過金七百圓ハ本年第五十三號議決ニ係ル發途ノ收入ニ充ツ			
京都府京都市明治三十二年度歳入出追加豫算表			
科	目	本年度豫算額	附
第七款 府稅補助金		143,333	記
○豫防法及命令ノ規定ニ依レル補助			



第八款 市 稅		NO.066.314
第一項 附加稅		NO.066.315
一	地價割	五三三三.三六
○地租額壹圓ニ付拾四錢貳厘超過徵收ノ件目下稟請中		
二	府稅營業割	一八七三六.〇三五
○府稅中營業稅及雜種稅中料理屋待合茶屋水茶屋芝居茶屋飲食店及營業諸車ノ地方稅壹圓ニ付貳拾錢ノ割前項以外ノ雜種稅ハ地方稅壹圓ニ付參拾錢ノ割		
五	國稅營業割	六,126.061
○營業稅ハ國稅壹圓ニ付參錢ノ割制限超過徵收ノ件目下稟請中		
計		三1,510.387
歲出經常費		
科 目	本年度豫算額	附 記
第五款 衛生費	1,512,500	
第四項 傳染病豫防費	272,000	
二	藥品費	三三〇,〇〇〇
○消毒藥費		
四	器具費	五八〇,〇〇〇
○患者送院用人力車二輛代		

第七項 傳染病院費		1,061,500
一	院長報酬	200,000
十九	建築費	200,000
○日吉病院并戸堀替貳百五圓五拾錢		
二十	修繕費	36,000
○病室其他家根修繕參拾六圓		
第六款 土木費		1,633,667
第一項 道路橋梁費		1,380,000
一	道路修繕費	1,380,000
○全市街道路小破修繕費七千八百五拾六圓八拾錢此譯面積一萬八千四百坪平均一坪四拾貳錢七厘		
○全市街溝渠修繕費參千圓此譯長六百間平均一間五圓一諸色購入費千五百八拾四圓此譯砂利四百八十坪平均一坪參圓參拾錢		
第二項 治水費		376,667
一	護岸修繕費	376,667
○堀川筋護岸修繕費貳千九百六拾壹圓七拾錢此譯破損所四ヶ所延長百七十一間平均拾七圓四拾貳錢壹厘餘		
○白川筋護岸修繕費貳百八拾九圓貳拾六錢七厘此譯破損所四ヶ所延長四十三間七分一間平均六圓六拾壹錢九厘餘		
○堀川筋護岸修繕費五拾貳圓四拾八錢五厘此譯長七間一間平均七圓四拾九錢七厘餘		
○音羽川筋護岸修繕費百九拾六圓貳拾壹錢五厘此譯破損所二ヶ所延長廿一間二分一間平均九圓貳拾五錢五厘餘		



科	目	追加豫算額	附	記
第十三款	豫備費	五、〇〇〇.〇〇		○音羽川筋梁費貳百八拾七圓四拾錢此譯箱屋町ヨリ大和大路ニ至ル長二百三十八間一分一厘平均壹圓貳拾錢七厘餘
計		一、八七五.〇七		
	歳出臨時費			
第四款	土木費	七、六二二.〇三		
第一項	道路橋梁費	七、六二二.〇三		
一	道路費	七、六二二.〇三		○黑谷門前通改修費五千貳百拾貳圓八拾八錢七厘此譯川端通ヨリ熊野社東通ニ至ル長三百間巾五間一間金拾七圓參拾七錢六厘餘 ○西畑道開鑿費千四百拾六圓貳拾九錢九厘此譯黑谷門前通ヨリ神樂岡通ニ至ル長百九十三間一分巾四間一間金七圓四拾八錢九厘八毛 ○中河原道改修費九百五拾參圓拾八錢六厘此譯黑谷門前通ヨリ東九太町通ニ至ル長六十五間七分巾四間一間金拾四圓五拾錢八厘餘
第七款	衛生費	五、〇一三.七五		

第一項	傳染病院費	五、〇一三.七五	
一	醫員給料	三、〇〇〇.〇〇	○平均月俸參拾圓三人
二	調劑員給料	一、〇〇〇.〇〇	○平均月俸拾五圓二人
三	書記給料	九、〇〇〇.〇〇	○平均月俸拾貳圓二人
四	看護婦給料	六、三三〇.〇〇	○看護婦四人平均日給八拾錢此金參百九拾圓四拾錢 ○看護婦六人平均日給四拾錢此金貳百九拾貳圓八拾錢
五	火夫給料	六、〇〇〇.〇〇	○日給五拾錢一人
六	消毒夫給料	三、六六〇.〇〇	○日給參拾錢一人
七	使丁給料	一、五五〇.〇〇	○平均日給貳拾五錢五人
八	洗濯婦給料	四、八〇〇.〇〇	○平均日給貳拾錢二人
九	勉勵費與	一、八五〇.〇〇	○職員調劑員書記給料月額三分一此金四拾八圓 ○看護婦火夫消毒夫使丁洗濯婦日給月額三分一八拾圓五拾錢
十	旅費	一、〇〇〇.〇〇	○車馬賃一ヶ月五圓
十一	備入料	八、五五〇.〇〇	○已消毒品運搬夫百二十二人一人參拾錢此金參拾六圓六拾錢 ○掃除人夫百五十人一人平均貳拾錢此金參拾圓 ○死体運搬人夫七十五人一人平均金貳拾五錢此金拾八圓七拾五錢



十二	藥品費	五七〇・六〇	○消毒藥百四拾參圓五拾錢 ○治療藥百九拾參圓五拾六錢
十三	備品費	五七〇・九〇	○器具類四百七拾七圓拾六錢 ○醫藥器五拾六圓也 ○調劑用拾七圓七拾五錢
十四	消耗費	五二〇・九五	○筆紙墨類參拾六圓九拾八錢 ○薪炭油類貳百五拾七圓九拾貳錢五厘 ○雜品百拾六圓〇五錢
十五	通信運搬費	六〇〇・〇〇	○電話申込其他
十六	賄費	八四三・〇〇	○患者賄一人一日平均拾五錢延三千六百六十八人此金五百四拾九圓 ○付添看病人賄一人一日平均拾貳錢延千二百二十人此金百四拾六圓四拾錢 ○醫員、調劑員、書記、各一人百二十二夜一夜拾錢此金參拾六圓六拾錢 ○看護婦十人一人一夜七錢百二十二夜此金八拾五圓四拾錢 ○使丁三人一人一夜七錢百二十二夜此金貳拾五圓六拾貳錢
十七	雜費	六二〇・〇〇	○火葬二十五人一人平均壹圓八拾錢此金四拾五圓 ○雜費拾六圓
十八	建築費	四四三・九五〇	○排泄物糞池消毒場建築貳百五拾圓 ○井戸二ヶ所家形共百九拾參圓八拾五錢 ○炊事場建增百貳拾五圓參拾七錢 ○患者入口貳拾六圓七拾錢 ○板塀拾參圓八拾八錢 ○障子張替參貳圓拾四拾錢
十九	修繕費	三三〇・三三	○病室其他家根修繕貳拾九圓八拾六錢參厘 ○看護婦休憩室其他疊表替貳拾七圓參拾錢 ○事務室上敷拾八圓五拾錢 ○小修繕費五拾圓
計		二、六三三・三三〇	

○市公告第百五十五號 八月十二日

本市會ノ議決ヲ經本年八月市公告第百五十四號明治三十二年度追加市税ノ納期ヲ定ムル左ノ如ク但本規程ノ外ハ總テ市税賦課徵收規程ニ依ルヘシ

一 地價割ハ三十二年十月

二 府稅營業割年稅ハ三十三年一月、月稅及日稅ハ三十二年九月分ヨリ

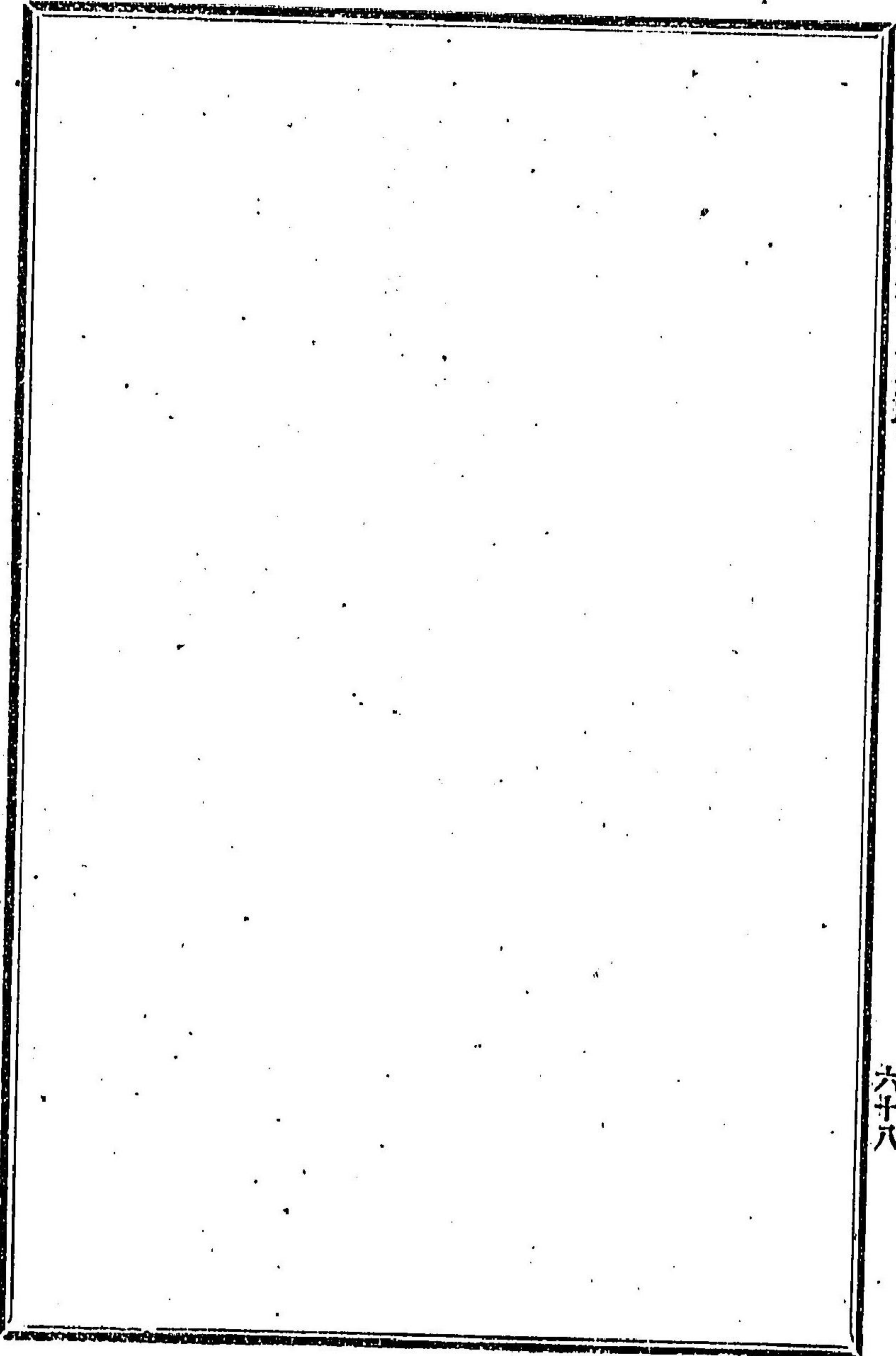
一 營業稅附加稅ハ三十二年十一月

○市公告第百五十九號 八月三十日

長期市公債募集及償還方法中改正ノ件市制第百二十二條ニ依リ內務大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通改正ス

明治三十三年市公告第三十五號長期市公債募集及償還方法第二條中金額ハノ下「四拾貳萬六千參百圓トシ疏水々力使用費」トアルヲ「五拾參萬千參百圓トシ疏水々力使用費并ニ同事業整理費」ト改ム





○市公告第百六十二號 一九一九年九月一日

本市會ノ決議ヲ經本市明治三十二年度水利事業整理費歳入出豫算左ノ通相定ム

明治三十二年度水利事業整理費歳入出豫算

歳入  
 一金拾貳萬貳千參百拾九圓七錢九厘 歳入豫算高  
 一金拾貳萬貳千參百拾九圓七錢九厘 歳出豫算高

明治三十二年度水利事業整理費歳入出豫算表

科	目	金額	附記
第一款	水利事業費歳入出剩餘金	二一六〇〇・五六九	三十一年度收支殘金九千六百四十五拾六錢九厘
第二款	水利使用事業準備費殘金	七二六・五二〇	三十二年度收支殘金壹萬貳千圓
第三款	市公債	100,000,000	
合計		101,726,589	
歳出			



科	目	金額	附記
第一款	水利事業		
第一項	發電機取替費	三三,三九〇.〇〇	
一	發電機購入費	七九,三六五.〇〇	三百馬力發電機一臺百馬力發電機一臺此金貳萬五百圓同上豫備アーマチュア二個此金八千參百圓變成器三十八組此金壹萬四千九百六圓也
二	發電機據付費	一八,一三〇.〇〇	カオンターシャフト諸費此金千參百七拾四圓ス非ナボルト費此金貳百九拾四圓木臺其他据付諸費此金貳百五拾圓
三	水車改造費	一三,一六〇.〇〇	水車一臺此金四百五拾圓ハンド、水吐口三組此金貳百參拾四圓水車用滑車其他据付諸費此金六百參拾五圓
四	帶革費	一,〇〇〇.〇〇	帶革二筋購入費
五	電線電柱費	三二,五八一.〇〇	電線路幹線二十丁分支線百二十丁分被覆電線四萬二千九百九十二磅此金貳萬五千參百拾五圓貳拾錢電柱百十二本此金千八百拾圓其他取付諸費此金四千參百拾五圓八拾錢也
第二項	鐵管增設費	三三,〇六五.〇〇	
一	鐵管購入費	二九,一三一.五〇	鑄鐵直管内徑三呎長十二尺百十七本此金貳萬貳千貳百參拾圓鑄鐵曲管十一本此金四千八百八拾圓接續管三個此金九拾圓バルブ内徑三呎一個此金四百六拾圓鐵管百三十一本運送費此金貳千六百六拾壹圓五拾錢也

二	鐵管布設費	七,九五三.〇〇	鐵管百三十一本運送費此金九百八拾貳圓五拾錢鉛千八百七十六貫目此金千五百圓八拾錢堀鑿二百六十二坪五合此金六百五拾六圓貳拾五錢枕木拾八寸長四尺四百八十一本此金千八百圓石百八十坪此金千參百九圓栗石九十九坪此金四百九拾五圓布設諸費此金千五百貳拾參圓四拾五錢バルブ取付及同所煉瓦積其他此金五百圓也
第三項	電力整理費	二,七五五.五九	
一	變成器購入費	二,五五〇.〇〇	變成器一馬力三個三馬力一個五馬力三個十馬力一個此金貳千五百五拾圓也
二	架線費	二二七.五九	架線人夫賃此金八拾圓雜品費此金百四拾七圓五拾七錢九厘
第四項	電線改良費	一〇,六一〇.〇〇	
一	碍子類取替費	一〇,六一〇.〇〇	碍子千五百四十四個此金六百九拾四圓八拾錢茶壘碍子八百九十個此金貳百六拾七圓ハインド線三百三十磅此金六拾六圓其他入夫賃等此金參拾參圓貳拾錢也
第五項	豫備費	二,〇〇〇.〇〇	

○市公告第百六十四號 八月九日  
 今回長期市公債額面拾萬五千圓募集候條明治二十三年本市公告第百三十五號ニ基キ左ノ各項ニ依リ  
 但申込用紙ハ當役所及ヒ上下京區役所ニテ受取ラルヘシ



- 一 証書發行價格ハ額面百圓ニ付金九拾八圓以上トス
- 一 應募額ニ對スル保証金ノ割合ハ証書額面百圓ニ付拾圓トス
- 一 應募者ハ保証金相添本月二十三日ヨリ同二十八日迄ニ應募額價格及住所姓名ヲ詳記シ申込マルヘシ
- 一 應募者中ニ交付スヘキ証書ノ高ハ本月二十九日ヨリ十月三日迄ニ市參事會之ヲ定メ通知スルヲ以テ其高ニ對スル金額ノ内保証金ヲ引去リタル殘額ヲ十月九日ヨリ同十二日迄ニ當役所第三部ニ拂込マルヘシ

○市公告第七十一號

本市臨時傳染病豫防委員馬杉則知辭任ニ付後任者左之適當撰セリ

○市公告第七十二號

確井小三郎

本市會ノ議決ヲ經本市名譽職實費辦償規則第一條ヲ左ノ通り改正ス

- 第一條 本市名譽職員ニシテ旅費(往復六里未滿)ノ支給ヲ受ケサル場合ニ於ケル實費辦償額ハ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外各職務一日ニ付金壹圓五拾錢トス

京都市公告第七十三號

本市美術工藝學校規則左ノ通り改正ス

明治三十二年九月三十日

京都市長内貴甚三郎

京都市美術工藝學校規則

總則

- 第一條 本校ハ工業學校規程ニ從ヒ美術及美術工藝ニ必須ノ智識技能ヲ教授スル所トス
- 第二條 本校ニ繪畫科圖案科彫刻科并ニ描金科ヲ置ク
- 第三條 各科ノ修業年限ヲ四ヶ年トス
- 第四條 本校ハ教授ノ傍ラ圖案ノ調製并ニ彫刻及描金ノ製作ニ就キ他ノ依頼ニ應スルコトアルヘシ

學科課程

第五條 繪畫科ノ學科課程及教授時間數ハ左表ノ如シ

繪畫科

學科目	年級		時數	備
	第一	第二		
身	人倫道德ノ要旨	同上	一	同上
	同上	同上	一	同上
讀	漢文	同上	三	同上
	國文	同上	三	同上
作	記事文	同上	三	同上
	復事文	同上	三	同上